

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

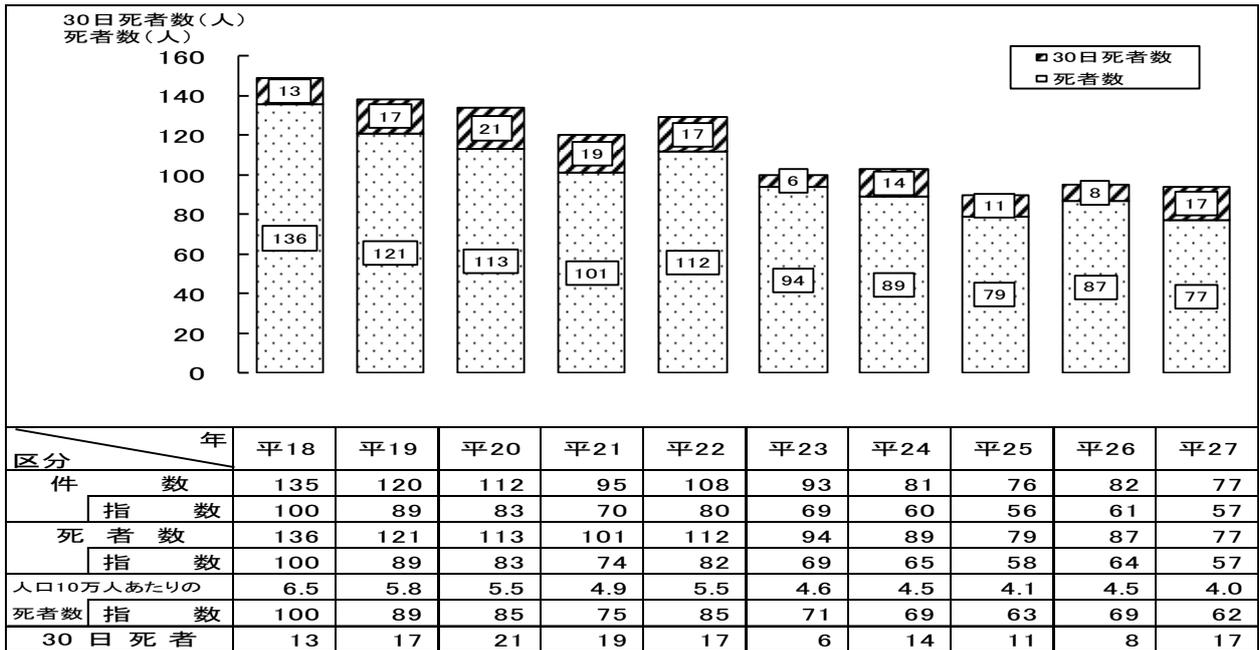
(1) 概況

平成27年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 77件 (前年比 -5件 6.1%減)

死者数 77人 (前年比 -10人 11.5%減)

過去10年間の推移をみると、死者、傷者とも凹凸はあるものの減少傾向にあり、平成27年は平成18年の6割程度に減少した。 (単位：件・人)

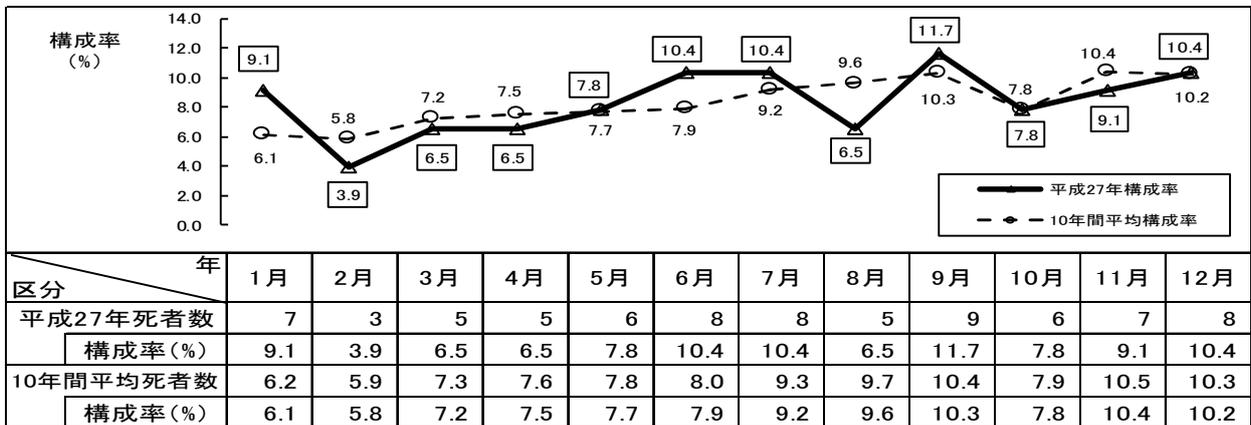


(2) 死亡事故の特徴

ア 月別

死者は、9月が最多の9人、次いで6月、7月、12月の8人、少なかったのは2月の3人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは、1月のみで、6月が平均と同数、それ以外の月は下回った。 (単位：人・%)



イ 時間別・曜日別

時間別では、15時～16時の7人が最も多くなっている。

曜日別では土曜日が最多の15人、火曜日が最小の8人となっている。

(単位：人)

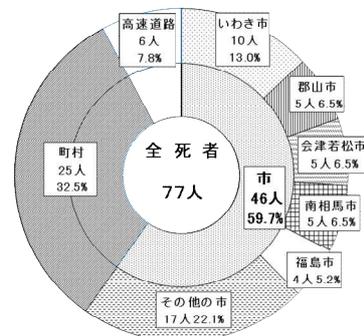
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	2	0	0	11
月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	0	0	11
火	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	8
水	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	12
木	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	10
金	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	10
土	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3	1	1	2	0	1	0	1	0	15
合計	5	0	3	3	1	2	0	3	4	0	3	2	3	4	3	7	6	5	6	3	6	5	3	0	77

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の10人で、次いで郡山市、会津若松市、南相馬市の5人となっている。

また、市部全体の死者数は46人で、全死者の59.7%を占めている。

市町村別



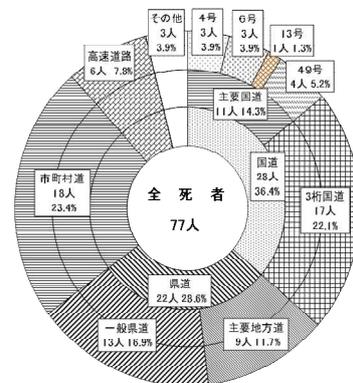
エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

国道での死者が28人と多く、全死者の36.4%を占めている。次いで、県道の22人(28.6%)となっている。

うち主要国道で11人と国道の39.3%を占めている。

道路別



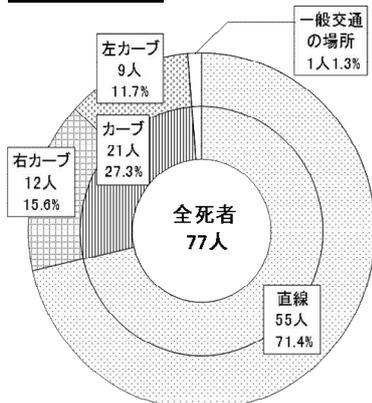
(イ) 道路線形別

直線道路での死者は55人で全死者の71.4%を占め、カーブでの死者は21人で、右カーブ12人、左カーブ9人となっている。

(ウ) 道路形状別

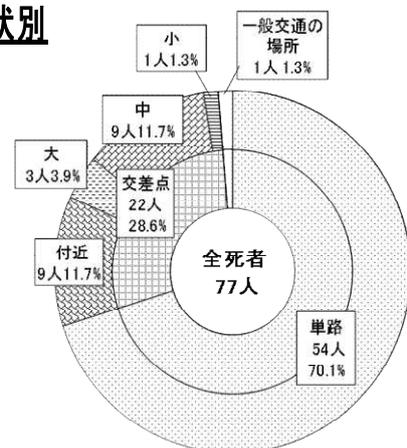
単路での死者は54人で全死者の70.1%を占め、交差点での死者は22人で28.6%を占めている。

道路線形別



道路形状別

(注)
 大交差点 道路幅員13m以上
 中交差点 道路幅員 5.5m以上13m未満
 小交差点 道路幅員5.5m未満



オ 第1当事者別 (77件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が27件で全死亡事故の35.1%を占め最も多く、次いで軽乗用車16件、自動二輪8件の順となっている。

(イ) 年齢別

30歳代による事故が14件で最も多く、次いで70歳代が12件と多くなっている。

また、高齢者による事故が27件で昨年比6件減少している。

(単位：件)

年齢	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
	大型	中型	普通	軽	大型	中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満															0
16～19歳				1						2					3
20歳代	20～24歳			2	2		1								5
	25～29歳			2				1							3
30歳代	30～34歳			2	1					1					4
	35～39歳			4	1	1		1		3					10
40歳代	40～44歳			2	1	3									6
	45～49歳			1	1	1	1								4
50歳代	50～54歳	1		1	1	1									4
	55～59歳			2	3					1		1			7
60歳代	60～64歳			2			1			1					4
	65～69歳			3	2								1		6
70歳代	70～74歳			2					2		1				5
	75～79歳			2	2				2		1				7
80歳以上			2	1					2			3		1	9
その他(当事者不明)															0
合計	1	0	27	16	6	3	2	6	0	8	2	4	1	1	77
内数	子ども														0
	幼児														0
	小学生														0
	中学生														0
	高校生										1				1
	高齢者			9	5				6		2	3	1	1	27
男性	1		22	14	6	3	2	6		8		4	1	1	68
女性			5	2							2				9
県外居住者			3	3	2	2	1			2					13

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.6に対して10歳代が1.8と高い。

(単位：件・人)

区分	年齢	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	9,013	3	3.3	7,381		0.0	16,394	3	1.8
	20～24歳	42,350	5	1.2	37,804		0.0	80,154	5	0.6
	計	51,363	8	1.6	45,185	0	0.0	96,548	8	0.8
	25～29歳	46,527	2	0.4	41,753	1	0.2	88,280	3	0.3
	30歳代	111,524	14	1.3	101,503		0.0	213,027	14	0.7
	40歳代	122,125	9	0.7	114,525	1	0.1	236,650	10	0.4
	50歳代	126,912	9	0.7	118,241	2	0.2	245,153	11	0.4
	60～64歳	72,771	3	0.4	62,288	1	0.2	135,059	4	0.3
	高齢者	188,710	23	1.2	105,156	4	0.4	293,866	27	0.9
	合計	719,932	68	0.9	588,651	9	0.2	1,308,583	77	0.6

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない。(注2) 免許人口は平成27年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、自転車が4件、歩行者が1件、その他が1件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故71件について車種に該当する免許を取得してから経過年数を見ると、10年以上経過した者による事故が52件と全体の73.2%を占めている。

(単位：件)

経過年数	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計
	大型	中型	普通	軽	大型	中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
有資格				2						2	1			5
1年未満														
1～2年										1				1
2～3年			2							1				3
3～4年			1											1
4～5年														0
10年未満			3	2		1	1	1						8
10年以上	1		21	11	6	2	1	5		2		1	2	52
免許外・無免許				1										1
合計	1	0	27	16	6	3	2	6	0	6	1	1	2	71

(オ) 違反別

悪質違反による事故が22件となっており、全死亡事故件数の28.6%を占めている。

違反別でみると前方不注意が33件ともっとも多い。

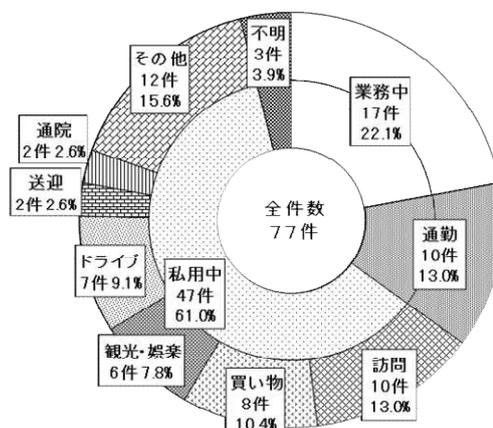
(単位：件)

違反別			件数	違反別			件数	違反別			件数		
車両の違反	悪質違反	信号無視	2	車両の違反	徐行違反	徐行違反		歩行者の違反	信号無視	信号無視	1		
		最高速度	4			安全運転義務違反	過労等運転				横断	横断歩道外横断	
		通区・追越	10				ハンドル操作不適			10		斜め横断	
		歩行者妨害	3				ブレーキ操作不適					走行車両直前直	
		一時不停止	2				前方不注意			33		横断禁止場所	
	酒酔い運転	1	動静不注意				1		計	0			
	計	22	安全不確認				飛び出し						
	横断等禁止	1	安全速度			6	その他						
	車間距離不保持		予測不適				計		1				
	進路変更禁止		その他				不明						
右折違反		計	50	合計	77								
左折違反		ドア開放等		内数(飲酒運転)	7								
優先通行妨害等		その他	1										
交差点安全進行義務	2	計	76										

(カ) 通行目的別

私用中に発生した事故が47件と全事故の61.0%を占めており、その中でも訪問目的の10件が最も多く、次いで買い物の8件の順となっている。

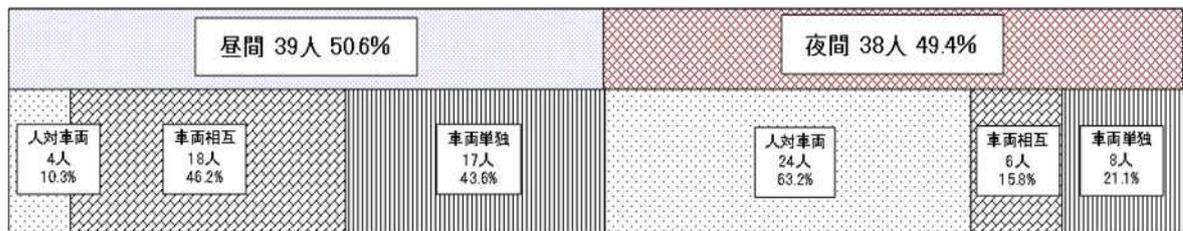
昨年との比較では、ドライブの割合が5.4ポイント高くなっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	28人	(全死者の 36.4パーセント)
車両相互	24人	(全死者の 31.2パーセント)
車両単独	25人	(全死者の 32.5パーセント)

となっており、これを昼夜別で見ると、**昼間には車両相互、車両単独の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。**

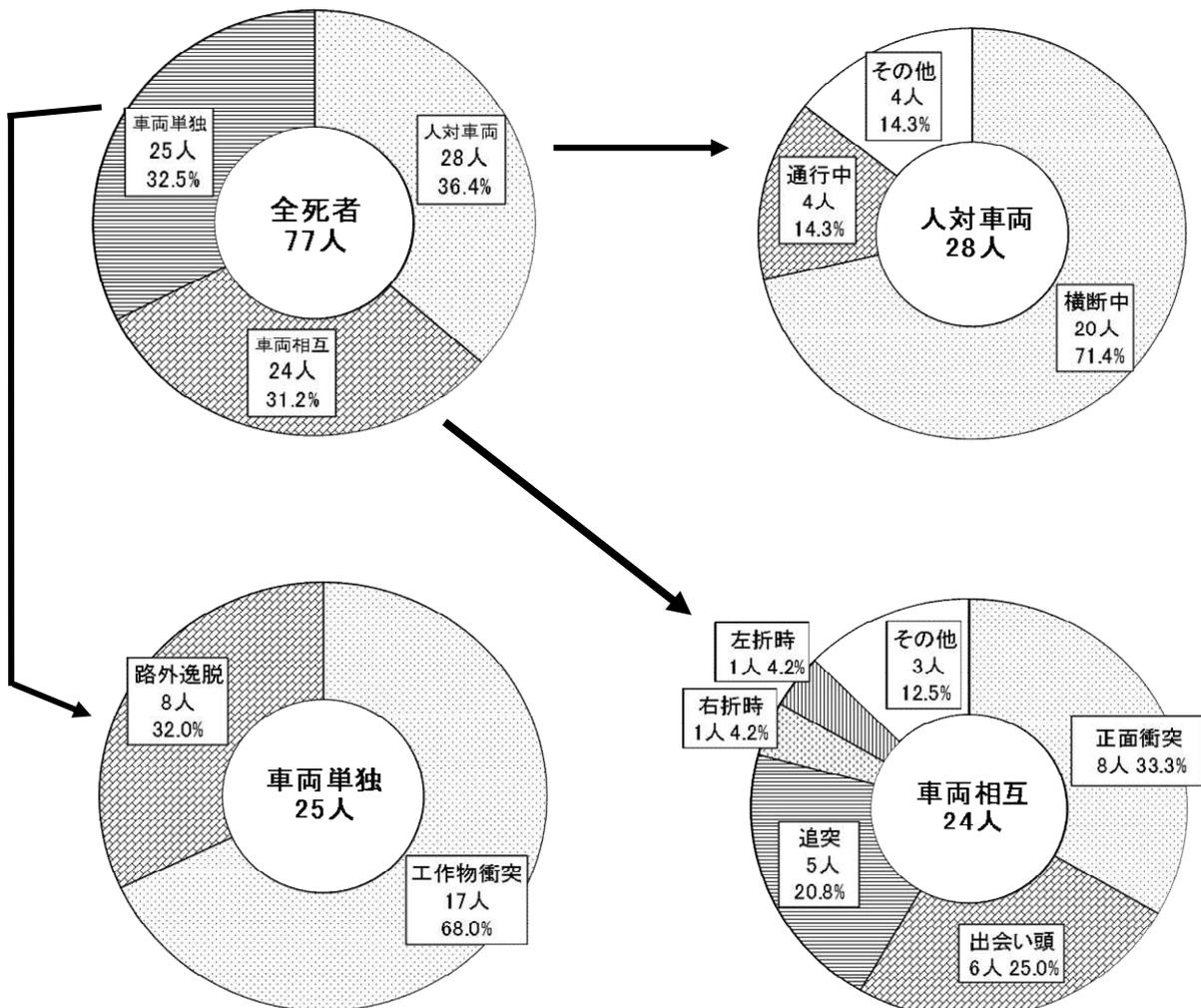


各事故類型でみると

人対車両…横断中が 20 人と最も多く 71.4 パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が 8 人と最も多く 33.3 パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が 17 人と最も多く 68.0 パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者は28人で全死者の36.4パーセントを占め一番多い。次いで自動車運転中の24人(31.2%)が続いている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		23	1	6	7		0.0	2		4	5	1	27	1	77
	構成率(%)	29.9	1.3	7.8	9.1	0.0	0.0	2.6	0.0	5.2	6.5	1.3	35.1	1.3	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は43人(全死者の55.8%)で、うち歩行者の死者は19人と多く高齢死者の44.2パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は28人中19人(67.9%)と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満											0	
16～19歳						2					2	
20歳代	20～24	1	1								2	
	25～29		1								1	
30歳代	30～34	1				1				2	4	
	35～39	1				2			1		4	
40歳代	40～44	2	2		1						5	
	45～49	2	1								3	
50歳代	50～54										0	
	55～59	3				1			2	2	8	
60歳代	60～64					1				4	5	
	65～69	1			2					3	6	
70歳代	70～74		2					1		2	5	
	75～79	2			1			1	1	4	9	
80歳以上		2	2		2			6	10	1	23	
合計		15	9	0	6	7	0	2	9	28	77	
内数	子ども										0	
	幼児										0	
	小学生										0	
	中学生										0	
	高校生						1				1	
	高齢者		5	4		5			2	7	19	43
男性		13	9		2	7			7	15	54	
女性		2			4			2	2	13	23	

ウ 職業別

無職が40人と最も多く全死者の51.9パーセントを占め、次いでサービス業の8人、農・林・漁業の5人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者			3								3	
公務員						1			1		2	
農・林・漁業		1	2				1			1	5	
建設業		2							1		3	
製造業		1	1		1	1					4	
卸・小売業			1						1		2	
運輸業・郵便業											0	
飲食業・宿泊業		2							2		4	
サービス業		2				3			3		8	
子ども											0	
高校生						1					1	
学生											0	
主婦											0	
無職		4	2		5		1	9	19		40	
その他		3				1			1		5	
合計		15	9	0	6	7	0	2	9	28	77	

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者28人のうち、21人(歩行者死者の77.8%)には何らかの違反があり、横断中の違反が5人と多く、違反のある歩行者死者の17.9パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 のき	ひとり 歩	めい てか い	は 路 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 車 両	直 前 直 後	走 行 車 両 後									
1 当	1							0								1
2当以下		2	2	1		1	1	5		3		2	8	7		27

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者9人のうち6人に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が3人と最も多い。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下			1										1		3	5

(ウ) 原付

原付乗車中の死者2人は、2人全員に何らかの違反があった。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	違 反 な し	合 計	
																	1 当
2当以下																	0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者7人全員に何らかの違反があり、安全速度が2人と最も多い。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計	
																	1 当
2当以下																	0
同 乗																	0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 24 人、同乗中死者 6 人の合計 30 人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が 14 人で最も多く、運転中死者の 58.3 パーセントを占めており、その中でも前方不注意が 8 人と多い。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者 14 人、同乗中死者 1 人の合計 15 人で最も多く、自動車乗車中の死者全体の 50.0 パーセントを占めている。

車両単独事故においても安全運転義務違反の前歩不注意が 6 人と最も多い。

(単位：人)

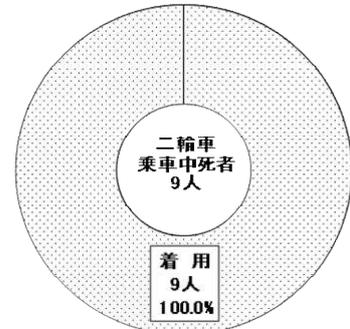
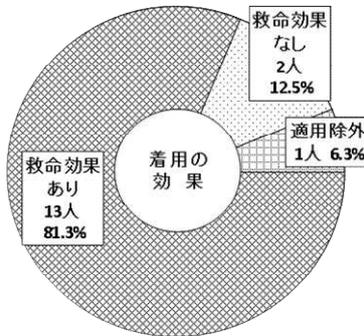
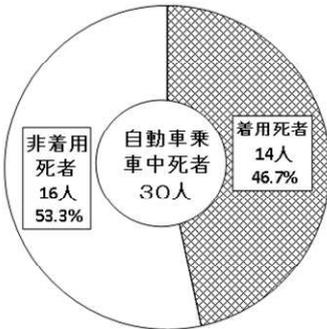
区分	違反	運 転 中															同乗中	合計			
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務					その 違 反 な し			計		
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度					その他	その他
当事者	1 当		3	6							4	8			2			23	23		
	2 当																1	1	1		
	3 当以下															6	6	6			
事故 類 型	正面衝突			6														6	1	7	
	追突										2							2	2	2	
	出会い頭																	0	4	4	
	追越・追抜																	0		0	
	転回時																	0		0	
	右折時																	0		0	
その他										1							1	2	2		
計		0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	10	5	15
車両単独			3								3	6			2			14	1	15	
列																	0			0	
合計		0	3	6	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0	2	0	0	1	24	6	30

オ シートベルト・チャイルドシート着用状況

(ア) シートベルト

自動車乗車中の死者30人中、シートベルトを着用していたのは14人で、着用率は46.7パーセントと低調である。

また、非着用死者16人中、13人（非着用で死亡した者の81.3%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は9人であったが、全員ヘルメットを着用していた。

2 歩行者の事故

(1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

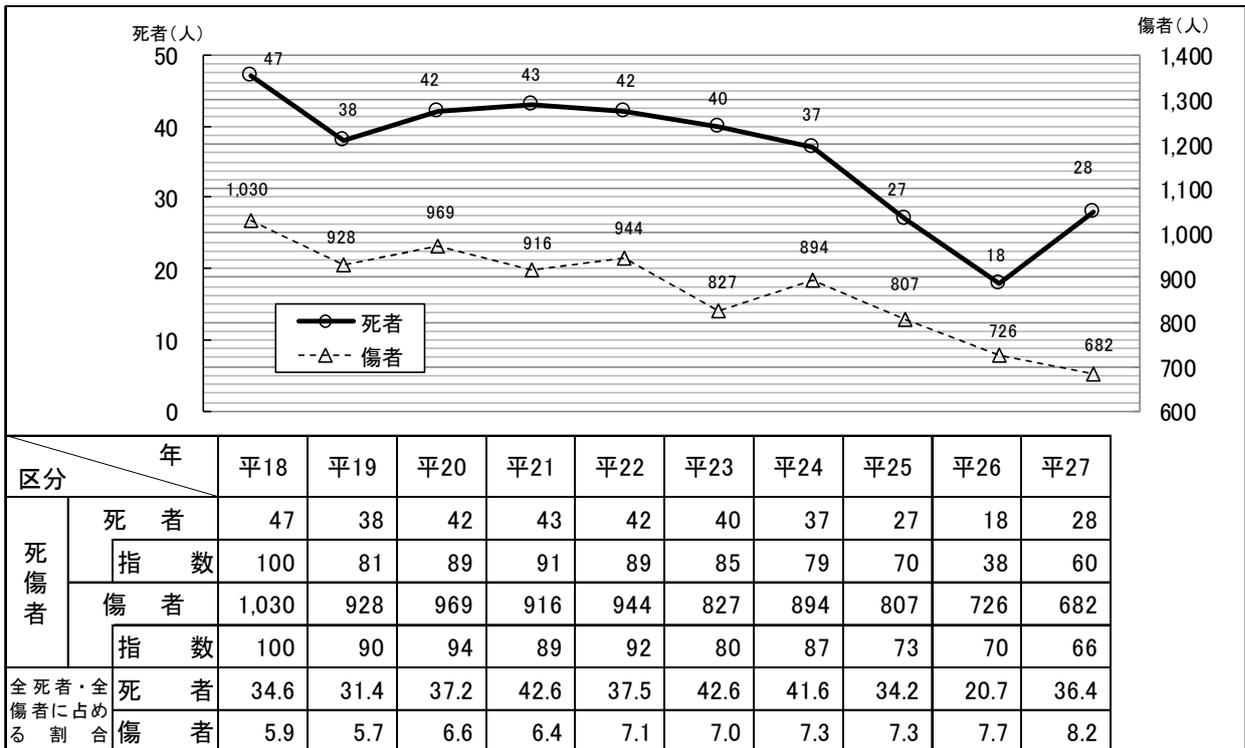
死者数 28人 (前年比 +10人 55.6%増)

傷者数 682人 (前年比 -44人 6.1%減)

で、傷者数は減少したが、死者数は大幅に増加した。

全死傷者に占める割合は、死者数は36.4パーセントで15.7ポイント増加し、傷者数は8.2パーセントで0.5ポイント増加した。

(単位：人・%)



(2) 月別

死者は11、12月が5人で最も多く、下半期の死者は16人(57.1%)と過半数を超えている。

傷者数は12月が104人で最も多く、次いで11月の83人、3月の72人の順となっている。

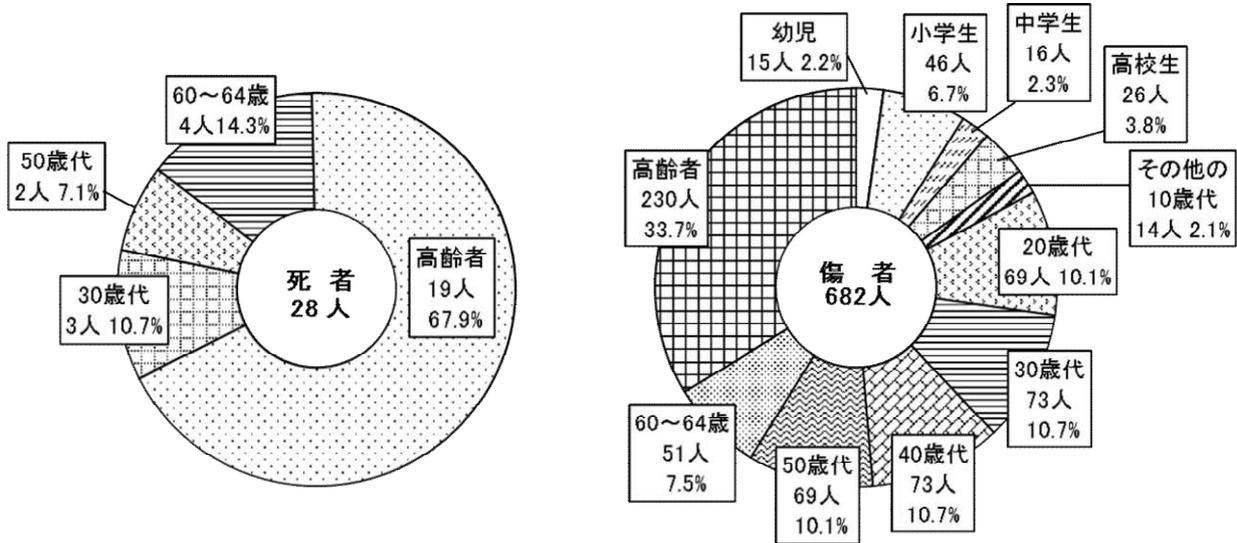
(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者	2	2	1	2	3	2	1	1	2	2	5	5	28
	傷者	61	57	72	39	41	40	35	38	55	57	83	104	682
全死者・全傷者に占める割合	死者	28.6	66.7	20.0	40.0	50.0	25.0	12.5	20.0	22.2	33.3	71.4	62.5	36.4
	傷者	8.5	8.4	9.8	5.6	5.7	5.9	5.3	5.9	8.9	7.6	12.2	13.6	8.2

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が19人で最も多く、歩行者死者の67.9パーセントを占めている。

傷者も高齢者が230人と最も多く、歩行者傷者の33.7パーセントを占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢死者は67.9パーセントであり、その他の高齢死者の49.0パーセントの1.4倍となっている。

傷者は高齢者の占める割合33.7パーセントであり、次に16歳未満が12.2パーセントと高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者			
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)		
歩行者の死者	16歳未満		0.0	83	12.2		
	16~19歳		0.0	34	5.0		
	20歳代		0.0	69	10.1		
	30歳代	3	10.7	73	10.7		
	40歳代		0.0	73	10.7		
	50歳代	2	7.1	69	10.1		
	60歳代	60~64	4	14.3	51	7.5	
		65~69	3	10.7	48	7.0	
		70歳代	70~74	2	7.1	48	7.0
			75~79	4	14.3	59	8.7
80歳以上	10	35.7	75	11.0			
合計	28	100.0	682	100.0			
歩行者の傷者	幼児		0.0	15	2.2		
	小学生		0.0	46	6.7		
	中学生		0.0	16	2.3		
	高校生		0.0	26	3.8		
	高齢者	19	67.9	230	33.7		

年齢	区分	死者		傷者			
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)		
その他の死者	16歳未満	0	0.0	324	4.2		
	16~19歳	2	4.1	368	4.8		
	20歳代	3	6.1	1,260	16.4		
	30歳代	5	10.2	1,546	20.2		
	40歳代	8	16.3	1,426	18.6		
	50歳代	6	12.2	1,159	15.1		
	60歳代	60~64	1	2.0	543	7.1	
		65~69	3	6.1	421	5.5	
		70歳代	70~74	3	6.1	271	3.5
			75~79	5	10.2	203	2.6
80歳以上	13	26.5	141	1.8			
合計	49	100.0	7,662	100.0			
その他の傷者	幼児	0	0.0	80	1.0		
	小学生	0	0.0	110	1.4		
	中学生	0	0.0	89	1.2		
	高校生	1	2.0	234	3.1		
	高齢者	24	49.0	1,036	13.5		

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18～20時の6人が歩行者死者の21.4パーセントを占め最も多く、次いで20～22時の5人となっている。

傷者についても18～20時の126人が歩行者傷者の18.5パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の122人となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者	人数	3	4	1	0	1	1	2	0	4	6	5	1	28
	構成率(%)	10.7	14.3	3.6	0.0	3.6	3.6	7.1	0.0	14.3	21.4	17.9	3.6	100.0
傷者	人数	16	6	13	58	52	76	67	71	122	126	47	28	682
	構成率(%)	2.3	0.9	1.9	8.5	7.6	11.1	9.8	10.4	17.9	18.5	6.9	4.1	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が24人と多く、歩行者死者の85.7パーセントを占めている。

傷者は昼間が382人と多く、歩行者傷者の56.0パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者	人数	0	4	0	4	4	19	1	24	28
	構成率(%)	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	67.9	3.6	85.7	100.0
傷者	人数	19	318	45	382	89	202	9	300	682
	構成率(%)	2.8	46.6	6.6	56.0	13.0	29.6	1.3	44.0	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が15人と多く、歩行者死者の53.6パーセントを占めている。

傷者は夜間における子ども、高齢者以外の者が210人と多くなっている。

(単位：人・%)

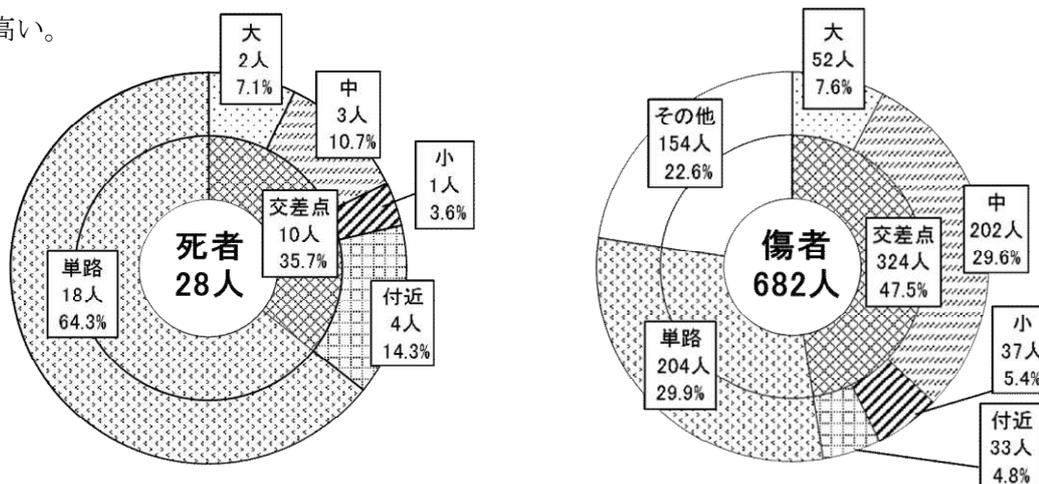
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者	人数	0	4	0	4	0	15	9	24	28
	構成率(%)	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	53.6	32.1	85.7	100.0
傷者	人数	67	150	165	382	10	80	210	300	682
	構成率(%)	9.8	22.0	24.2	56.0	1.5	11.7	30.8	44.0	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が18人と多く、64.3パーセントを占めている。交差点での死者は10人で、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。

傷者は交差点が324人と多く、47.5パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は17人で、歩行者死者の60.7パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、27人と歩行者死者の96.4%を占め、傷者についても440人で歩行者傷者の64.5パーセントを占めている。 (単位：人)

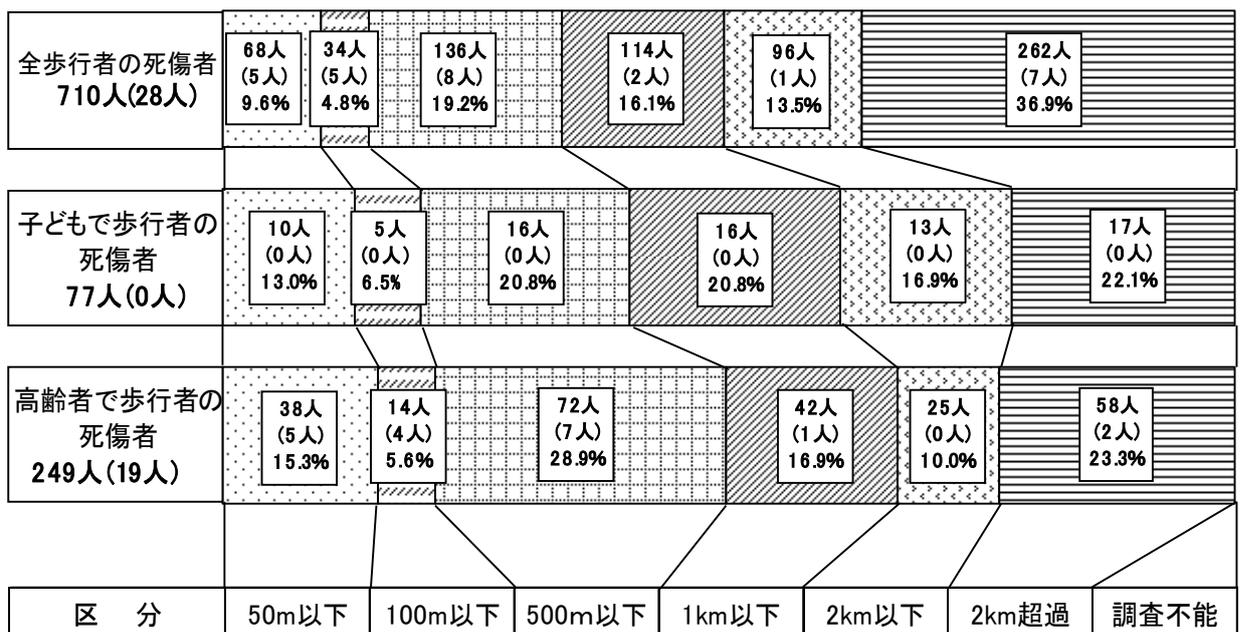
道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者	1	3	1	2	7	1		8
		傷者	45	143	12	6	206	6		212
	信号機なし	死者	1			2	3	17		20
		傷者	7	59	25	27	118	198	154	470
合 計		死者	2	3	1	4	10	18	0	28
		傷者	52	202	37	33	324	204	154	682

歩車道あり	区分あり	防護柵等	死者		1	1		2	1		3
			傷者	6	4	1		11	3		14
	縁石等	死者	2	2		3	7	10		17	
		傷者	45	167	18	23	253	95	8	356	
	路側帯	死者				1	1	6		7	
		傷者		16	8	7	31	39		70	
	区分なし		死者				0	1		1	
			傷者	1	15	10	3	29	67	146	242
合 計		死者	2	3	1	4	10	18	0	28	
		傷者	52	202	37	33	324	204	154	682	

ウ 自宅からの距離

自宅から500メートル以内の死傷者が238人で、歩行者死傷者の33.5パーセントを占めている。

また、死者は18人で歩行者死者の64.3パーセントを占めている。



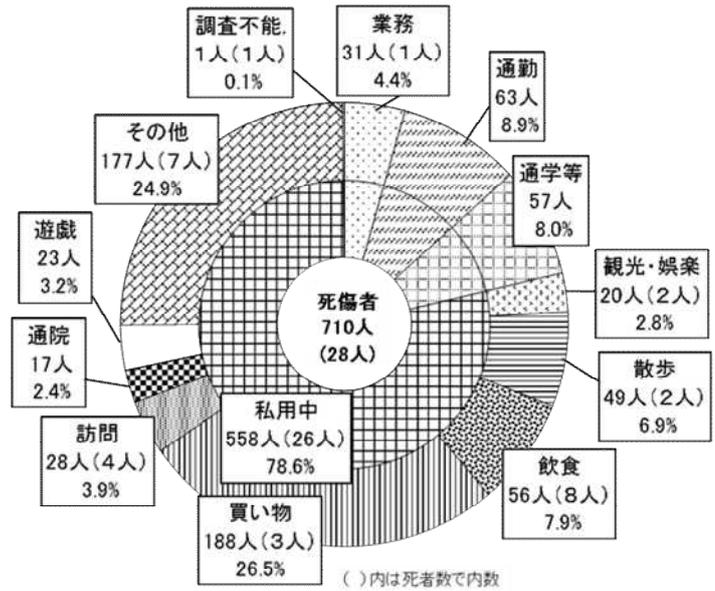
()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が 558 人で 78.6 パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く 188 人、26.5 パーセントとなっている。

通勤については、前年に比べ、死者は 4 人減少したが、飲食については、死者が 5 人増加している。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は 20 人で歩行者死者の 71.4 パーセント、傷者は 405 人で歩行者傷者の 59.4 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両													人 対 車 両 以 外	合 計
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他		
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他									
死 者	1	3	3	3	1	13	20			3			1	0	28
構成率(%)	3.6	10.7	10.7	10.7	3.6	46.4	71.4	0	0.0	10.7	0.0	0.0	3.6	0.0	100.0
傷 者	28	56	219	32	1	153	405	3	14	21	11	4	125	15	682
構成率(%)	4.1	8.2	32.1	4.7	0.1	22.4	59.4	0.4	2.1	3.1	1.6	0.6	18.3	2.2	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者 20 人のうち、交差点での死者は 8 人で横断中死者の 40.0 パーセントを占めている。

また、交差点内の傷者 266 人のうち、211 人 (79.3%) が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

(単位：人・%)

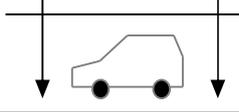
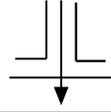
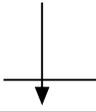
横断場所	道路形状	交 差 点				計				そ の 他				合 計	
		交 差 点 内		交 差 点 付 近		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
		死 者	傷 者	死 者	傷 者										
横 断 中	横 断 歩 道	3	211		4	3	215			4	3	219	15.0	54.1	
	横 断 歩 道 付 近	1	12	2	13	3	25			7	3	32	15.0	7.9	
	横 断 歩 道 橋 付 近	1	1			1	1				1	1	5.0	0.2	
	そ の 他	1	42		7	1	49	12	104	13	153	65.0	37.8		
合 計		6	266	2	24	8	290	12	115	20	405	100	100		

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 18 人(90.0%)、傷者は 347 人(85.7%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は 27 人で、うち 16 人(59.3%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所		車両の陰から			建物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
区分								
	子ども	死者						
	傷者	6	7	3	4	2	6	34
高齢者	死者						2	12
	傷者		2		3	1	7	135
その他	死者							6
	傷者	4	3	2	1		7	178
合計	死者	0	0	0	0	0	2	18
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
	傷者	10	12	5	8	3	20	347
	構成率(%)	2.5	3.0	1.2	2.0	0.7	4.9	85.7

(8) 違反別

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は 21 人で 75.0%を占め、傷者は 173 人で 25.4%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が 5 人と多く違反あり死者の 23.8%、次いで酩酊・徘徊の 3 人(14.3%)が続いている。

横断中では、横断歩道外が 2 人で最も多く、横断中の違反あり死者の 40.0 パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が 71 人と多く、違反あり傷者の 41.0 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

違反	死傷者		死傷者		
	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	
信号無視	1	3.6	7	1.0	
通行区分	2	7.1	22	3.2	
横断中	横断歩道外	2	7.1	41	6.0
	斜め横断	1	3.6	8	1.2
	駐停車両直前・直後		0.0	10	1.5
	走行車両直前・直後	1	3.6	9	1.3
	横断禁止場所	1	3.6	3	0.4
計	5	17.9	71	10.4	
酩酊・徘徊	3	10.7	9	1.3	
路上遊戯		0.0	2	0.3	
路上作業		0.0	4	0.6	
飛び出し	2	7.1	27	4.0	
その他の違反	8	28.6	31	4.5	
違反なし	7	25.0	509	74.6	
調査不能		0.0		0.0	
合計	28	100.0	682	100.0	

3 自転車の事故

(1) 概況

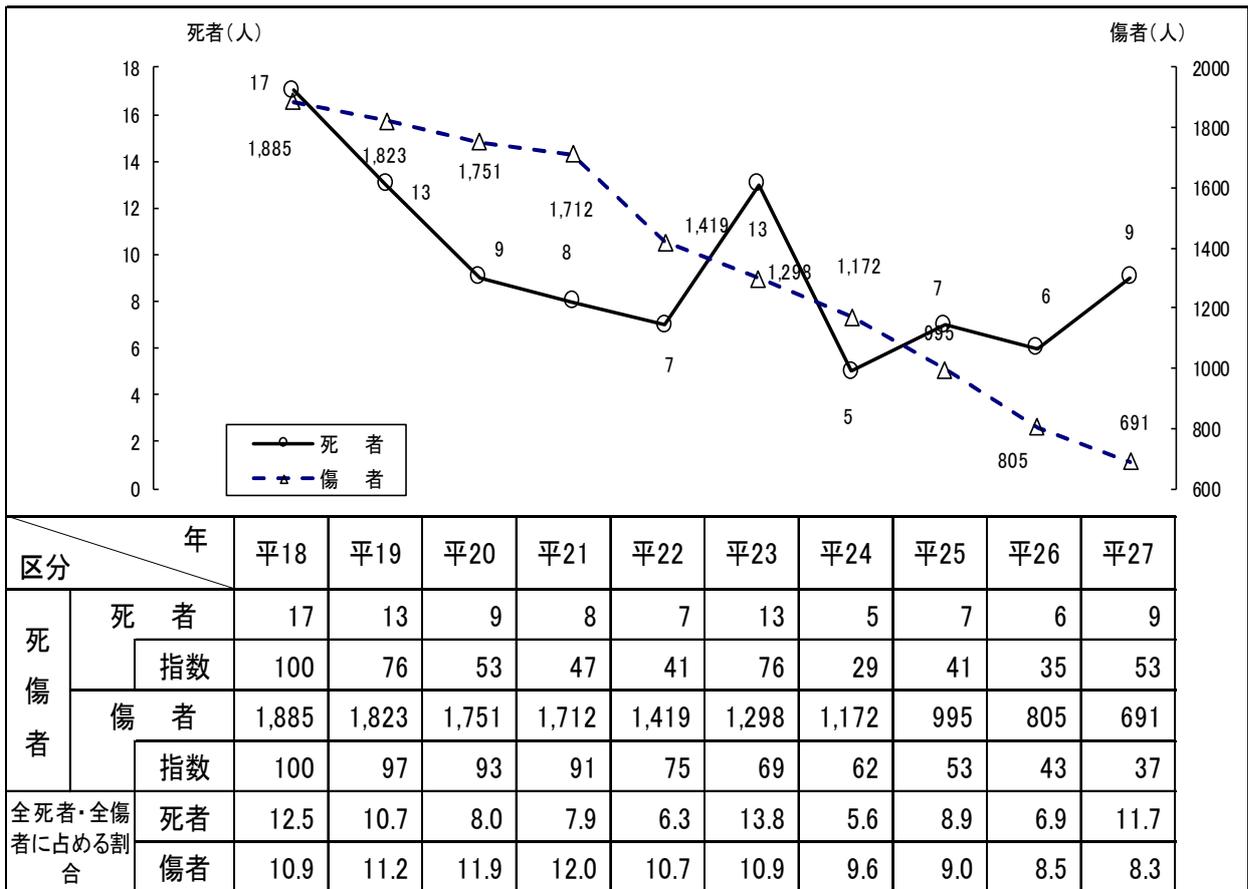
交通事故で死傷した人は

死者数 9人 (前年比 +3人 50.0%増)

傷者数 691人 (前年比 -114人 14.2%減)

で、傷者数は減少したが、死者は増加した。

全死者数に占める割合は 11.7 パーセントで 4.8 ポイントの増加、全傷者数に占める割合は 8.3 パーセントで 0.2 ポイント減少した。 (単位：人・%)



(2) 月別

死者数は5月、10月、12月で各2人、4月、6月、7月で各1人となっている。傷者は、5月が93人と最も多く、次いで10月の74人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数ともに大きな差はない。

(単位：人・%)

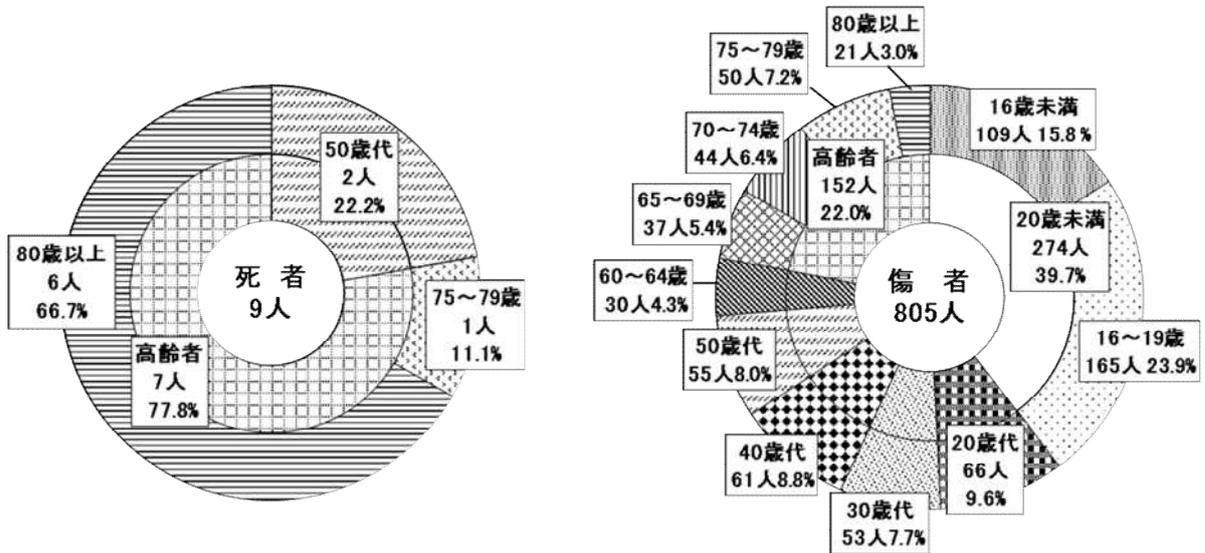
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者				1	2	1	1			2		2	9
	傷者	32	39	55	69	93	64	53	44	55	74	57	56	691
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	20.0	33.3	12.5	12.5	0.0	0.0	33.3	0.0	25.0	11.7
	傷者	4.5	5.8	7.5	9.8	13.0	9.5	8.0	6.8	8.9	9.8	8.4	7.3	8.3

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は、高齢者が7人と多く、自転車死者の77.8パーセントを占める。

傷者は20歳未満が274人と多く、自転車傷者の39.7パーセントを占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、自転車の死傷者では、死者は高齢者、傷者は20歳未満の占める割合が高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自 転 車 の 死	16歳未満	0	0.0	109	15.8	
	16～19歳	0	0.0	165	23.9	
	20歳代	0	0.0	66	9.6	
	30歳代	0	0.0	53	7.7	
	40歳代	0	0.0	61	8.8	
	50歳代	2	22.2	55	8.0	
	60歳代	60～64	0	0.0	30	4.3
		65～69	0	0.0	37	5.4
	70歳代	70～74	0	0.0	44	6.4
		75～79	1	11.1	50	7.2
80歳以上	6	66.7	21	3.0		
合 計		9	100.0	691	100.0	
傷 者	内 訳	幼 児	0	0.0	3	0.4
		小 学 生	0	0.0	34	4.9
		中 学 生	0	0.0	40	5.8
		高 校 生	0	0.0	176	25.5
		高 齢 者	7	77.8	152	22.0

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
そ の 他 の 死	16歳未満	0	0.0	298	3.9	
	16～19歳	2	2.9	237	3.1	
	20歳代	3	4.4	1263	16.5	
	30歳代	8	11.8	1566	20.5	
	40歳代	8	11.8	1438	18.8	
	50歳代	6	8.8	1173	15.3	
	60歳代	60～64	5	7.4	564	7.4
		65～69	6	8.8	432	5.6
	70歳代	70～74	5	7.4	275	3.6
		75～79	8	11.8	212	2.8
80歳以上	17	25.0	195	2.5		
合 計		68	100.0	7,653	100.0	
傷 者	内 訳	幼 児	0	0.0	92	1.2
		小 学 生	0	0.0	122	1.6
		中 学 生	0	0.0	65	0.8
		高 校 生	1	1.5	84	1.1
		高 齢 者	36	52.9	1114	14.6

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は 20～22 時が 3 人で自転車死者の 33.3 パーセンを占め最も多く、次いで 14～16 時の 2 人の順となっている。

傷者は 16～18 時が 122 人で自転車傷者の 17.7 パーセントを占め最も多く、次いで 8～10 時の 119 人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	時間											合計	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22		22-24
死者						1	1		2	1	1	3		9
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	11.1	11.1	33.3	0.0	100.0
傷者		2	1	6	95	119	82	60	78	122	91	24	11	691
	構成率(%)	0.3	0.1	0.9	13.7	17.2	11.9	8.7	11.3	17.7	13.2	3.5	1.6	100.0

イ 昼夜別

(単位：人・%)

死者は 5 人、傷者は 535 人と死者、傷者ともに昼間が多い。

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			4	1	5		4		4	9
	構成率(%)	0.0	44.4	11.1	55.6	0.0	44.4	0.0	44.4	100.0
傷者		14	463	58	535	66	82	8	156	691
	構成率(%)	2.0	67.0	8.4	77.4	9.6	11.9	1.2	22.6	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼夜ともの高齢者が多く、それぞれ自転車死者の 55.6 パーセントと 22.2 パーセントを占めている。

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			5		5		2	2	4	9
	構成率(%)	0.0	55.6	0.0	55.6	0.0	22.2	22.2	44.4	100.0
傷者		69	132	334	535	8	20	128	156	691
	構成率(%)	10.0	19.1	48.3	77.4	1.2	2.9	18.5	22.6	100.0

(単位：人・%)

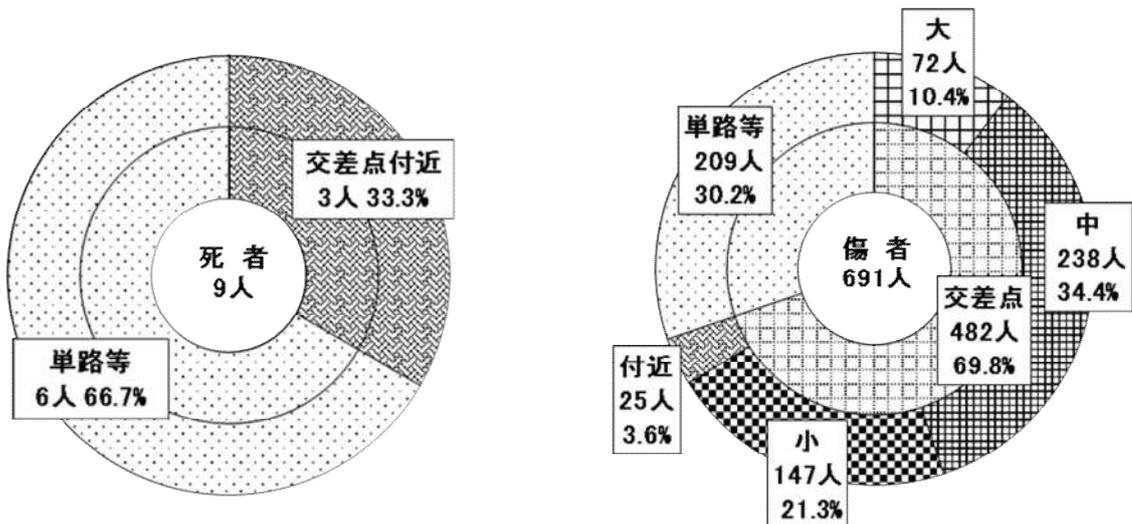
傷者は、昼間のその他が 334 人と多く、自転車傷者の 49.3 パーセントを占めている。

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、単路等が 6 人で自転車死者の 66.7 パーセントを占め、傷者は交差点が 482 人で自転車傷者の 69.8 パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、傷者は「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、交差点で3人、単路で6人と単路で多くなっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状	交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者				1				1
		傷者	61	97	9	7	174			
信号機	信号機なし	死者				2		6		8
		傷者	11	141	138	18	308	196	13	517
合 計		死者	0	0	0	3		6	0	9
		傷者	72	238	147	25	482	196	13	691

(6) 道路形状別・事故類型別

自転車乗用中の死者は交差点以外が6人(66.7%)と多く、傷者は交差点での発生が482人(69.8%)と多くなっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭の事故が多く、死者は2人(22.2%)、傷者は416人(60.2%)となっている。

(単位：人・%)

道路形状		交 差 点						計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		構成率(%)									
		事故類型	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0		
車	正 面 衝 突		1			0	1		5	0	6	0.0	0.9		
	追 突		1	1		1	1	1	14	2	15	22.2	2.2		
両	出 会 い 頭		286		10	0	296	2	120	2	416	22.2	60.2		
	追 越 ・ 追 抜		2		3	0	5		15	0	20	0.0	2.9		
相	転 回 ・ 後 退 時					0	0			0	0	0.0	0.0		
	進 路 変 更 時					0	0		2	0	2	0.0	0.3		
互	す れ 違 い 時				2	0	2		4	0	6	0.0	0.9		
	左 折 時		86		2	0	88	1	20	1	108	11.1	15.6		
	右 折 時		77		3	0	80		11	0	91	0.0	13.2		
	そ の 他		4		5	0	9		18	0	27	0.0	3.9		
計		0	457	1	25	1	482	4	209	5	691	55.6	100.0		
車 両 単 独				2		2	0	2		4	0	44.4	0.0		
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0		
合 計		0	457	3	25	3	482	6	209	9	691	100.0	100.0		

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、子どもは500m以内(101~500m)、高齢者は1km以内(501~1,000m)の死傷者が多い。

子ども、高齢者を除いた死傷者は2km超過(2001m~)が多い。

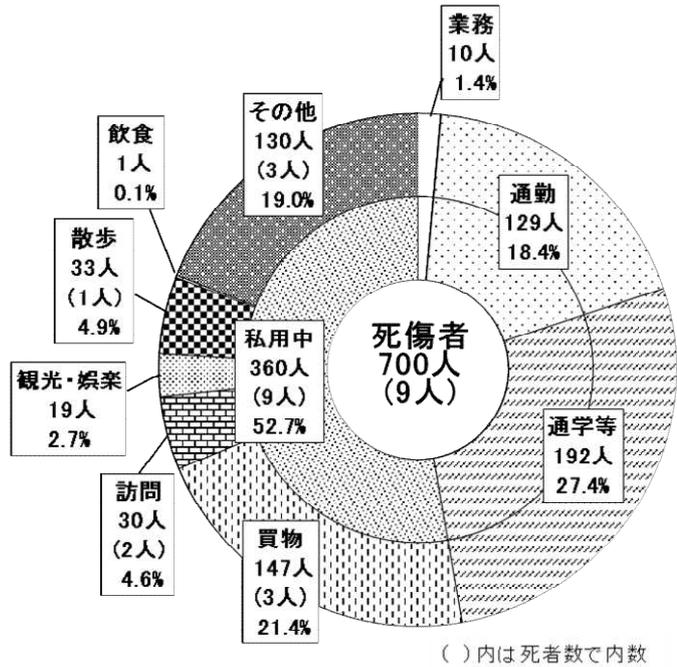
(単位：人・%)

区分	距離							調査不能	合 計
	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過			
子 ども	8	4	23	12	16	14		77	
	構成率(%)	10.4	5.2	29.9	15.6	20.8	18.2	0.0	100.0
高 齢 者	2	8	③ 29	① 42	① 38	② 40		⑦ 159	
	構成率(%)	1.3	5.0	18.2	26.4	23.9	25.2	0.0	100.0
そ の 他	① 5	9	45	81	114	① 209		② 463	
	構成率(%)	1.1	1.9	9.7	17.5	24.6	45.1	0.0	100.0
合 計	① 15	21	③ 97	① 135	① 168	③ 263	0	⑨ 699	
	構成率(%)	2.1	3.0	13.9	19.3	24.0	37.6	0.0	100.0

○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が 360 人で、
 52.7 パーセントを占めている。
 なかでも買い物が 147 人で、
 21.4 パーセントを占めている。
 通学等、通勤における事故の
 発生も多く、それぞれ、192 人
 (27.4%)、129 人(18.4%)となっ
 ている。

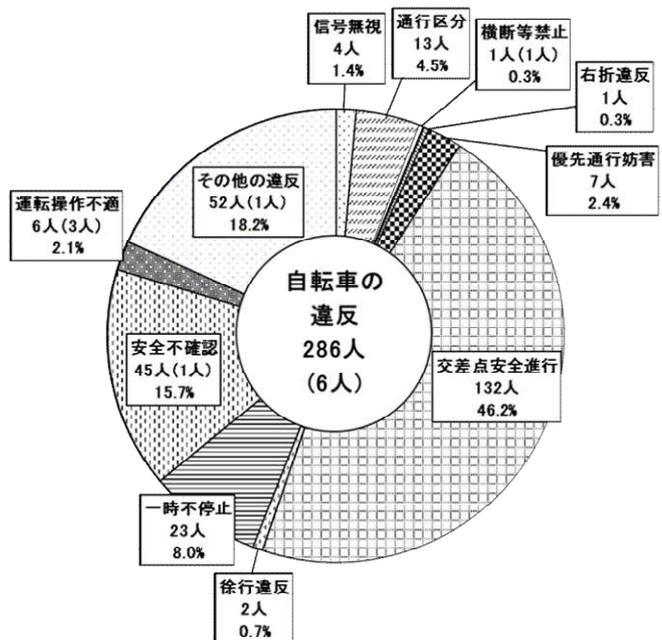


(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは 6 人 (66.7%)、同じく傷者では 280 人 (40.5%) となっ
 ている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		0.0%	4	0.6%
通行区分		0.0%	13	1.9%
横断等禁止	1	11.1%		0.0%
右折違反		0.0%	1	0.1%
優先通行妨害		0.0%	7	1.0%
交差点安全進行		0.0%	132	19.1%
徐行違反		0.0%	2	0.3%
一時不停止		0.0%	23	3.3%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	11.1%	44	6.4%
運転操作不適	3	33.3%	3	0.4%
その他の違反	1	11.1%	51	7.4%
違反なし	3	33.3%	411	59.5%
合 計	9	100.0%	691	100.0%



内 訳	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合	人数	割合
	無灯火率	4	44.4%	1
	死者	11.1%	傷者	3.0%

4 子どもの事故

(1) 概況

交通事故により死傷した子どもは、

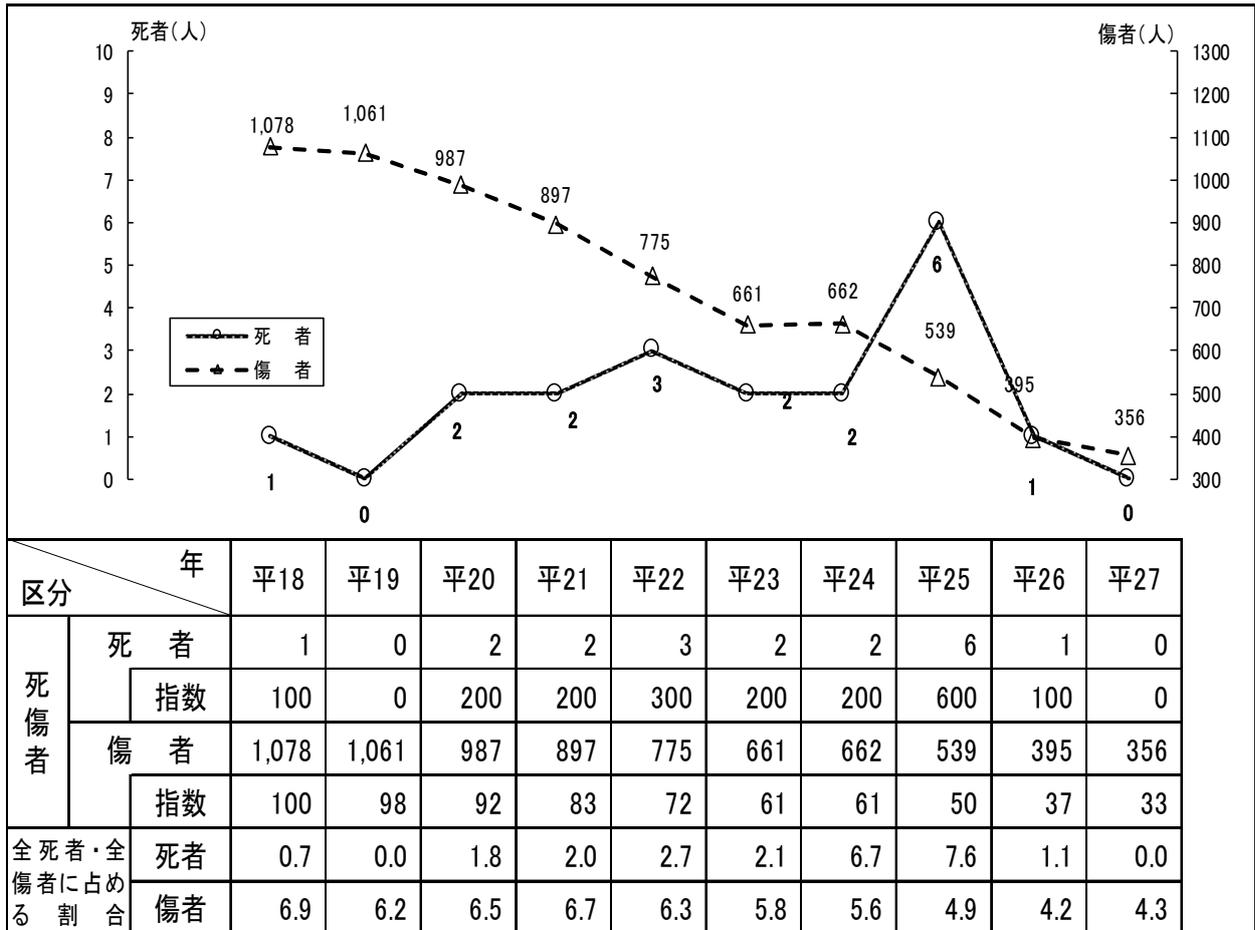
死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

傷者数 356人 (前年比 -39人 9.9%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者に占める割合は0.0パーセントで、1.1ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.3パーセントで0.1ポイント増加した。

(単位：人・%)



(2) 月別

傷者数は6月の42人が最も多く、次いで5月の40人の順となっている。

(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者													0
	傷者	35	18	27	37	40	42	29	24	22	28	27	27	356
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	傷者	4.9	2.7	3.7	5.3	5.6	6.2	4.4	3.7	3.6	3.7	4.0	3.5	4.3

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の201人(56.5%)が最も多く、次いで自転車運転中、歩行者の77人(21.6%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車同乗中	自動二輪乗車中	原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
				運転	同乗	運転	同乗			
死者										0
	構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷者		201				77		77	1	356
	構成率(%)	56.5	0.0	0.0	0.0	21.6	0.0	21.6	0.3	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位：人)

傷者は、幼稚園児の50人が最も多く、次いで未就学児の45人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学1年生の16人が最も多く、次いで幼稚園児の10人の順となっている。

自転車の傷者は、中学生2年生の15人が最も多く、次いで中学3年生の13人の順となっている。

学齢	状態	歩行者		自転車		その他		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就学児		5				40	0	45
	幼稚園児		10		3		37	0	50
	計	0	15	0	3	0	77	0	95
小学生	1年生		16		2		8	0	26
	2年生		9		4		24	0	37
	3年生		6		4		13	0	23
	4年生		5		6		10	0	21
	5年生		7		8		15	0	30
	6年生		3		10		6	0	19
	計	0	46	0	34	0	76	0	156
中学生	1年生		6		12		18	0	36
	2年生		5		15		16	0	36
	3年生		5		13		15	0	33
	計	0	16	0	40	0	49	0	105
合計		0	77	0	77	0	202	0	356

(5) 時間別・昼夜別

(単位：人・%)

傷者は昼間が多く80.6パーセントを占めている。

時間別で、傷者は、下校時間帯及び放課後となる16~18時の95人が最も多く、次いで14~16時の64人の順となっている。

区分	昼夜	昼間		夜間		合計	
		薄暮		薄暮		薄暮	
死者						0	0
	構成率(%)	-	-	-	-	-	-
傷者		287	42	69	37	356	79
	構成率(%)	80.6	11.8	19.4	10.4	100.0	22.2

*薄暮時は内数

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者														0
	構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷者		0	0	2	33	37	35	33	64	95	46	10	1	356
	構成率(%)	0.0	0.0	0.6	9.3	10.4	9.8	9.3	18.0	26.7	12.9	2.8	0.3	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢でみると、**幼児、小学生は、買い物での被害が多く、中学生は、登校時の被害が多い。**

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が**6.4**パーセント、小学生は**15.5**パーセント、中学生は**36.2**パーセントとなっている。(単位：人・%)

通行目的		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登校	3	3.2	9	5.8	22	21.0	34	9.6
	学業中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下校	3	3.2	15	9.7	16	15.2	34	9.6
私用	観光・娯楽	7	7.4	13	8.4	4	3.8	24	6.8
	ドライブ	2	2.1	2	1.3	3	2.9	7	2.0
	散歩	1	1.1	11	7.1	1	1.0	13	3.7
	飲食	2	2.1	2	1.3	3	2.9	7	2.0
	買い物	28	29.5	33	21.3	19	18.1	80	22.5
	訪問	3	3.2	10	6.5	3	2.9	16	4.5
	帰省	6	6.3	4	2.6	2	1.9	12	3.4
	遊戯(路上)	1	1.1	6	3.9		0.0	7	2.0
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	39	41.1	50	32.3	32	30.5	121	34.1
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合計	95	100.0	155	100.0	105	100.0	355	100.0	

*(注) 通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子どもの死傷者のうち**58.1**パーセントが交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生の歩行中と中学生による自転車乗用中の交差点事故が26人と多い。

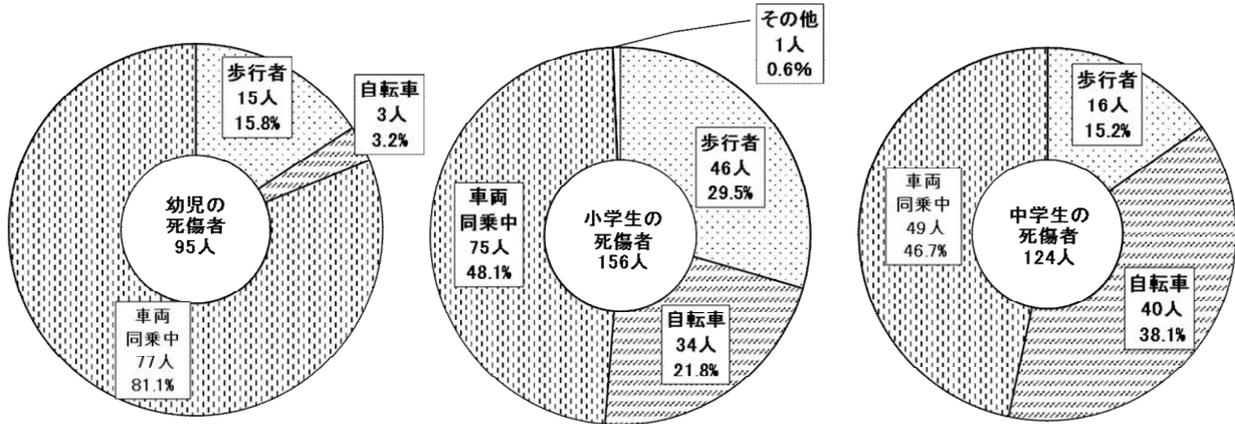
区分	歩行者	自転車	その他	合計
形状				
交 差 点	42	50	115	207
構成率(%)	20.29	24.15	55.56	
単 路	27	24	80	131
構成率(%)	20.61	18.32	61.07	
駐 車 場 等	8	3	7	18
構成率(%)	44.44	16.67	38.89	
合 計	77	77	202	356
構成率(%)	21.63	21.63	56.74	

(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
学 齢												
幼 児	5	1	43	49	5	2	30	37	5		4	9
小 学 生	26	23	45	94	17	10	28	55	3	1	3	7
中 学 生	11	26	27	64	5	12	22	39		2		2
合 計	42	50	115	207	27	24	80	131	8	3	7	18

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 81.1 パーセントを占め、小学生、中学生についても 40 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



ウ 自宅からの距離

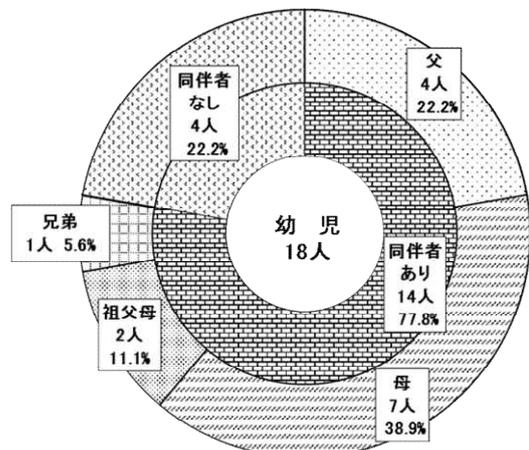
子どもの死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から 500メートル以内での事故が 40.3 パーセントを占め、自転車乗車中についても自宅から 500メートル以内での事故が 45.5 パーセントを占めている。 (単位：人・%)

区分	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
	構成率 (%)																	
50 m 以下	3	20.0	7	15.2		0.0	10	13.0	3	100.0	5	14.7		0.0	8	10.4	18	11.7
100 m 以下		0.0	4	8.7	1	6.3	5	6.5		0.0	3	8.8	1	2.5	4	5.2	9	5.8
500m 以下	3	20.0	10	21.7	3	18.8	16	20.8	0.0	12	35.3	11	27.5	23	29.9	39	25.3	
1 km 以下	1	6.7	13	28.3	2	12.5	16	20.8	0.0	5	14.7	7	17.5	12	15.6	28	18.2	
2 km 以下	2	13.3	6	13.0	5	31.3	13	16.9	0.0	7	20.6	9	22.5	16	20.8	29	18.8	
2 km 超過	6	40.0	6	13.0	5	31.3	17	22.1	0.0	2	5.9	12	30.0	14	18.2	31	20.1	
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0		0.0		0.0		0	0.0	0	0.0	
合計	15	100.0	46	100.0	16	100.0	77	100.0	3	100.0	34	100.0	40	100.0	77	100.0	154	100.0

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者 18 人 (死者はなし) のうち、77.8 パーセントの 14 人が「同伴者あり」となっている。

同伴者の中で一番多いのは母親、次いで父親の順となっている。



(8) 事故類型

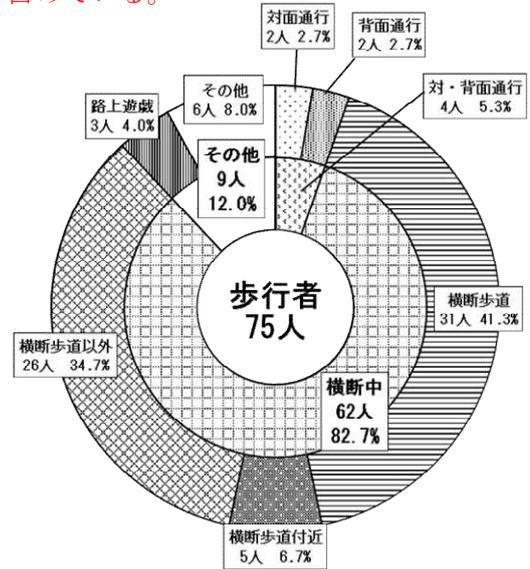
ア 歩行者

事故類型別では横断中が 62 人と多く歩行者被害の 82.7 パーセントを占め、中でも横断歩道での傷者が 31 人と多く横断中傷者の 50.0 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道以外の信号機のない場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学齢	横断場所	横断歩道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児		3		1	8
小学生		13	8		16
中学生		6	1	1	5



※車両相互の被害者2人を除く

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が 54 人で、自転車乗用中の 70.1 パーセントを占め最も多く、次いで左折時の 8 人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が 50 人と多く、自転車乗用中傷者の 64.9 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等		計	その他	合計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人対車両			0		0	0.0						
車両相互	正面衝突		0	1	1	1.3				1		
	追突		0	1	1	1.3				1		
	出会い頭	34	3	37	17	54	70.1	1	2	20	6	16
	追越・追抜			0	2	2	2.6					2
	転回・後退時	1		1	1	2	2.6					1
	進路変更・すれ違い時		2	2	1	3	3.9			1		1
	右折時	3		3	2	5	6.5			1	1	2
	左折時	7		7	1	8	10.4			1	1	6
その他			0	1	1	1.3				1		
計	45	5	50	27	77	100.0	1	2	23	11	26	
車両単独			0		0	0.0						
列車			0		0	0.0						
合計	45	5	50	27	77	100.0	1	2	23	11	26	

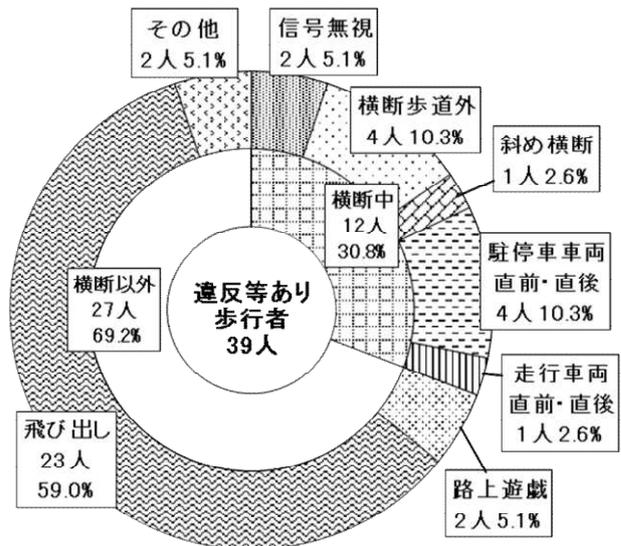
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者77人のうち、何らかの違反が認められた者は39人で、子どもの歩行中事故の50.6パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが23人と最も多く、違反のあった歩行者の59.0パーセントを占めている。

歩 行 者	幼 児	□違反あり 9人 □違反なし 60.0%	6人 40.0%
	小 学 生	26人 56.5%	20人 43.5%
	中 学 生	4人 25.0%	12人 75.0%
	子 ども 以 外	155人 24.5%	478人 75.5%

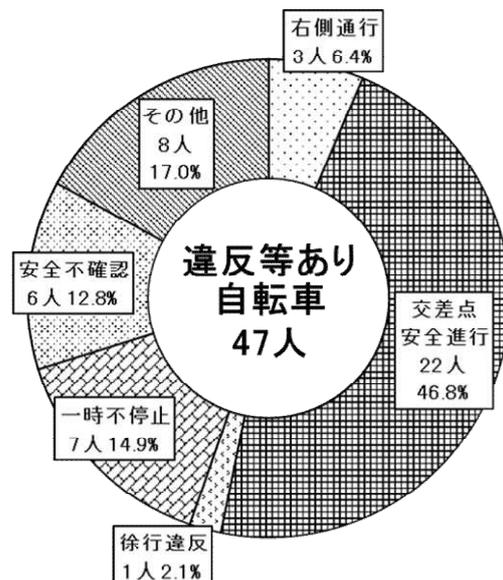


イ 自転車

自転車の傷者77人のうち、何らかの違反が認められたのは47人で自転車傷者の61.0パーセントを占めている。

違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が22人(46.8%)で最も多く、次いで一時不停止の7人(14.9%)が続いている。

自 転 車	幼 児	□違反あり 2人 □違反なし 66.7%	1人 33.3%
	小 学 生	22人 64.7%	12人 35.3%
	中 学 生	23人 57.5%	17人 42.5%
	子 ども 以 外	239人 38.4%	384人 61.6%



5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 22件 (前年比 +8件 57.1%増)

死者数 1人 (前年比 +1人)

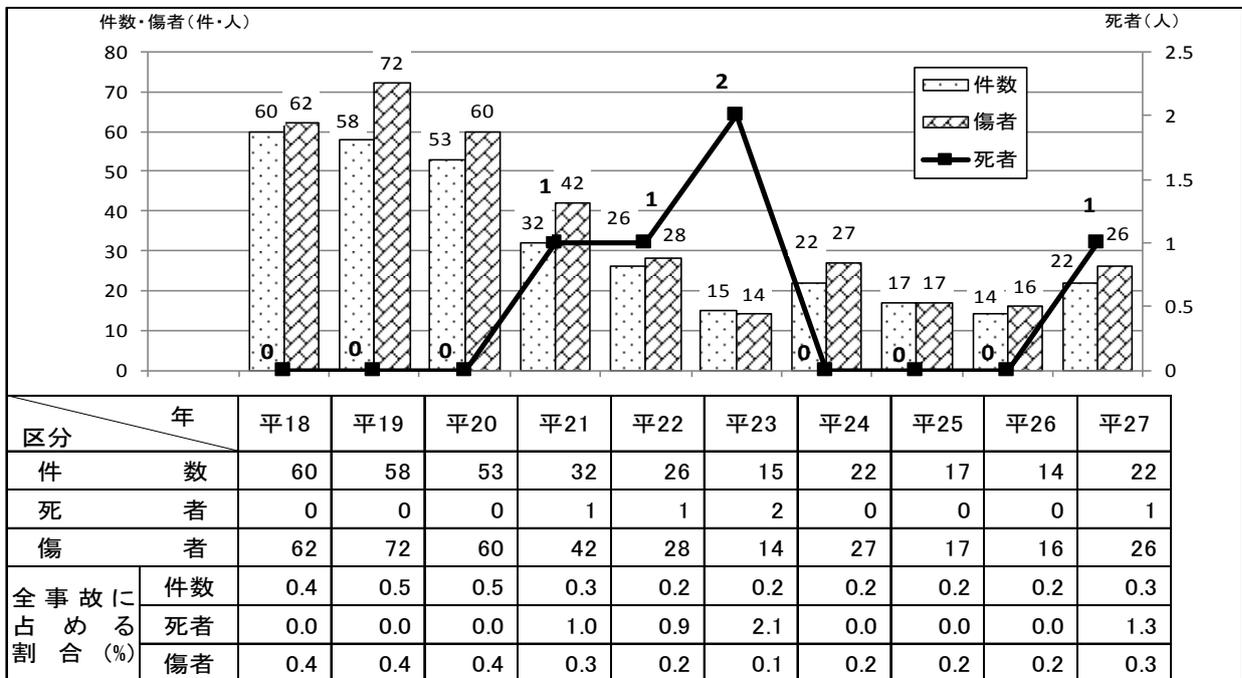
傷者数 26人 (前年比 +10人 62.5%増)

で、発生件数、死者数、傷者数ともに増加した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成18年の60件で、平成27年の22件は平成18年と比べると約3分の1に減少している。

死者は、平成23年の2人が最も多く、平成21、22、27年の1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)

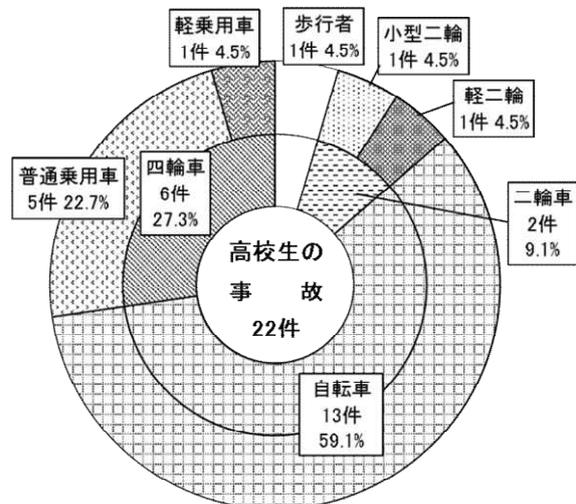


イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、

自転車が13件で59.1%を占め、次いで、

四輪車の6件(27.3%)となっている。



ウ 違反別

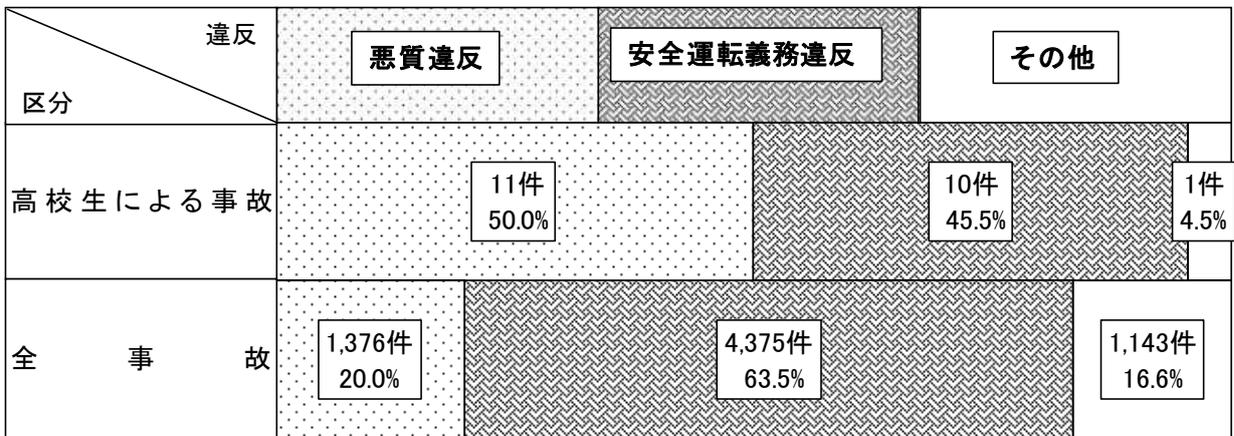
安全運転義務違反による事故が 10 件で 45.5%を占め、内容は、前方不注意による事故が 6 件、次いで動静不注視、安全不確認の各 2 件となっている。

悪質違反による事故は 11 件で 50.0%を占め、一時不停止が 5 件、次いで通区・追越の 3 件となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	2	9.1	354	5.1	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	42	0.6
	最高速度	1	4.5	9	0.1		ハンドル・ブレーキ		0.0	509	7.4
	通区・追越	3	13.6	185	2.7		前方不注意	6	27.3	1,729	25.1
	歩行者妨害等		0.0	291	4.2		動静不注視	2	9.1	1,145	16.6
	一時不停止	5	22.7	528	7.7		安全不確認	2	9.1	855	12.4
	酒酔い運転		0.0	9	0.1		安全速度		0.0	73	1.1
	計	11	50.0	1,376	20.0		その他		0	64	1
横断禁止等		0.0	47	0.7	計	10	45.5	4,375	63.5		
右・左折違反		0.0	19	0.3	その他	1	4.5	130	1.9		
優先通行妨害等		0.0	388	5.6	合計	22	100.0	6,894	100.0		
交差点安全進行		0.0	517	7.5	無免許(内数)	1	4.5	30	0.4		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、安全運転義務違反は全事故より 18.0 ポイント低くなっているが、悪質違反は 50.0 パーセントで 2.5 倍になっている。



エ 道路形状別・当事者別

高校生が第 1 当事者となる事故は、自転車による事故が 6 件、自動車による事故が 2 件の計 8 件が交差点で発生し、36.4 パーセントを占めている。

(単位：件)

当事者	道路形状	交差点		合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)	その他		右	左
自動車	自動車	2	1	4	1	1
	小型二輪			1		1
	軽二輪			1		
	原付二種			0		
	原付			0		
計		0	0	2	0	2
自転車	自転車	6	1	7	1	
歩行者	歩行者			1		
合計	合計	8	2	14	2	3

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人 (前年比 -2人 66.7%減)

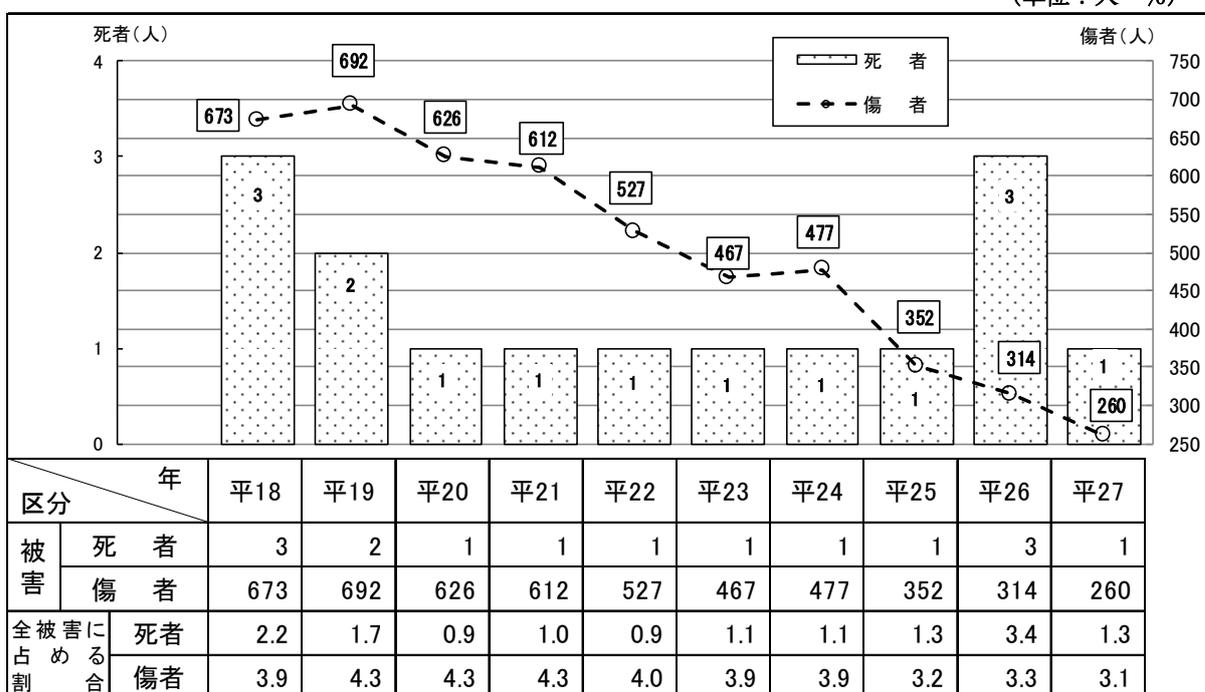
傷者数 260人 (前年比 -54人 17.2%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成18、26年の3人、次いで平成19年が2人、他は1人となっている。

傷者が最も多いのは平成19年の692人で、最も少ないのは平成27年の260人となっている。

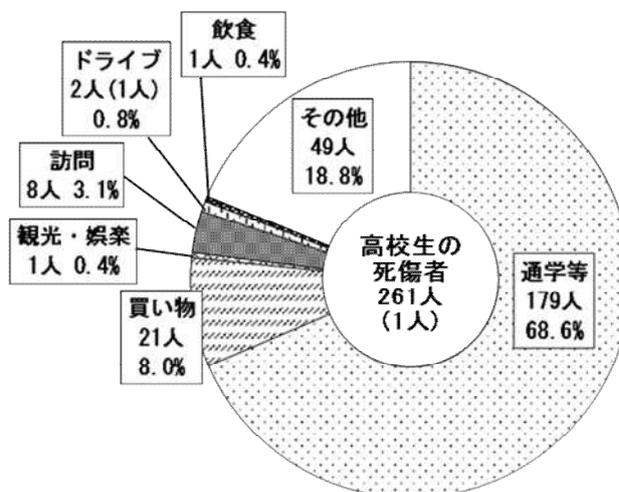
(単位：人・%)



イ 通行目的

通学等の死傷者は179人で高校生死傷者の68.6パーセントを占め最も多く、次いで買い物の21人となっている。

死者は、ドライブの1人となっている。



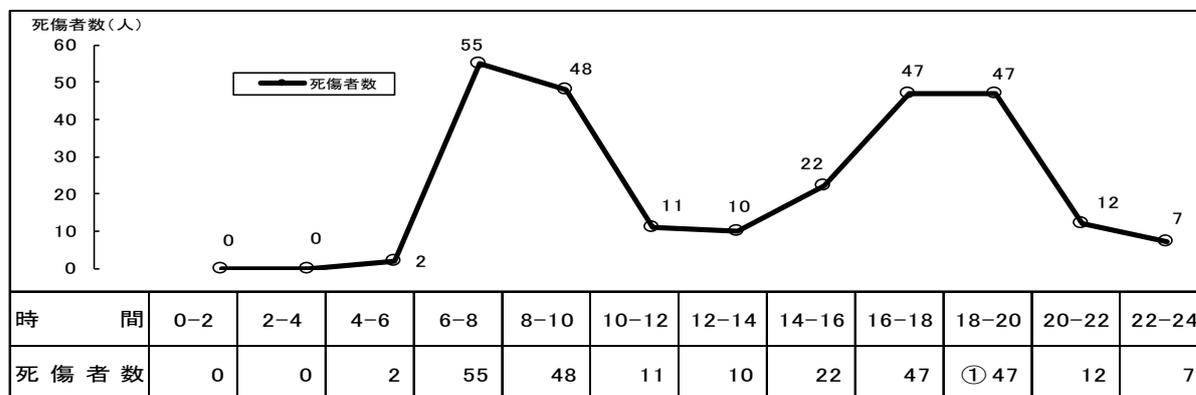
()内は死者数で内数

ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に6～8時が55人、8～10時が48人、16～18時及び18～20時が47人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の75.5パーセントを占めている。

死者は、18～20時発生 of 1人となっている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

高校生の死者は自動二輪車運転中の1人である。

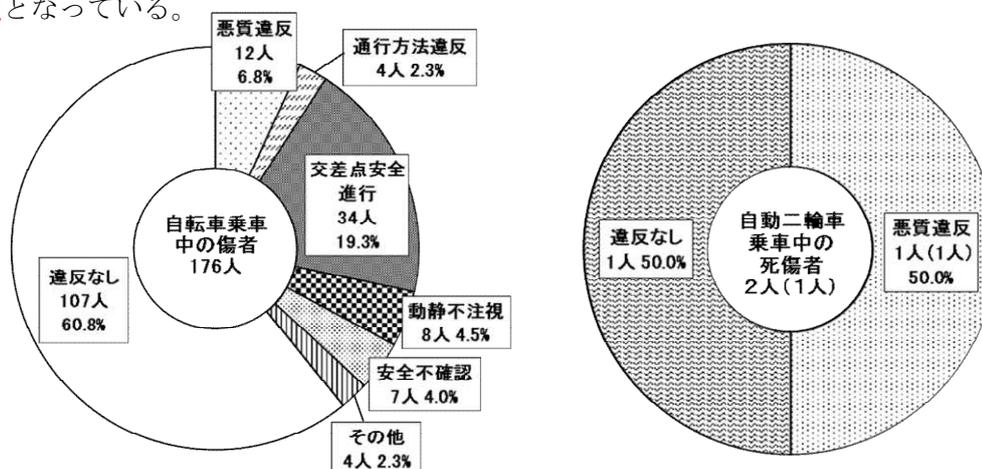
傷者は自転車乗用中が176人と最も多く高校生傷者の67.7パーセントを占め、次いで自動車同乗中の52人(20.0%)、歩行中の26人(10.0%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状 態		自 動 車		自動二輪車		原 付 乗 車 中	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
	運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中							
死 者					1						1
構成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者	4	52	1				176	26	1		260
構成率(%)	1.5	20.0	0.4	0.0	0.0	0.0	67.7	10.0	0.4		100.0

自転車、原付バイクの違反状況をみると、自転車の39.2%に、自動二輪車の50.0%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車は悪質交通違反1人、自転車は交差点安全進行34人、悪質違反12人、動静不注視8人の順となっている。



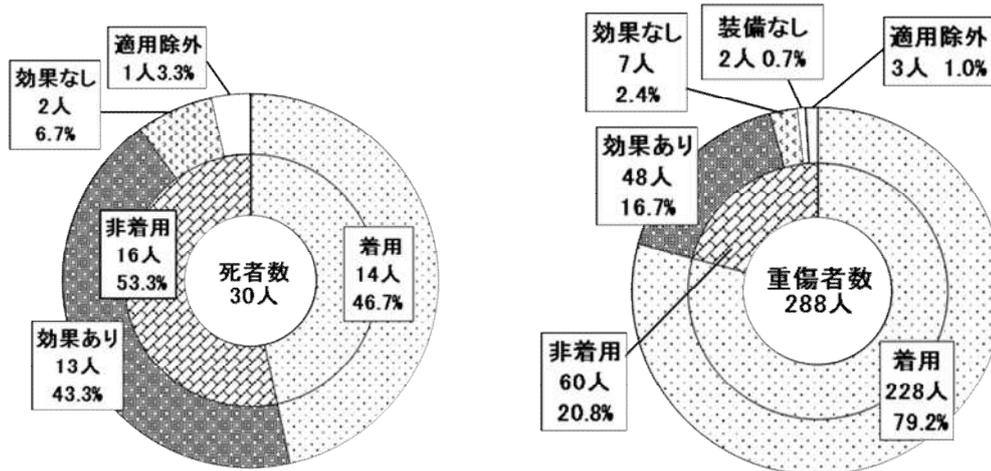
(注) ()は死者数で内数

自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者 16 人中 13 人 (81.3%) はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

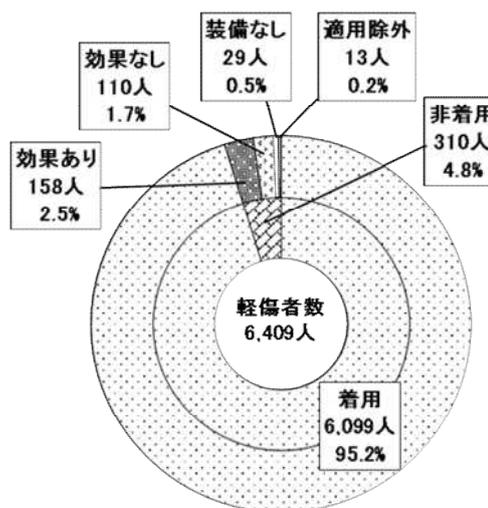


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くなると予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が 98.1 パーセント、助手席が 95.8 パーセント、後部席が 58.9 パーセントである。

死者の着用率は、運転席が 45.8 パーセント、後部座席が 0.0 パーセントと低い、助手席は 100.0 パーセントであった。



運転席	死者 24人	着用 11人 45.8%	非着用 13人 54.2%
	傷者 5,293人	着用 5,194人 98.1%	非着用 99人 1.9%
助手席	死者 3人	着用 3人 100.0%	
	傷者 830人	着用 795人 95.8%	非着用 35人 4.2%
後部席	死者 3人	非着用 3人 100.0%	
	傷者 574人	着用 338人 58.9%	非着用 236人 41.1%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20～24歳及び30歳代が0.0パーセントと最も低く、次いで70歳以上が45.5パーセントとなっている。

傷者の着用率は、20歳未満が81.8パーセントと最も低く、50歳代が96.2パーセントと最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	97	96	99.0	112	104	92.9	182	120	65.9	391	320	81.8
20～24歳	死 者	2		0.0			-			-	2	0	0.0
	傷 者	418	408	97.6	84	79	94.0	30	18	60.0	532	505	94.9
25～29歳	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	511	500	97.8	72	72	100.0	38	20	52.6	621	592	95.3
30歳代	死 者	2		0.0			-			-	2	0	0.0
	傷 者	1,233	1,205	97.7	139	132	95.0	71	40	56.3	1,443	1,377	95.4
40歳代	死 者	7	3	42.9	1	1	100.0			-	8	4	50.0
	傷 者	1,158	1,134	97.9	119	113	95.0	52	25	48.1	1,329	1,272	95.7
50歳代	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	907	895	98.7	99	95	96.0	58	34	58.6	1,064	1,024	96.2
60～64歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	394	391	99.2	68	67	98.5	28	13	46.4	490	471	96.1
65～69歳	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0	1		0.0	3	2	66.7
	傷 者	282	280	99.3	52	49	94.2	39	26	66.7	373	355	95.2
70歳以上	死 者	8	4	50.0	1	1	100.0	2		0.0	11	5	45.5
	傷 者	293	285	97.3	85	84	98.8	76	42	55.3	454	411	90.5
合 計	死 者	24	11	45.8	3	3	100.0	3	0	0.0	30	14	46.7
	傷 者	5,293	5,194	98.1	830	795	95.8	574	338	58.9	6,697	6,327	94.5

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、12～14時、18～20時が100.0パーセントと最も高く、0～2時、6～8時、8～10時、20～22時が0.0パーセントと最も低い。

傷者は8～10時が96.4パーセントと最も高く、0～2時が75.4パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	2		0.0			-			-	2	0	0.0
	傷 者	45	41	91.1	9	5	55.6	11	3	27.3	65	49	75.4
2～4	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	36	33	91.7	12	10	83.3	7	4	57.1	55	47	85.5
4～6	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	77	73	94.8	13	11	84.6	13	7	53.8	103	91	88.3
6～8	死 者	3		0.0			-			-	3	0	0.0
	傷 者	664	658	99.1	60	57	95.0	59	31	52.5	783	746	95.3
8～10	死 者			-			-	1		0.0	1	0	0.0
	傷 者	759	755	99.5	90	89	98.9	63	35	55.6	912	879	96.4
10～12	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	617	601	97.4	108	107	99.1	68	46	67.6	793	754	95.1
12～14	死 者	3	3	100.0	1	1	100.0			-	4	4	100.0
	傷 者	566	555	98.1	103	100	97.1	94	64	68.1	763	719	94.2
14～16	死 者	3		0.0	2	2	100.0	1		0.0	6	2	33.3
	傷 者	641	631	98.4	108	106	98.1	70	41	58.6	819	778	95.0
16～18	死 者	2	2	100.0			-	1		0.0	3	2	66.7
	傷 者	859	844	98.3	153	149	97.4	94	60	63.8	1,106	1,053	95.2
18～20	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	691	683	98.8	96	89	92.7	58	34	58.6	845	806	95.4
20～22	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	235	222	94.5	51	48	94.1	25	8	32.0	311	278	89.4
22～24	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	103	98	95.1	27	24	88.9	12	5	41.7	142	127	89.4
合 計	死 者	24	11	45.8	3	3	100.0	3	0	0.0	30	14	46.7
	傷 者	5,293	5,194	98.1	830	795	95.8	574	338	58.9	6,697	6,327	94.5

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 67人（前年比 -14人 17.3%減）

で、死者は昨年に続いて0人であり、傷者数は減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が25人（うち死亡0人）、後部座席が42人（うち死亡0人）となっている。

【助手席】

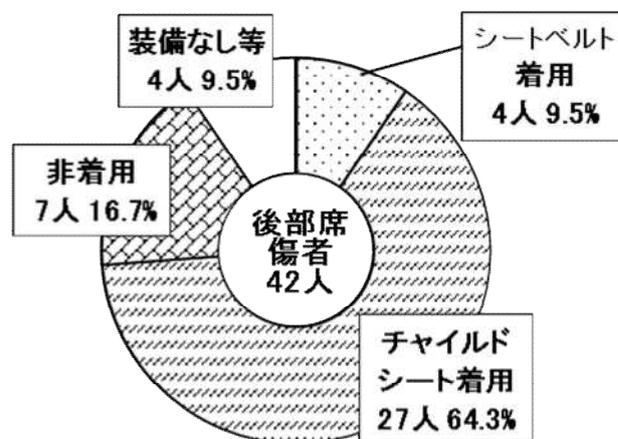
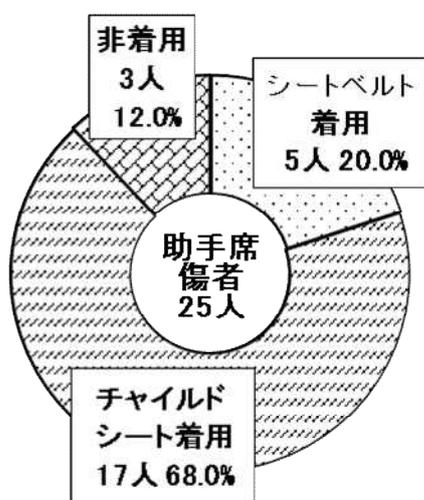
（単位：人）

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	5		
	チャイルドシート	17		1
	計	22	0	1
非着用	効果あり	2		
	効果なし	1		
	計	3	0	0
装備なし等				
合計		25	0	1

【後部座席】

（単位：人）

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	4		
	チャイルドシート	27		1
	計	31	0	1
非着用	効果あり	6		2
	効果なし	1		
	計	7	0	2
装備なし等		4		
合計		42	0	3



効果あり	2人
効果なし	1人

効果あり	6人
効果なし	1人

死亡	0人
重傷	1人

死亡	0人
重傷	3人

7 青年運転者の事故

(1) 概況

青年運転者（25歳未満の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,099件（前年比 -167件 13.2%減）

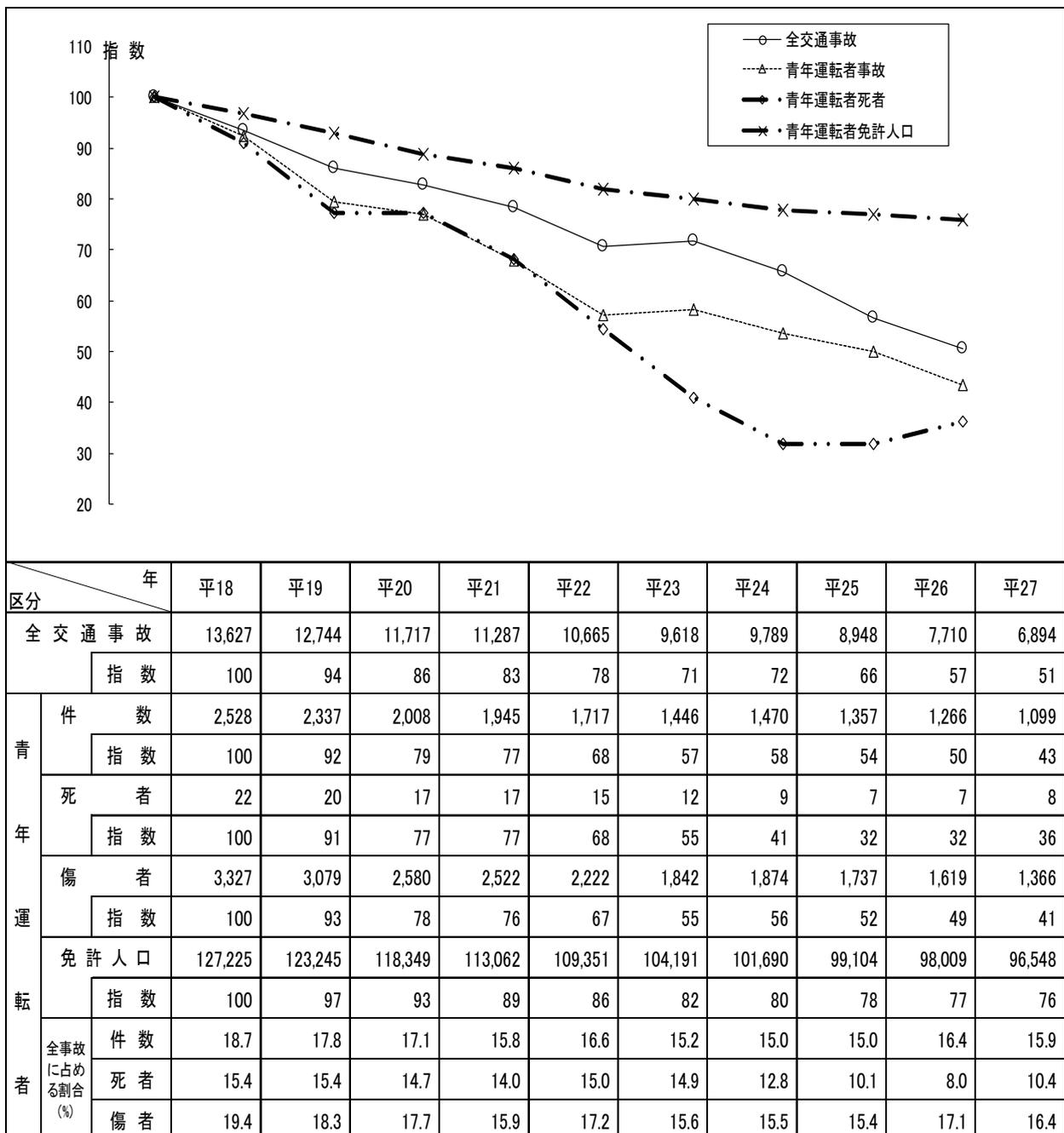
死者数 8人（前年比 +1人 14.3%増）

傷者数 1,366人（前年比 -253人 15.6%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

全事故に占める割合は、件数が15.9パーセント、死者数10.4パーセント、傷者数16.4パーセントとなっている。

（単位：件・人・％）



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が 518 件で最も多く、青年運転者の 47.1 パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が 322 件で最も多く 29.3 パーセントを占めている。

悪質違反による事故は 178 件で青年運転者の 16.2 パーセントを占め、うち一時不停止が 64 件と最も多く、次いで信号無視の 46 件の順となっている。 (単位：件)

違反	車種	自動車							二輪車				合計		
		大乗等	普乗	乗軽	乗大	貨等	普貨	軽貨	特	殊	小	二軽		二原	二原
悪質違反	信号無視		23	22				1							46
	最高速度		4				1								5
	通区・追越		24	15	1	1	2			1					44
	歩行者妨害等		10	8											18
	一時不停止		37	22		2	3								64
	酒酔い運転		1												1
計		0	99	67	1	4	6	0	1	0	0	0		178	
横断禁止等			4	5										9	
右折違反			2											2	
左折違反				1										1	
優先通行妨害等			31	36		1	2							70	
交差点安全進行			31	33	1	2	1		1				1	70	
徐行違反			1	2						1				4	
過労運転			4	1										5	
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		41	31	2	5	1							80	
	前方不注意		134	158	3	13	14							322	
	動静不注意	1	107	107		12	9			1			1	238	
	安全不確認		48	33		3	2							86	
	安全速度		9	4			1							14	
	その他		6	2			2							10	
計		1	345	335	5	33	29	0	0	1	0	1	750		
その他			1	7		1				1				10	
合計		1	518	487	7	41	38	0	2	3	0	2	1,099		

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が 207 件と最も多く、次いで 16～18時の 184 件、6～8時の 158 件となっている。

道路別では、国道の 395 件と最も多く、次いで市町村道が 357 件となっており、市町村道と国道を合わせると、青年運転者事故の 68.4 パーセントを占めている。 (単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国道	4号	6		2	20	10	7	9	9	17	26	
6号	1		1	2	15	9	8	4	7	13	25	6	4	95
13号	1		1	1	1		1	3	1	2	6	1		18
49号			1	1	7	8	5	5	3	12	11	2	2	57
三桁	2			1	15	9	9	13	11	19	15	9		103
計	10		3	7	58	36	30	34	31	63	83	31	9	395
県道		5	4	5	43	40	19	27	21	46	47	14	14	285
市町村道		4	2	9	49	42	27	22	30	67	67	24	14	357
高速道			1		5	2	2	1	1	3	2			17
その他		1	1	1	3	3	5	6	6	5	8	4	2	45
合計		20	11	22	158	123	83	90	89	184	207	73	39	1,099

(4) 事故類型別

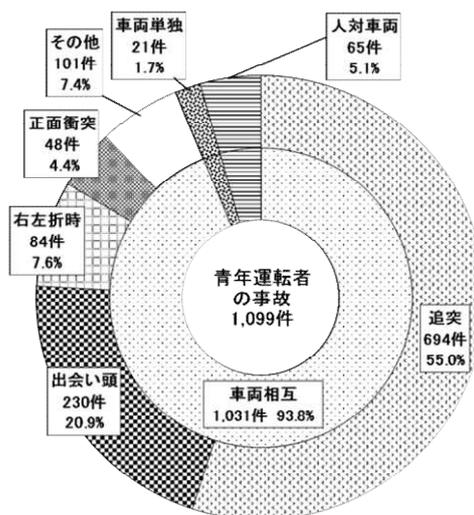
車両相互が1,031件で青年運転者事故の93.8パーセントを占めている。

特に、

追 突： 694件 (55.0%)

出会い頭： 230件 (20.9%)

が多く、両事故類型を合わせると924件で車両相互の75.9パーセントを占めている。

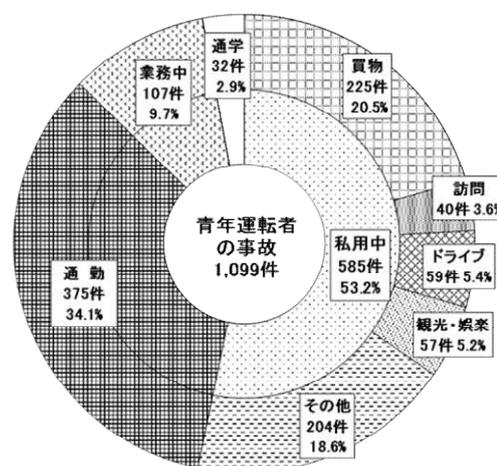


(5) 通行目的別

私用中が585件で青年運転者事故の53.2パーセントを占めている。

特に、買物が225件と多く、私用中事故の38.5パーセントを占め、次いでドライブの59件の順となっている。

また、通勤時の事故も375件発生しており、青年運転者事故の34.1パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が1,002件で最も多く、青年運転者事故の91.2パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	車種	自 動 車									二 輪 車				合 計
		大乗	中乗	普乗	軽乗	大乗	貨中	貨普	軽貨	特殊	小二	軽二	原二	原付	
停止中															
50 km/h以下			1	467	457		3	32	36		1	3			2
60 km/h以下				30	23		1	5	1						
70 km/h以下				11	5		2		1		1				
80 km/h以下				2	1				1						
90 km/h以下				1											
100 km/h以下				4	1		1	2							
101 km/h以上				3				1							
調査不能															
合計		0	1	518	487	0	7	41	38	0	2	3	0	2	1,099

(7) 人的原因別

発見の遅れが 700 件と多く、青年運転者による事故の 63.7 パーセントを占めている。

中でも安全不確認が 277 件で、発見の遅れ全体の 39.6 パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当)			(単位:件・人)		
合 計	件数	死者	1,099	8	1,366
発見の遅れ 計			700	4	871
前方不注意 計			423	3	554
内在的(漫然等) 計			150	2	200
居眠り運転			8	0	13
ラジオ・ステレオを聴いていた			1	0	1
雑誌や携帯電話等で話していた			4	0	8
その他、考え事等の漫然運転			137	2	178
外在的(脇見等) 計			273	1	354
物を落とした、物を取ろうとした			51	0	64
同乗者、同乗の動物等に脇見			10	0	10
カセットテープ、携帯電話等を操作していた			17	0	28
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた			10	1	12
雑誌、地図帳等を見ていた			2	0	3
道、案内標識等を探して脇見			13	0	17
風景、地物等に脇見			51	0	71
他の車、歩行者に脇見			39	0	47
バックミラーやドアミラーを見ていた			4	0	4
その他脇見			76	0	98
安全不確認 計			277	1	317
安全確認をしなかった			126	1	145
安全確認が不十分だった			151	0	172

交通事故の人的原因(第1当)		(単位:件・人)	
判断の誤り等 計		件数	302
		死者	4
動静不注視 計		件数	266
		死者	1
相手が譲ってくれると思って注視を怠った		件数	5
		死者	0
他の危険を避けようとして注視を怠った		件数	7
		死者	1
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った		件数	0
		死者	1
予測不適 計		件数	260
		死者	1
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った		件数	17
		死者	3
相手がルールを守ると思った		件数	19
		死者	12
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った		件数	3
		死者	12
他の事故(危険)を避けようと思った		件数	0
		死者	0
その他相手の行動予見等の判断を誤った		件数	0
		死者	0
交通環境 計		件数	5
		死者	7
道路形状、道路線形に対する認識を誤った		件数	19
		死者	0
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った		件数	0
		死者	22
交通規制に対する認識を誤った		件数	3
		死者	0
交通安全施設に対する認識を誤った		件数	3
		死者	0
障害物等に対する認識を誤った		件数	2
		死者	3
その他の交通環境に対する認識を誤った		件数	0
		死者	0
操作上の誤り(操作不適) 計		件数	1
		死者	0
ブレーキとアクセルの踏み違い		件数	97
		死者	0
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ		件数	124
		死者	21
急ブレーキをかけた		件数	0
		死者	32
エンジン・ブレーキを使用しなかった		件数	40
		死者	0
ハンドルの操作不適		件数	48
		死者	8
ギヤの入れ違い		件数	0
		死者	10
ブレーキをかけながらハンドル操作		件数	1
		死者	0
オートスピードコントロール装置等の操作不適		件数	0
		死者	0
その他の操作不適		件数	16
		死者	0
調査不能		件数	2
		死者	0
		件数	2
		死者	0
		件数	0
		死者	0
		件数	7
		死者	0
		件数	9
		死者	0
		件数	0
		死者	0
		件数	0
		死者	0

8 高齢者の事故（65歳以上）

(1) 高齢運転者による事故

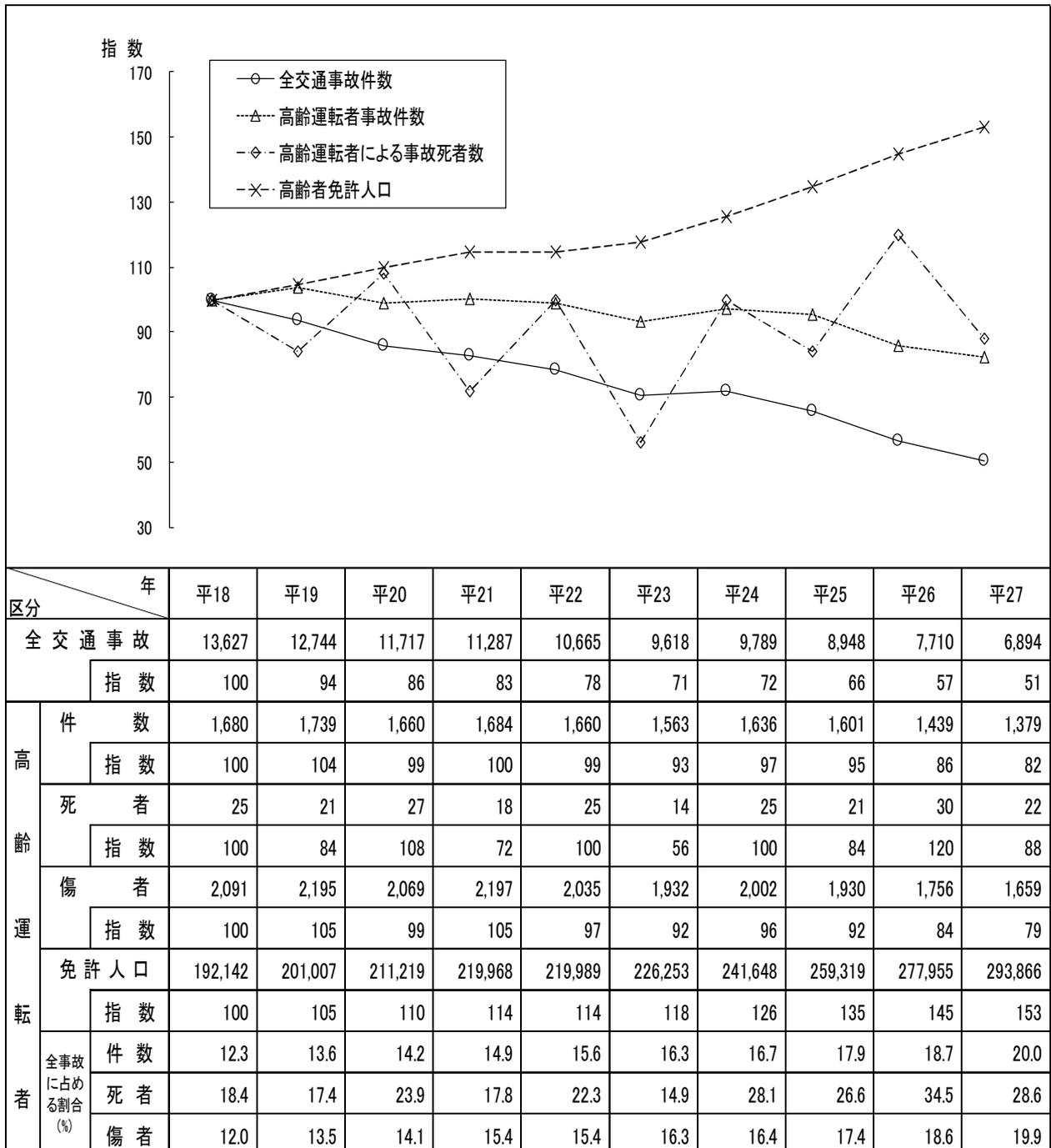
ア 概況

高齢運転者（65歳以上の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,379件（前年比 -60件 4.2%減）
 死者数 22人（前年比 -8人 26.7%減）
 傷者数 1,659人（前年比 -97人 5.5%減）

で、発生件数、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が266件と最も多く、次いで14～16時の228件、8～10時の219件の順となっている。

8時～18時までの発生は1,130件と高齢運転者事故の81.9パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、917件と高齢運転者事故の66.5パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間											合計	昼間	夜間	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22				22-24
国 道	4号			1	3	11	13	18	17	12	7	2		84	71	13
	6号	1			1	19	14	10	18	9	9	1		82	67	15
	13号			1	1		2	2	2	1		1		10	7	3
	49号				4	9	9	4	7	10	3	1		47	39	8
	三桁			1	8	19	20	26	25	21	11			131	115	16
道	計	1	0	3	17	58	58	60	69	53	30	5	0	354	299	55
県道	市町村道	1	2	5	29	55	69	46	41	51	22	7	6	334	272	62
	市町村道	4		5	43	97	111	78	100	92	37	10	6	583	496	87
生活道路	計	5	2	10	72	152	180	124	141	143	59	17	12	917	768	149
高速道					1	3		1	3	5				13	11	2
その他		1			8	6	28	19	15	12	4	2		95	85	10
合計		7	2	13	98	219	266	204	228	213	93	24	12	1,379	1,163	216

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が730件で、高齢運転者事故の52.9パーセントを占め、次いで軽乗用の342件、軽貨物の212件と続いている。

また、二輪車による事故は12件で高齢運転者事故の0.9パーセントを占め、全運転者事故における二輪車事故の占める割合である0.7パーセントを上回っている。

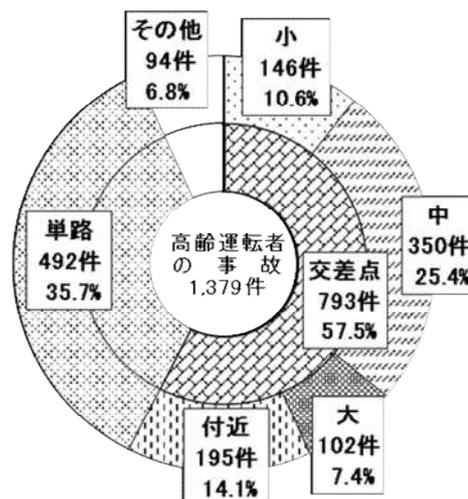
(単位：件)

年齢	車種	四輪車						特殊車	二輪車			合計
		普乗	普貨	軽乗	軽貨	中型	大型		自二	原二	原付	
65～69歳		270	29	118	52	9	9	1			2	490
70歳代		337	15	160	105	6	7		1		5	636
80歳以上		123	7	64	55						4	253
合計		730	51	342	212	15	16	1	1	0	11	1,379

エ 道路形状別

交差点での事故は793件で、高齢運転者事故の57.5パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の44.1パーセントを占めている。



オ 違反別

前方不注意による事故が 273 件と最も多く、高齢運転者事故の 19.8 パーセントを占め、次いで安全不確認 217 件の順となっている。

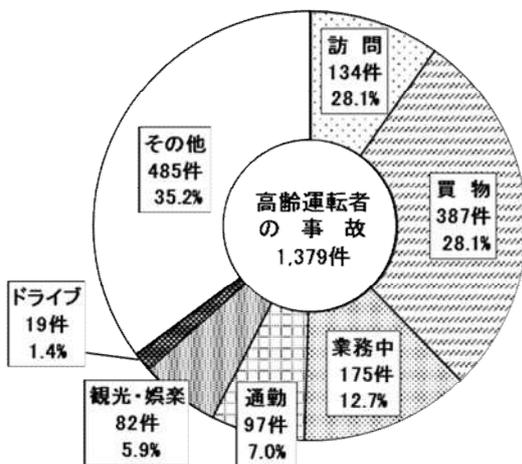
悪質違反は 363 件で高齢運転者事故の 26.3 パーセントを占め、うち一時不停止が 148 件と最も多く、次いで信号無視の 90 件の順となっている。

高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は 26.3 パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合 20.0 パーセントと比較すると 6.3 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が非常に高い。(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他 計	そ の 他 計			
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	安 全 速 度			そ の 他		
件 数	90		42	80	148	3	363	10	1	2	99	124	6	100	273	140	217	7	16	753	21	1,379
構成率(%)	6.5	0.0	3.0	5.8	10.7	0.2	26.3	0.7	0.1	0.1	7.2	9.0	0.4	7.3	19.8	10.2	15.7	0.5	1.2	54.6	1.5	100.0

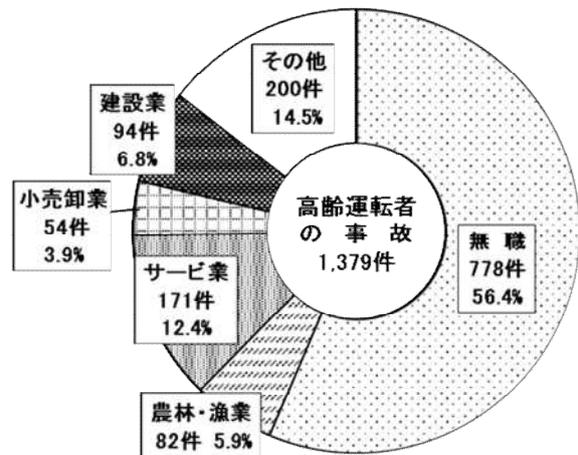
カ 通行目的別

買物が 387 件と多く、高齢運転者事故の 28.1 パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が 778 件と最も多く、高齢運転者の 56.4 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年 齢			合 計
	25歳未満	25～64歳	65歳以上	
免許人口	96,548	918,169	293,866	1,308,015
構成率(%)	7.4	70.2	22.5	100
件 数	1,099	4,416	1,379	6,894
構成率(%)	15.9	64.1	20.0	100
死 者	8	47	22	77
構成率(%)	10.4	61.0	28.6	100
傷 者	1,366	5,319	1,659	8,344
構成率(%)	16.4	63.7	19.9	100

(免許人口は平成 27 年 12 月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

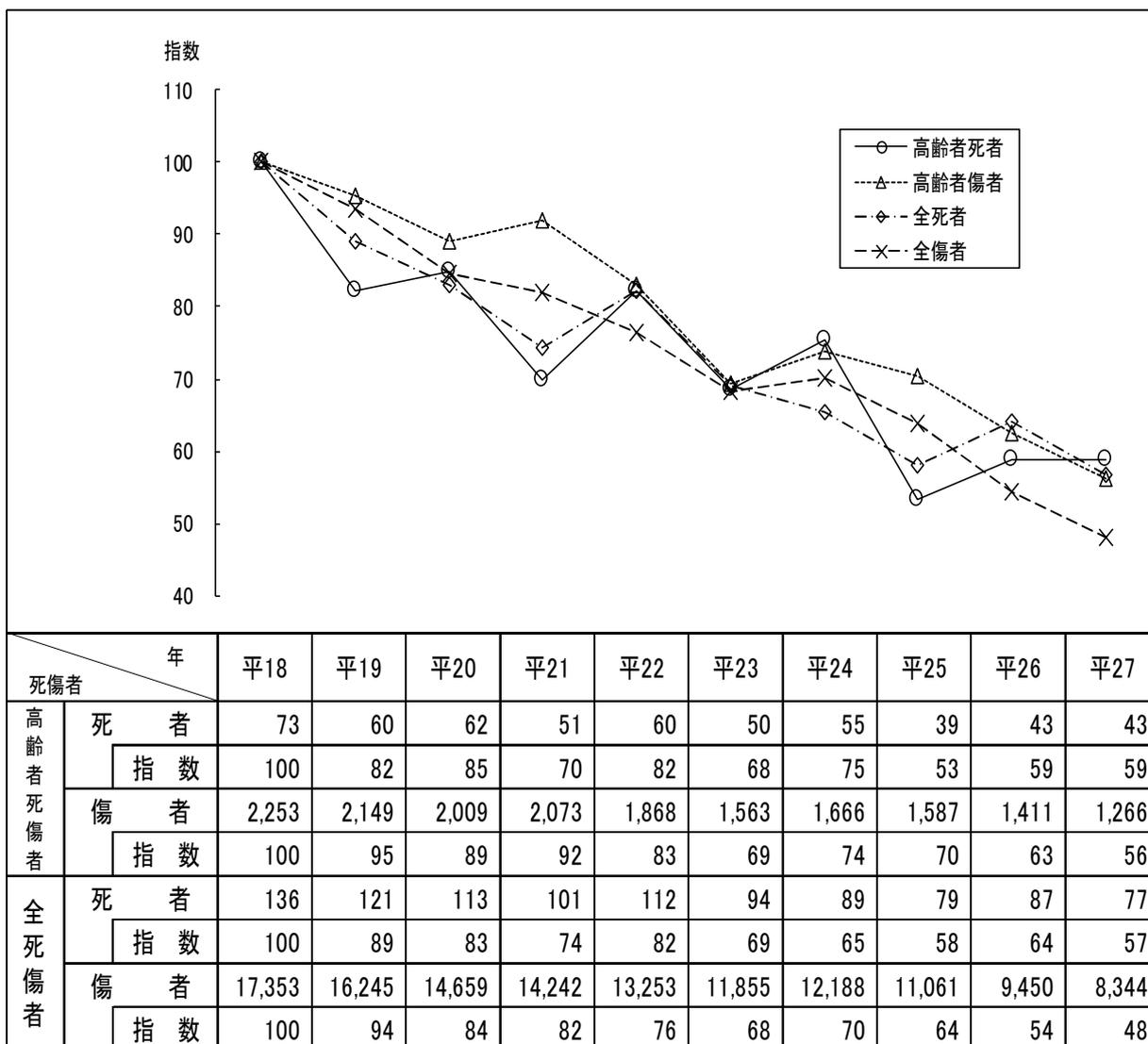
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 43人 (前年比 ±0人)

傷者数 1,266人 (前年比 -145人 10.3%減)

で、死者数は同数であり、傷者数は減少した。

(単位：人)



イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は27名で高齢者死者の62.8パーセント、傷者は808人で高齢者傷者の63.8パーセントを占めている。

(単位：人・%)

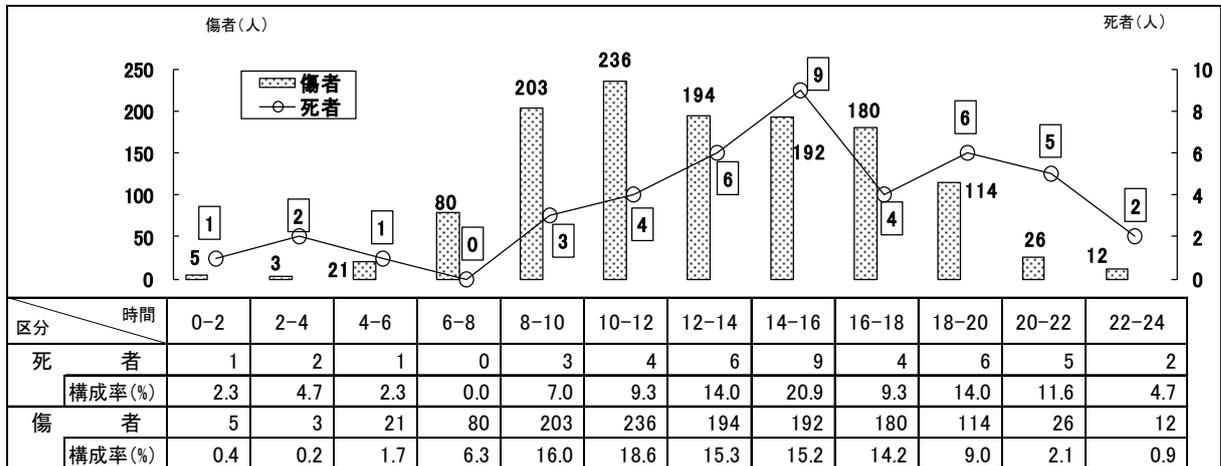
区分	道路	国 道					計	生活道路		計	高 速	其 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市町村道				
死 者			1		2	11	14	15	12	27		2	43
	構成率(%)	0.0	2.3	0.0	4.7	25.6	32.6	34.9	27.9	62.8	0.0	4.7	100.0
傷 者		95	87	10	54	121	367	309	499	808	11	80	1,266
	構成率(%)	7.5	6.9	0.8	4.3	9.6	29.0	24.4	39.4	63.8	0.9	6.3	100.0

ウ 時間別

死者は14～16時の9人が最も多く、高齢者死者の20.9パーセントを占め、次いで12～14時及び18～20時の6人の順となっている。

傷者は10～12時の236人が最も多く、高齢者傷者の18.6パーセントを占め、次いで8～10時の203人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者が最も多く、19人と高齢死者の44.2パーセントを占め、次いで四輪運転の9人、自転車の7人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで四輪同乗の順となっている。

(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		3	48	6	107	10	75	19	230
自転車			37	1	94	6	21	7	152
原付			9	2	24		16	2	49
自二			1				3	0	4
四輪運転		1	282	4	250	4	43	9	575
四輪同乗		2	91	1	104	2	57	5	252
その他					2	1	1	1	3
合計		6	468	14	581	23	216	43	1,265

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは12人で63.2パーセントを占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは54人で23.5パーセントを占め、横断に関する違反が多くなっている。

(単位：人)

違反	違反あり									違反なし	合計	
	信号無視	左側通行	横断					酩酊・徘徊	その他			
			横歩道断外	斜め横断	駐車車両	走行車両	横止断場禁所					
死者	1	1	1	1					1	7	7	19
傷者	2	3	19	3	1	3	3		4	16	176	230

(イ) 自転車

死者の違反については、**その他の違反の3件、横断禁止及び安全不確認の1件**となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは**73人**で**48.1**パーセントを占め、うち**交差点安全進行が39人**と最も多い。

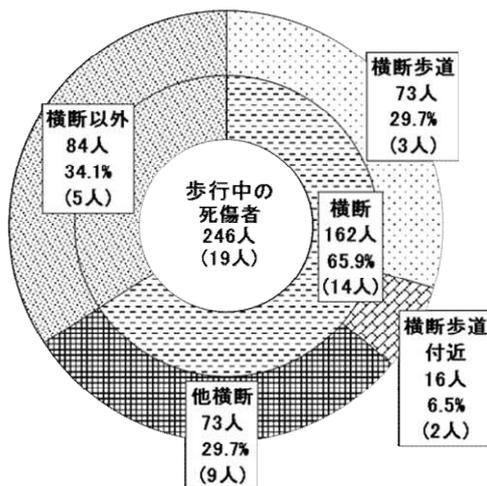
(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り									違 反 な し	合 計
	信 号 無 視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	優 妨 先 通 行 害	交 安 差 全 進 点 行	一 時 不 停 止	酒 酔 い	安 不 確 認	そ の 他		
死 者			1					1	3	2	7
傷 者	2	2		3	39	7		15	5	79	152

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

横断が**162人**と多く、歩行中死傷者の**65.9**パーセントを占めている。

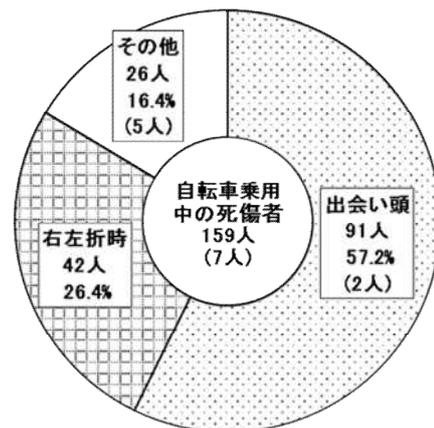


*1 ()内は死者で内数

*2 人対車事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(イ) 自転車

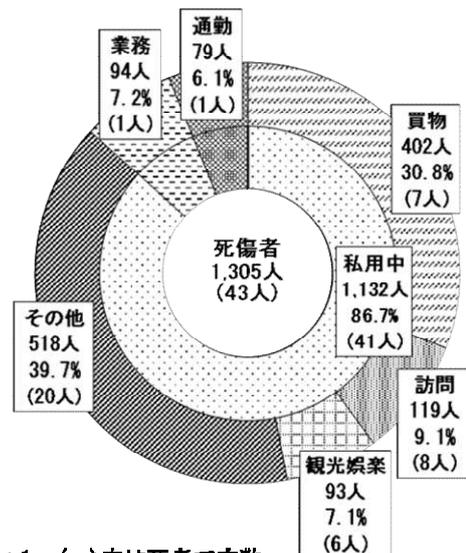
出会い頭事故が**91人**と多く、自転車事故死傷者の**57.2**パーセントを占めている。



* ()内は死者で内数

キ 通行目的別

買物が**402人**と最も多く、高齢者死傷者全体の**30.8**パーセントを占め、次いで訪問、**業務**と続いている。



*1 ()内は死者で内数

*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9 初心運転者の事故

(1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 317件（前年比 -29件 8.4%減）

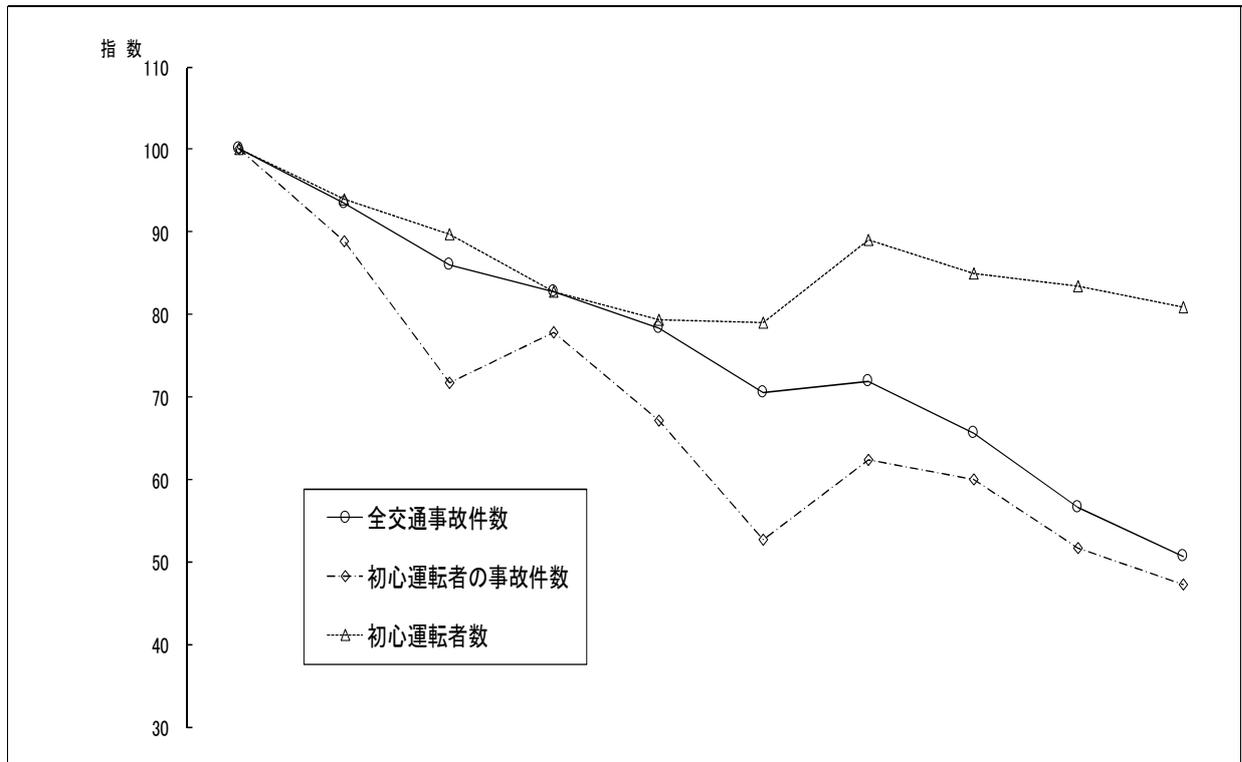
死者数 5人（前年比 +1人 25.0%増）

傷者数 395人（前年比 -55人 12.2%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合は、ほぼ横ばい状態である。

（単位：件・人・％）

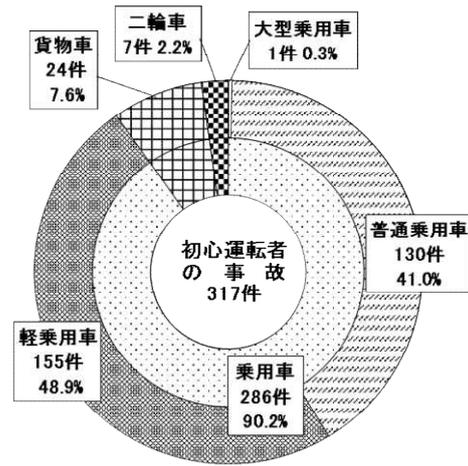


区分	年	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27
全交通事故	件数	13,627	12,744	11,717	11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894
	指数	100	94	86	83	78	71	72	66	57	51
初心運転者事故	件数	670	595	480	522	450	353	418	402	346	317
	指数	100	89	72	78	67	53	62	60	52	47
	死者	8	9	7	2	5	6	5	5	4	5
	指数	100	113	88	25	63	75	63	63	50	63
	傷者	915	819	633	700	598	460	534	519	450	395
	指数	100	90	69	77	65	50	58	57	49	43
全免許人口	件数	1,311,269	1,316,158	1,319,878	1,321,188	1,322,334	1,310,410	1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583
	指数	100	100	101	101	101	100	100	100	100	100
初心運転者数	件数	35,861	33,706	32,201	29,681	28,441	28,352	31,899	30,489	29,928	28,979
	指数	100	94	90	83	79	79	89	85	83	81
全事故に占める割合		5.2	4.9	4.7	4.1	4.6	4.2	3.7	4.3	4.5	4.6

(2) 車種別

乗用車が 286 件で初心運転者事故の 90.2 パーセントを占め、軽乗用車の占める割合が 48.9 パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽二輪車が 28.6 パーセント、小型二輪車が 26.7 パーセントと高くなっている。



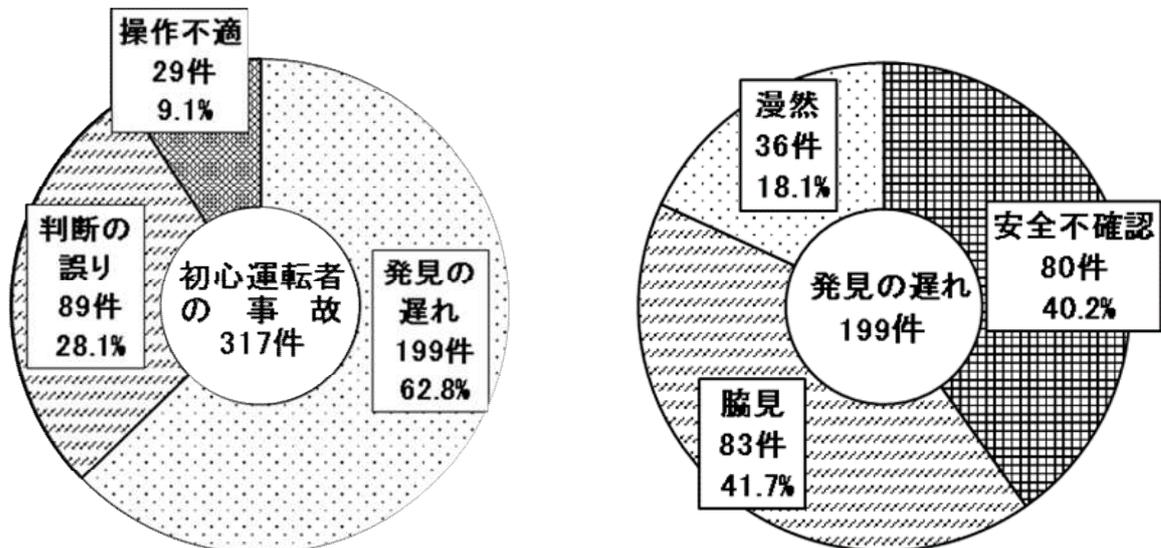
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合	
		件数	割合 (%)
大型・中型乗用車	1	3.7	3.7
普通乗用車	130	3.7	3.7
軽乗用車	155	7.8	7.8
普通貨物車	8	2.1	2.1
軽貨物車	14	2.6	2.6
大型・中型貨物車	2	0.7	0.7
特殊車	0	0.0	0.0
小型二輪車	4	26.7	26.7
軽二輪車	2	28.6	28.6
二種原付	0	0.0	0.0
原付	1	4.8	4.8

(3) 人的原因

発見の遅れが 199 件で最も多く、初心運転者事故の 62.8 パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、脇見が 83 件と最多で、安全不確認が 80 件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が 85 件で初心運転者事故の 26.8 パーセントを占め最も多く、次いで動静不注意の 68 件となっている。

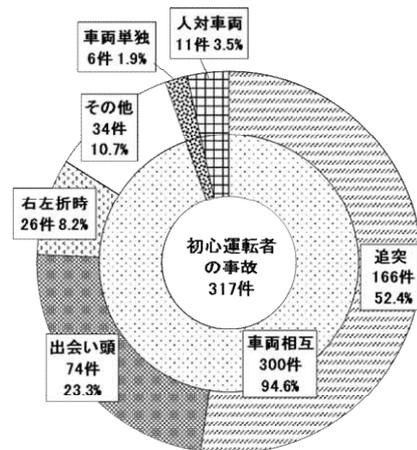
悪質違反は 59 件で同事故の 18.6 パーセントを占め、うち一時不停止が 23 件で最も多く、次いで通区・追越の 16 件となっている。両違反を合わせると 39 件となり、悪質違反の 66.1 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		13	4.1	安全運転義務違反	徐行違反		1	0.3
	最高速度			0.0		過労運転		2	0.6
	通区・追越		16	5.0		ハンドル操作		3	0.9
	歩行者妨害等		6	1.9		ブレーキ操作		22	6.9
	一時不停止		23	7.3		前方不注意		85	26.8
	酒酔い運転		1	0.3		動静不注意		68	21.5
計			59	18.6		安全不確認		21	6.6
横断禁止等				0.0		安全速度		4	1.3
車間距離不保持			1	0.3		予測不適		1	0.3
進路変更禁止			1	0.3		その他		3	0.9
右・左折違反				0.0		計		207	65.3
優先通行妨害等			29	9.1		その他		1	0.3
交差点安全進行			16	5.0		合計		317	100.0

(5) 事故類型別

車両相互の事故が 300 件で初心運転者事故の 94.6 パーセントを占めている。その中でも追突が 166 件と多く、次いで出会い頭が 74 件と続いており両事故で 75.7 パーセントを占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く 183 件で初心運転者事故の 57.7 パーセントを占め、年齢別では、25 歳未満の事故が 276 件 (87.1%) となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転		2	0.6	年齢別	青年	16 ~ 19 歳	215	67.8
	業務目的		20	6.3			20 ~ 24 歳	61	19.2
通勤等	出勤		51	16.1		計		276	87.1
	通勤		48	15.1		25 ~ 29 歳	3	0.9	
私用	通学		12	3.8		30 歳代	19	6.0	
	観光・娯楽		21	6.6		40 歳代	8	2.5	
	ドライブ		25	7.9		50 歳代	7	2.2	
	散歩			0.0		60 ~ 64 歳	3	0.9	
	飲食		7	2.2		計	40	12.6	
	買物		65	20.5		高齢者	65 ~ 69 歳	1	0.3
	訪問		12	3.8	70 歳代			0.0	
帰省		2	0.6	80 歳以上			0.0		
その他			51	16.1	計	1	0.3		
調査不能			1	0.3	合計		317	100.0	
合計			317	100	(内数) 高校生		6	1.9	

10 飲酒運転の事故

(1) 概況

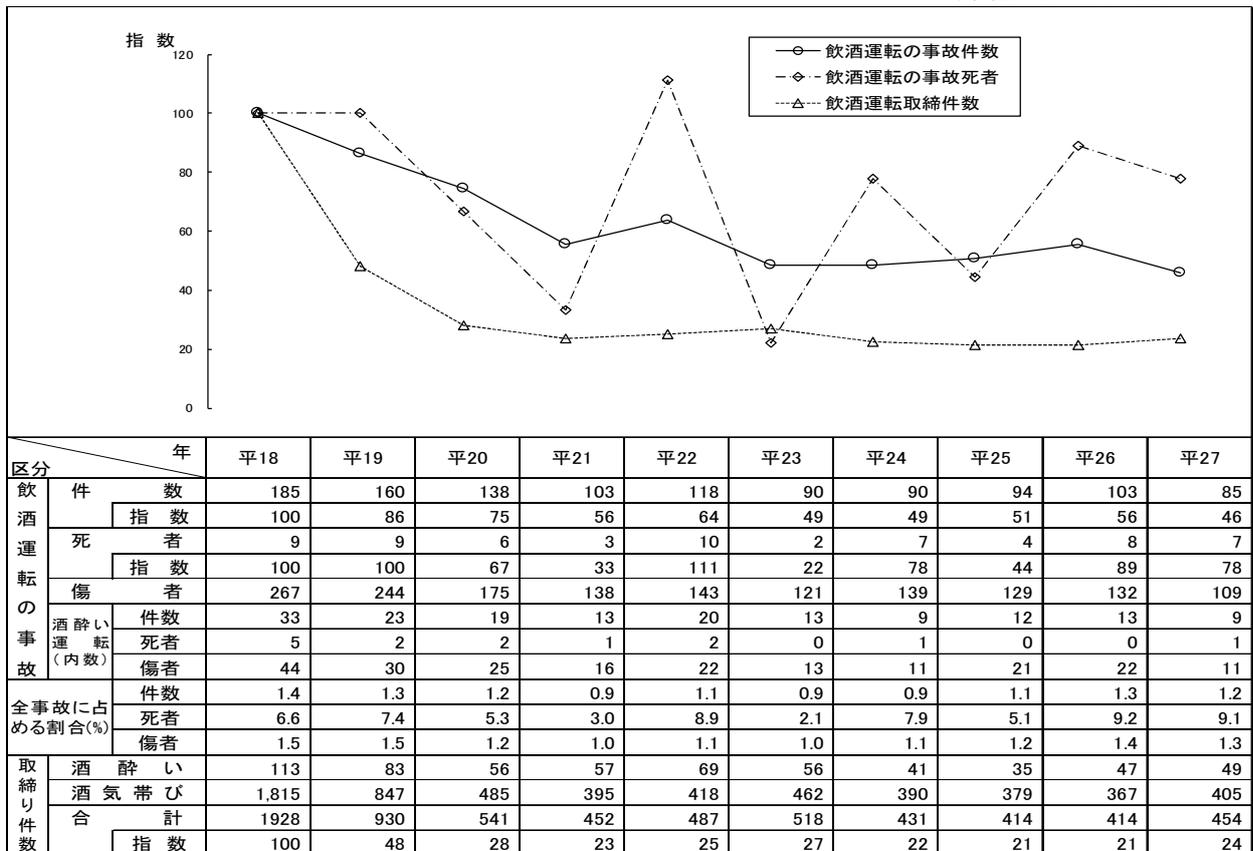
第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数 85件（前年比 -18件 17.5%減） うち酒酔い 9件 前年比-4件
 死者数 7人（前年比 -1人 12.5%減） うち酒酔い 1人 前年比+1人
 傷者数 109人（前年比 -23人 17.4%減） うち酒酔い 11人 前年比-11人

で、発生件数、死者数、傷者数全てで減少した。

酒酔い運転については死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件・人・%）



区分	年	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27
飲酒運転の事故	件数	185	160	138	103	118	90	90	94	103	85
	指数	100	86	75	56	64	49	49	51	56	46
	死者	9	9	6	3	10	2	7	4	8	7
酒酔い運転(内数)	件数	33	23	19	13	20	13	9	12	13	9
	死者	5	2	2	1	2	0	1	0	0	1
	傷者	44	30	25	16	22	13	11	21	22	11
全事故に占める割合(%)	件数	1.4	1.3	1.2	0.9	1.1	0.9	0.9	1.1	1.3	1.2
	死者	6.6	7.4	5.3	3.0	8.9	2.1	7.9	5.1	9.2	9.1
	傷者	1.5	1.5	1.2	1.0	1.1	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3
取締り件数	酒酔い	113	83	56	57	69	56	41	35	47	49
	酒気帯び	1,815	847	485	395	418	462	390	379	367	405
	合計	1928	930	541	452	487	518	431	414	414	454
	指数	100	48	28	23	25	27	22	21	21	24

(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは12月の12件、次いで1月と4月の9件となっている。

うち、酒酔い運転は7月の3件が最も多い。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	① 9	① 5	8	9	7	① 4	③ 8	① 5	5	7	① 6	① 12	⑨ 85
	全事故に占める割合	1.5	0.9	1.3	1.5	1.2	0.7	1.5	1.0	1.0	1.1	1.0	1.9	1.2
死者	死者	1					1	① 3	1				1	① 7
傷者	傷者	① 11	② 8	13	11	12	② 4	② 6	② 6	8	9	① 7	① 14	⑪ 109

（注）○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

(3) 曜日・時間別

日曜日が23件と最も多く、次いで水曜日と木曜日の各13件の順となっている。

時間別では、20～22時の13件が最も多く、次いで、6～8時の間が11件の順となっている。

(単位：件・人)

曜日 時間	曜日							合計	
	日	月	火	水	木	金	土	件数	構成率(%)
0～2	2	1	1	1	1	1	1	8	11.1
2～4	2	1	1	1		1	1	7	13.0
4～6	3	1					1	5	4.7
6～8	① 1		2	4	① 3	1		② 11	1.3
8～10		2			1	1	1	5	0.5
10～12	① 3		1	1	1			① 6	0.8
12～14	2						1	3	0.4
14～16	2			2				4	0.5
16～18	2	2	1		① 2	① 2		② 9	0.8
18～20	① 3			3	① 2		1	② 9	1.0
20～22	① 3	1	2	1	① 2	① 5	2	② 13	3.9
22～24	2				2		1	5	3.2
合計	③ 23	8	8	13	④ 13	② 11	9	⑤ 85	1.2
構成率(%)	2.9	0.8	0.8	1.3	1.3	0.9	0.9	1.2	

(4) 発生地別

市部で74件発生し、飲酒運転の87.1パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は45件で、市部の60.8パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	6	4	1		① 13	2	1		6	1	② 32	5	3	⑥ 11	⑨ 85
死者	1	1							1		1	2		① 1	① 7
傷者	8	4	1		① 15	3	2		9	1	② 40	4	4	⑧ 18	⑪ 109

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、国道及び市町村道が29件で、それぞれ飲酒運転の34.1パーセントを占めている。死者は市町村道が5人、国道と県道が各2人となっている。

(単位：件・人)

道路 区分	国道					計	県道			計	市町村道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要 地方道	一般 県道	計				
件数	4	11	1	① 6	① 7	② 29	② 9	13	② 22	⑤ 29	5	⑨ 85	
死者					1	1	① 2	1	① 3	2	1	① 7	
傷者	5	16	1	② 9	② 11	④ 42	① 8	17	① 25	⑥ 36	6	⑪ 109	

(6) 事故類型別

追突が最も多く、38件(44.7%)となっており、次いで出合い頭の12件、正面衝突の10件の順となっている。

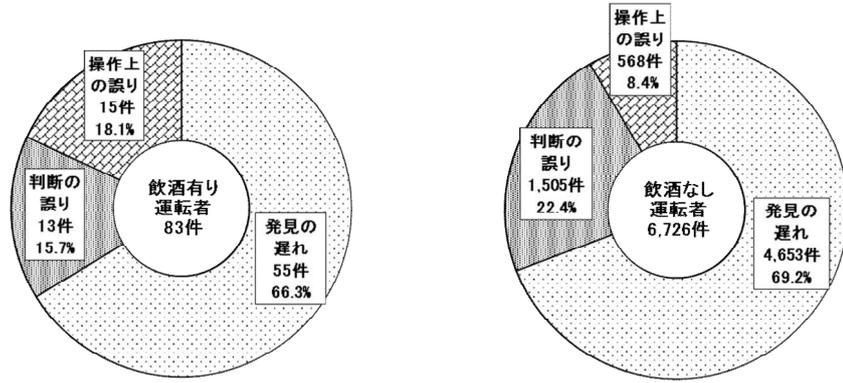
全事故に占める割合をみると、路外逸脱が15.4パーセントと最も高い割合を占めている。

(単位：件・人・%)

事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
	横断中		0.0			0.0
	その他	4	4.7		6	2.2
	計	4	4.7	0	6	0.6
車両相互	正面衝突	① 10	11.8		② 15	4.3
	追突	⑤ 38	44.7	① 1	⑤ 53	1.3
	出合い頭	① 12	14.1		① 15	0.7
	転回時		0.0			0.0
	右・左折時	① 4	4.7		① 4	0.7
	その他	6	7.1		7	1.2
	計	⑧ 70	82.4	① 1	⑨ 94	1.2
車両単独	工作物衝突	① 9	10.6	5	② 6	9.8
	路外逸脱	2	2.4	1	3	15.4
	駐車車両衝突		0.0			0.0
	転倒		0.0			0.0
	その他		0.0			0.0
	計	① 11	12.9	6	② 9	7.7
列車			0.0			0.0
合計		⑨ 85	100.0	① 7	⑪ 109	1.2

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「操作上の誤り」で9.7ポイント高くなっている。



自転車、当事者不明を除く

* 第1当事者が歩行者、自転車、不明、調査不能を除く

(8) 酒酔い運転、酒気帯び運転の運転動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が25件、次いで「深夜なので大丈夫と思った」が16件と多く、両項目で飲酒運転事故の48.2パーセントを占めている。(単位：件・人・%)

区分	動機	飲酒運転のうち											
		他に乗り物がなかった	翌日の出勤	少ししかない	飲み過ぎた	酔いしれた	車を置いていく	のりが不安	運転代行がなかった	深夜なので大丈夫と思った	大丈夫と量が多かった	その他不明	合計
件数		25	4	10	7	2	4	16	2	15	85	9	65
構成率(%)		29.4	4.7	11.8	8.2	2.4	4.7	18.8	2.4	17.6	100.0	10.6	76.5
死者		4		1						2	7	1	6
傷者		32	4	15	9	4	4	24	3	14	109	11	81

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く45件で43.5パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が34件で40.0パーセントを占めている。(単位：件・人・%)

飲酒理由	飲酒場所	忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等閑祭	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
自宅											2	27	3	5	34	40.0	
知人・友人宅											4	1			5	5.9	
取引・勤務先												1			1	1.2	
料理店・キャバレー・バー・スナック				2				2			21	1			26	30.6	
その他の料理店				3				3			28	1			35	10.6	
旅館・ホテル等の宿泊施設					1	1									2	2.4	
ドライブイン・酒類販売店等					1	2					1	1			2	2.4	
自動販売機付近											2	2			4	0.0	
その他(不明)											1	2	3		6	7.1	
合計		0	2	1	1	3	0	33	37	8	44	46	9	109	100.0		

件数の構成率	0.0	2.4	1.2	1.2	3.5	0.0	38.8	43.5	9.4	100.0
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-------

11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

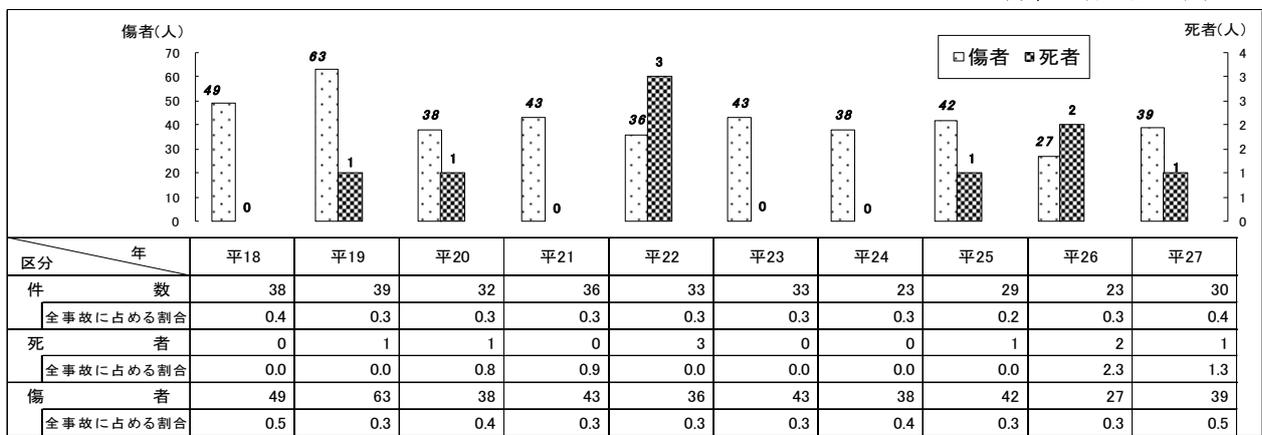
発生件数 30件（前年比 +7件 30.4%増）

死者数 1人（前年比 -1人 50.0%減）

傷者数 39人（前年比 +12人 44.4%増）

で、発生件数、傷者数は増加したが、死者数は減少した。

（単位：件・人・%）



(2) 月別

無免許運転が最も多いのは、12月の7件、次いで10月及び11月の各4件の順で、死者は3月の1人となっている。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数			2	2	2	1	3	1	2	2	4	4	7	30
死者				1										1
傷者			3	1	2	1	4	1	3	5	5	5	9	39

(3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、福島市、郡山市、いわき市の3市を合わせると19件で、無免許運転事故の63.3パーセントを占めている。

（単位：件・人）

発生地	福	伊	二	郡	本	須	白	田	会	喜	い	南	相	各	合
区分	島	達	本	山	宮	賀	河	村	津	多	わ	相	馬	町	計
	市	市	市	市	市	川	市	市	若	方	き	馬	市	村	
件数	6	1	1	5		1	1				8		1	6	30
死者											1				1
傷者	6	1	2	6		2	4				8		1	9	39

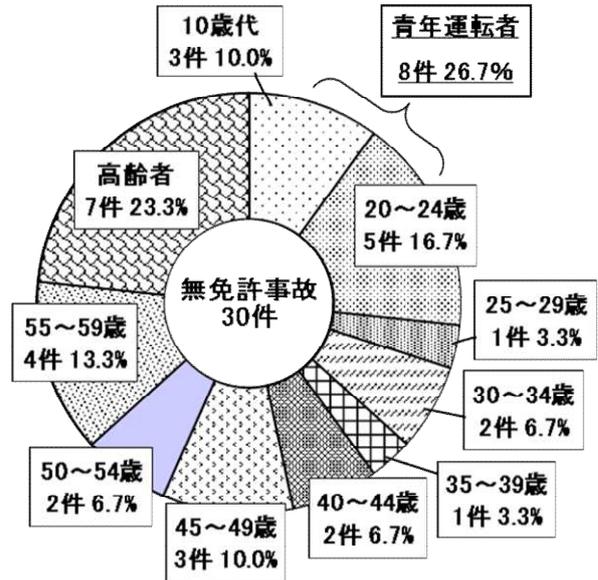
(4) 年齢別

高齢者が7件で23.3パーセントを占め、次いで20～24歳が5件と続いている。

青年運転者は、8件(26.7%)であった。

(単位：件)

年齢	区分		件数	区分		件数
	年齢	件数		年齢	件数	
10歳代	16歳未満			35～39歳	1	
	16歳	1		40～44歳	2	
	17歳		1	45～49歳	3	
	18歳	1		50～54歳	2	
	19歳		1	55～59歳	4	
	計		3	60～64歳		
20～24歳		5	高齢者	7		
25～29歳		1	合計	30		
30～34歳		2				

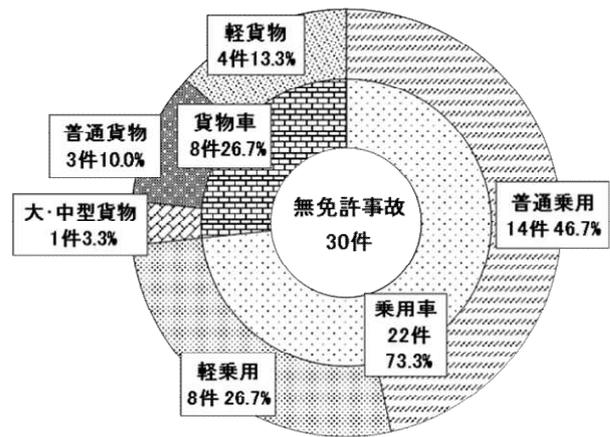


(5) 車種別

車種別では、普通乗用車の事故が14件、次いで軽乗用車の事故が8件の順となっており、両車種による事故の合計は22件となり、全体の73.3パーセントを占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		件数	構成率 (%)	件数	無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	27	0.4
	普通	14	46.7	3,541	52.0
	軽(ミニカーを含む)	8	26.7	2,000	29.4
	計	22	73.3	5,568	81.8
貨物車	大型・中型	1	3.3	273	4.0
	普通	3	10.0	383	5.6
	軽	4	13.3	534	7.8
	計	8	26.7	1,190	17.5
特殊車(大型・小型)			0.0	4	0.1
二輪車	小型二輪		0.0	15	0.2
	軽二輪		0.0	7	0.1
	二種原付		0.0	4	0.1
	原付		0.0	21	0.3
	計	0	0.0	47	0.7
合計		30	100.0	6,809	100.0



* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など85件を除く

(6) 職業別

建設業が13件(43.3%)と多く、次いで無職が9件となっている。

(単位: 件・%)

職業 区分	職業 運輸 手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数	1		13				4			9	3	30
構成率(%)	3.3	0.0	43.3	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	30.0	10.0	100

(7) 違反別・原因別

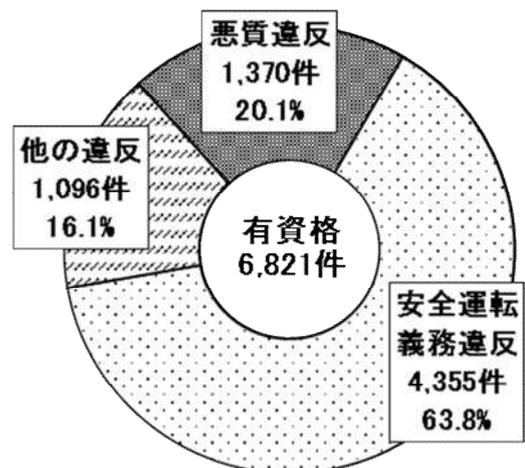
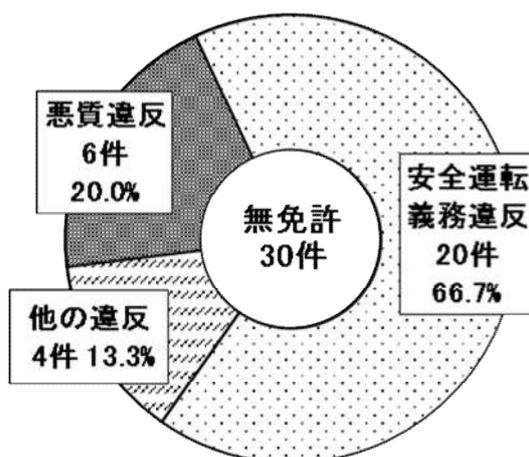
前方不注意が最も多く14件(46.7%)である。

悪質違反は6件(20.0%)であり、一時不停止が4件となっている。

有資格者と無免許における悪質違反による事故の構成率は、それぞれ20.1%、20.0%とほぼ同じ割合である。

(単位: 件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
			構成率(%)				構成率(%)
悪 質 違 反	信号無視		0.0	安全 運 転 義 務 違 反	過労運転		0.0
	最高速度	1	3.3		ハンドル・ブレーキ操作	1	3.3
	通区・追越	1	3.3		前方不注意	14	46.7
	歩行者妨害等		0.0		動静不注意	3	10.0
	一時不停止	4	13.3		安全不確認	2	6.7
	酒酔い運転		0.0		安全速度		0.0
計		6	20.0	その他		0.0	
車間距離不保持			0.0	計		20	66.7
優先通行妨害等	2	6.7	そ の 他				0.0
交差点安全進行	2	6.7	合 計			30	100.0
左折違反		0.0	飲 酒 運 転 (内 数)			3	10.0



(8) 人的原因別

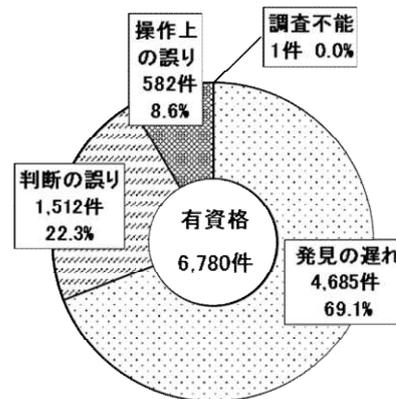
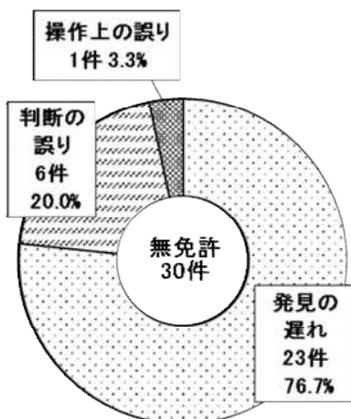
発見の遅れが 23 件で、無免許運転事故の 76.7 パーセントを占め最も多い。

なかでも前方不注意が 15 件と多く、発見の遅れ全体の 65.2 パーセントを占めている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	30	予測不適	計 2
発見の遅れ	計 23	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	2
前方不注意	計 15	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	計 7	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転	1	他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	計 0
その他、考え事等の漫然運転	6	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(脇見等)	計 8	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	1	交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見	1	交通安全施設に対する認識を誤った	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)	計 1
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見	3	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	1
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	3	ハンドルの操作不適	
安全不確認	計 8	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	3	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	5	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等	計 6	その他の操作不適	
動静不注意	計 4	調査不能	計 0
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	4		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が 7.6 ポイント高くなっている。



* 有資格者でかつ人的原因の事故

12 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 47件（前年比 -9件 16.1%減）

死者数 10人（前年比 +4人 66.7%増）

傷者数 41人（前年比 -18人 30.5%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

車種別にみると、発生件数、傷者数とも原付が多く、二輪車事故総発生件数の44.7パーセントを占めている。

（単位：件・人・％）

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	15	31.9	6	60.0	11	26.8	4	4	-2	36.4	200.0	-15.4
軽二輪	7	14.9	1	10.0	8	19.5	3	1	4	75.0	-	100.0
二種原付	4	8.5	1	10.0	3	7.3	-2	-1	-1	-33.3	-50.0	-25.0
原付	21	44.7	2	20.0	19	46.3	-14	0	-19	-40.0	0.0	-50.0
合計	47	100.0	10	100.0	41	100.0	-9	4	-18	-16.1	66.7	-30.5

死亡事故率をみると小型二輪が高くなっている。

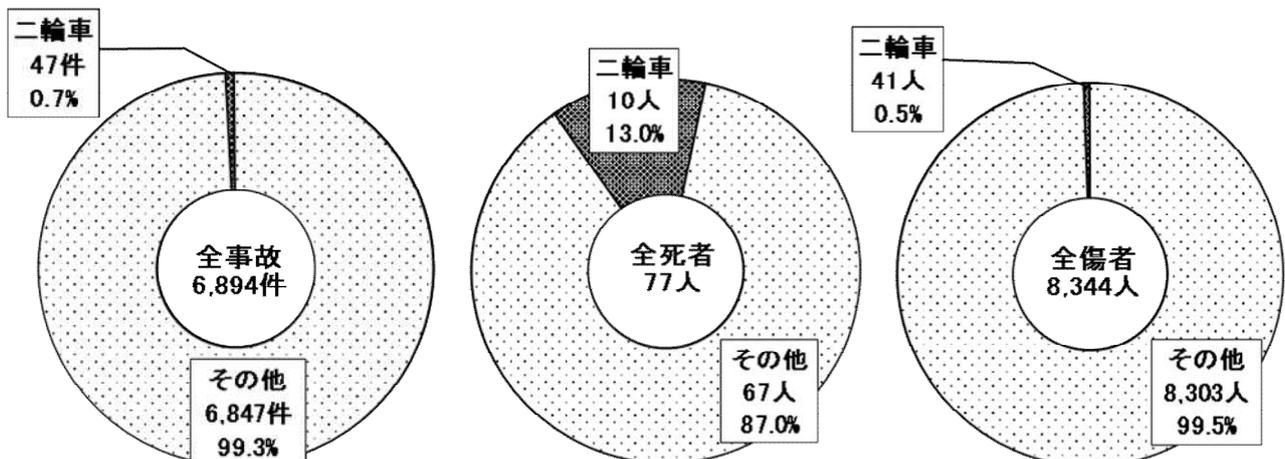
（単位：件・％）

区分 車種	普通乗用車							二輪車					合計
	普通乗用	軽乗用	大貨等	普通貨	軽貨	四輪その他	小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計		
車種別事故件数	3,541	2,000	273	383	534	31	15	7	4	21	47	6,809	
死亡事故件数	27	16	9	2	6	1	6	1	1	2	10	71	
死亡事故率	0.8	0.8	3.3	0.5	1.1	3.2	40.0	14.3	25.0	9.5	21.3	1.0	

（第一当自車が歩行者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.7パーセントであるのに対し、死者の構成率は13.0パーセントと高くなっている。

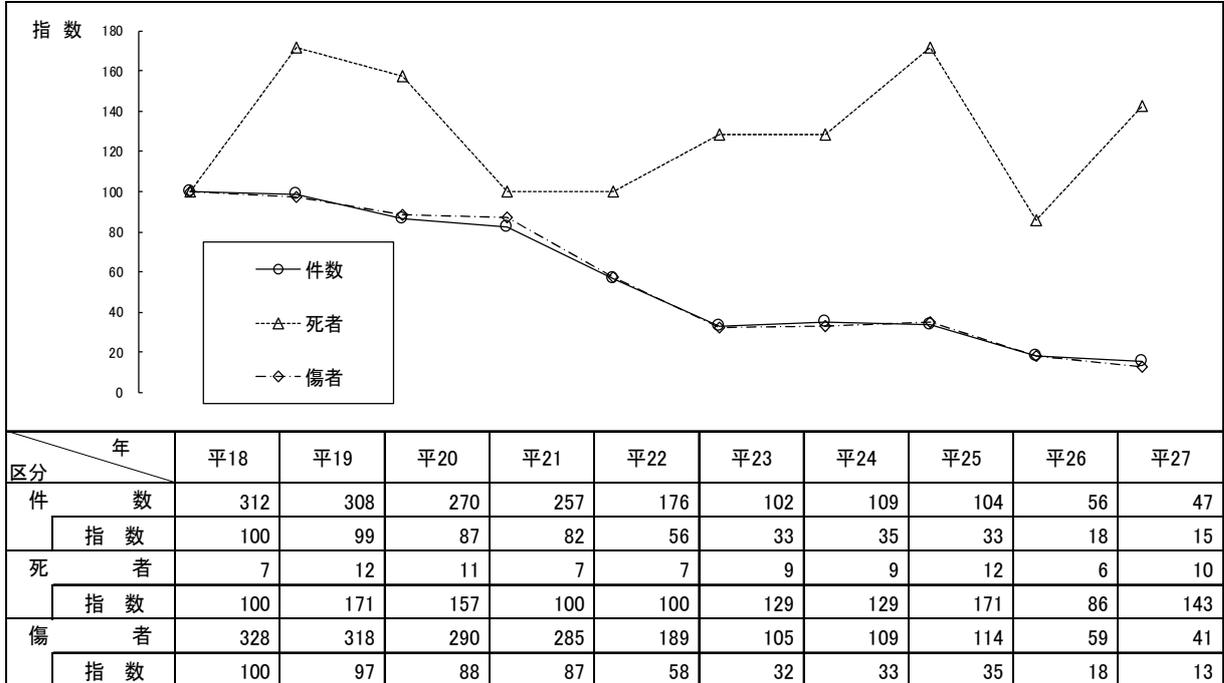


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は増減があり平成27年は増加したが、発生件数、傷者数は減少傾向である。

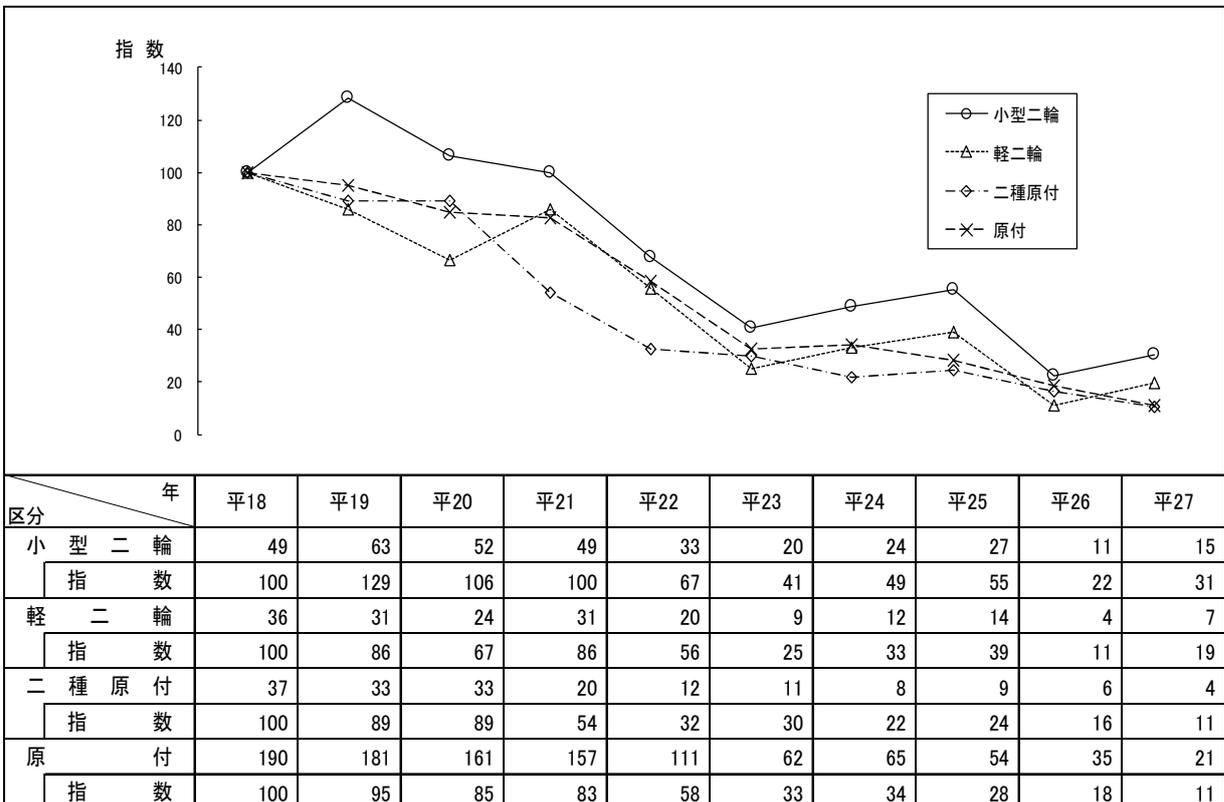
(単位：件・人)



(イ) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向ではあるが、平成27年は小型二輪、軽二輪で増加した。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、高齢運転者が 12 件 (25.5%)、30 歳代が 11 件 (23.4%) と多い。

また、年代別事故発生件数に対する二輪事故の占める割合をみると、高校生が 25.0 パーセントと高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢					計	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20~24歳	その他								
全運転者の事故		8	279	812	1099	624	1,120	948	1,090	549	1,379	6,809	
構成率(%)	0.0	0.1	4.1	11.9	16.1	9.2	16.4	13.9	16.0	8.1	20.3	100.0	
二輪車事故		2	3	2	7	1	11	3	10	3	12	47	
構成率(%)	0.0	4.3	6.4	4.3	14.9	2.1	23.4	6.4	21.3	6.4	25.5	100.0	
全運転者事故に占める割合	0.0	25.0	1.1	0.2	0.6	0.2	1.0	0.3	0.9	0.5	0.9	0.7	

* 自転車・歩行者・当事者不明を除く

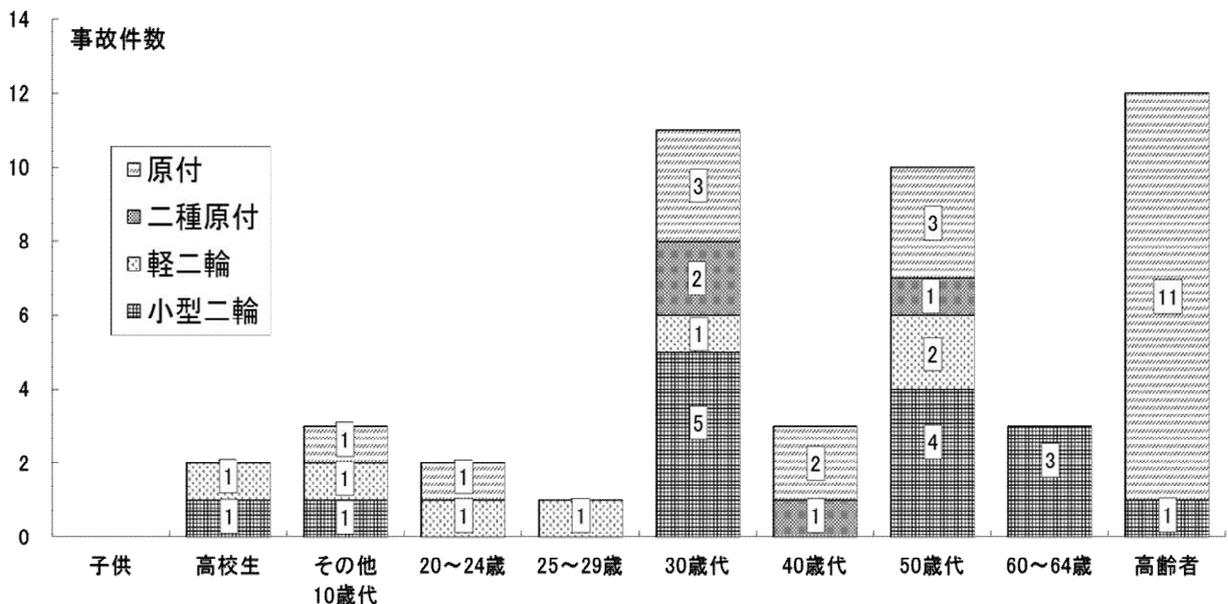
エ 年齢別・車種別

高齢運転者による車種別構成率では、原付が 52.4 パーセントを占め、30 歳代による車種別構成率では、小型二輪が 33.3 パーセントを占めている。

子供による二輪車事故の発生はない。

(単位：件・%)

区分	年齢					計	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20~24歳	その他								
小型二輪		1	1		2		5		4	3	1	15	
構成率(%)	0.0	14.3	6.7	0.0	13.3	0.0	33.3	0.0	26.7	20.0	6.7	100	
軽二輪		1	1	1	3	1	1		2			7	
構成率(%)	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	100	
二種原付					0		2	1	1			4	
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	57	
原付			1	1	2		3	2	3		11	21	
構成率(%)	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0	14.3	9.5	14.3	0.0	52.4	100	



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は66.0パーセントを占め、次いで1年未満(14.9%)が続いている。

(単位：件・%)

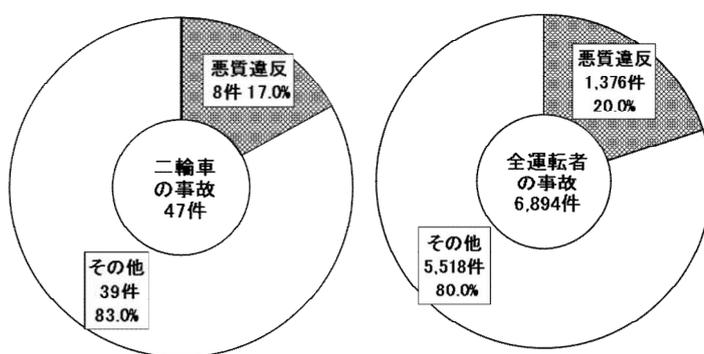
経験年数	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
1年未満		4	26.7	2	28.6		0.0	1	4.8	7	14.9
1～2年		1	6.7		0.0		0.0	1	4.8	2	4.3
2～3年		2	13.3		0.0		0.0		0.0	2	4.3
3～4年			0.0		0.0		0.0	1	4.8	1	2.1
4～5年			0.0	1	14.3		0.0		0.0	1	2.1
10年未満		1	6.7		0.0		0.0	2	9.5	3	6.4
10年以上		7	46.7	4	57.1	4	100.0	16	76.2	31	66.0
無免許			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		15	100.0	7	100.0	4	100.0	21	100.0	47	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、17.0パーセントをとなっており、全運転者の事故と比較して3.0ポイント低くなっている。

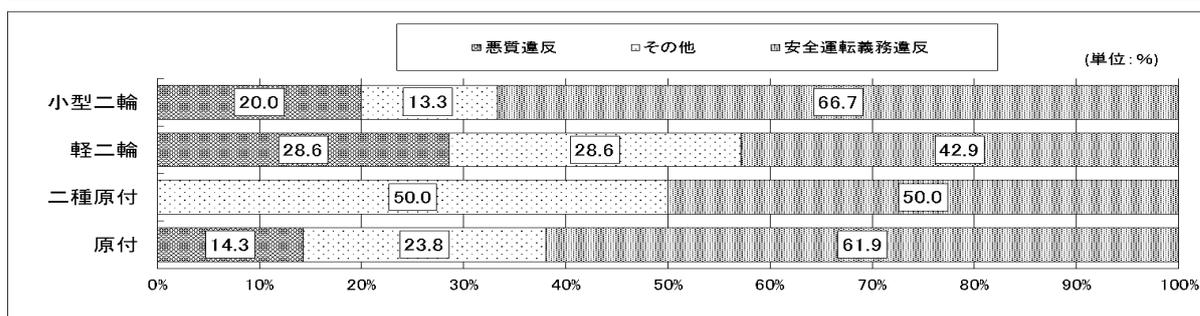
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、軽二輪で28.6パーセントとなっている。

二輪車の車種別違反割合では、いずれも安全運転義務違反が高くなっている。



(単位：件・%)

違反	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
悪質違反	信号無視	1	6.7	1	14.3		0.0		0.0	2	4.3
	最高速度超過	1	6.7		0.0		0.0		0.0	1	2.1
	通区・追越	1	6.7		0.0		0.0	1	4.8	2	4.3
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0	2	9.5	2	4.3
	一時不停止		0.0	1	14.3		0.0		0.0	1	2.1
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計		3	20.0	2	28.6	0	0.0	3	14.3	8	17.0
横断禁止等			0.0		0.0	1	25.0		0.0	1	2.1
右・左折違反			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等		1	6.7		0.0		0.0	1	4.8	2	4.3
交差点安全進行		1	6.7		0.0		0.0	4	19.0	5	10.6
徐行違反			0.0	1	14.3	1	25.0		0.0	2	4.3
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	2	13.3		0.0	1	25.0	2	9.5	5	10.6
	前方不注意		0.0	1	14.3	1	25.0	3	14.3	5	10.6
	動静不注意	3	20.0	1	14.3		0.0	2	9.5	6	12.8
	安全不確認	1	6.7	1	14.3		0.0	5	23.8	7	14.9
	安全速度	4	26.7		0.0		0.0		0.0	4	8.5
その他		0.0		0.0		0.0	1	4.8	1	2.1	
計		10	66.7	3	42.9	2	50.0	13	61.9	28	59.6
その他			0.0	1	14.3		0.0		0.0	1	2.1
合計		15	100.0	7	100.0	4	100.0	21	100.0	47	100.0



キ 車種別・事故類型別

(単位：件・%)

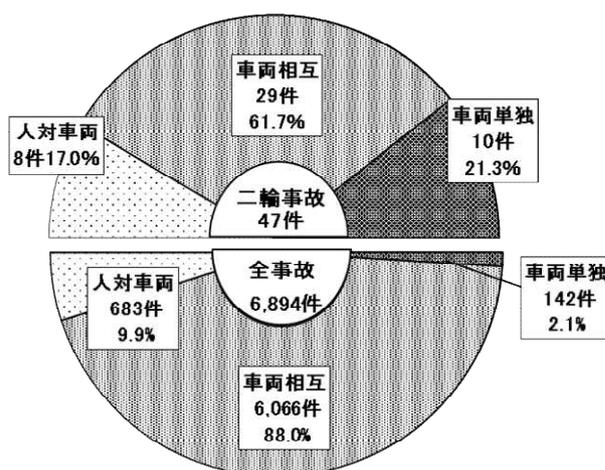
類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)										
人対車両	横断中	417	6.0	6	12.8		0.0		0.0		0.0	6	28.6
	対面・背面	87	1.3	1	2.1		0.0		0.0	1	25.0		0.0
	その他	179	2.6	1	2.1		0.0		0.0		0.0	1	4.8
	計	683	9.9	8	17.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	7	33.3
車両相互	正面衝突	230	3.3	1	2.1	1	6.7		0.0		0.0		0.0
	追突	304	4.4	5	10.6	3	20.0	1	14.3		0.0	1	4.8
	進行中駐・停止中	2,646	38.4	3	6.4	1	6.7	1	14.3		0.0	1	4.8
	出会い頭	1,756	25.5	15	31.9	2	13.3	3	42.9	1	25.0	9	42.9
	追越・追抜	52	0.8	2	4.3	1	6.7	1	14.3		0.0		0.0
	右折時	430	6.2	1	2.1	1	6.7		0.0		0.0		0.0
	左折時	161	2.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	487	7.1	2	4.3		0.0	1	14.3	1	25.0		0.0
計	6,066	88.0	29	61.7	9	60.0	7	100.0	2	50.0	11	52.4	
車両単独	工作物衝突	92	1.3	4	8.5	3	20.0		0.0		0.0	1	4.8
	路外逸脱	13	0.2	3	6.4	1	6.7		0.0		0.0	2	9.5
	転倒	4	0.1	3	6.4	2	13.3		0.0	1	25.0		0.0
	駐車車両衝突	21	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	12	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
計	142	2.1	10	21.3	6	40.0	0	0.0	1	25.0	3	14.3	
踏切	3	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
合計	6,894	100.0	47	100.0	15	100.0	7	100.0	4	100.0	21	100.0	

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別

構成率の対比では、

- ・ 人対車両・・・7.1ポイント高い
- ・ 車両相互・・・26.3ポイント低い
- ・ 車両単独・・・19.2ポイント高い

特に車両単独では、工作物衝突、路外逸脱、転倒が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の74.5パーセント(35件)が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が22件と最も多く46.8パーセントを占める。

夜間の発生については県道での発生が5件(夜間の41.7%)と多くなっている。

(単位：件・%)

昼夜	国 道						県 道			市 村	町 道	高速道	その他	合 計
	4号	6号	13号	49号	三桁	計	主要	一 般 道	計					
昼 間		2		1	4	7	2	4	6	19	2	1	35	
構成率(%)	0.0	5.7	0.0	2.9	11.4	20.0	5.7	11.4	17.1	54.3	5.7	2.9	100.0	
夜 間	2	1			1	4	3	2	5	3			12	
構成率(%)	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	33.3	25.0	16.7	41.7	25.0	0.0	0.0	100.0	
薄暮(内数)		1				1	1	2	3	3			7	
構成率(%)	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	42.9	42.9	0.0	0.0	100.0	
合 計	2	3	0	1	5	11	5	6	11	22	2	1	47	
構成率(%)	4.3	6.4	0.0	2.1	10.6	23.4	10.6	12.8	23.4	46.8	4.3	2.1	100.0	

ケ 道路線形別

全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが 10.9 パーセント、左カーブが 6.5 パーセントを占めている。

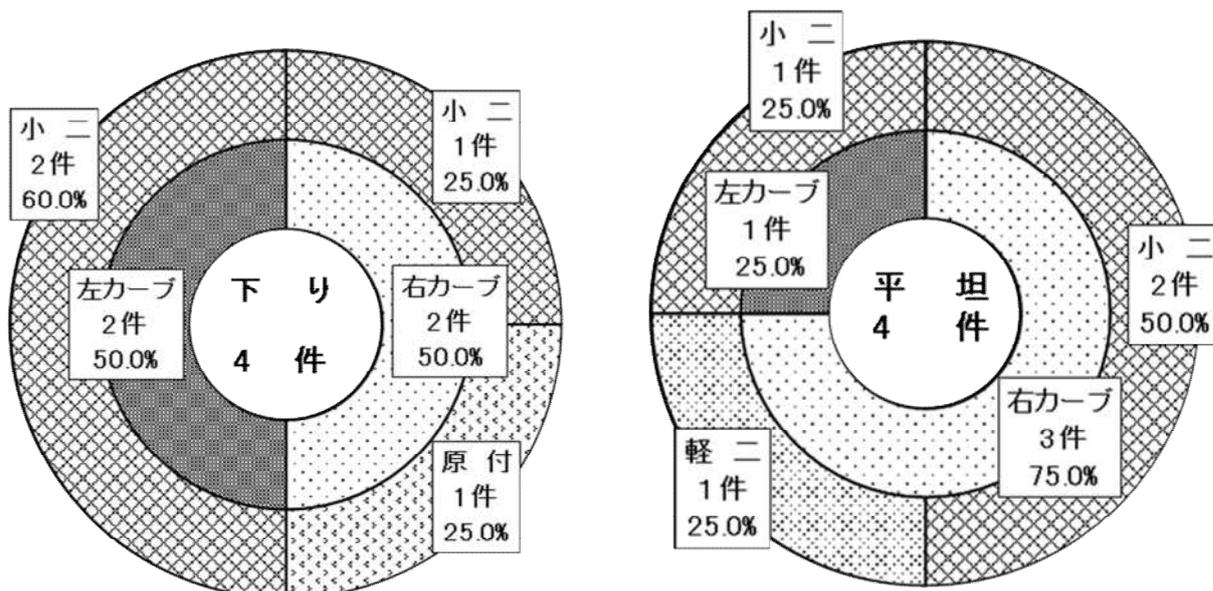
上り勾配でカーブにおける二輪車事故の発生はなかった。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
上り	右カーブ	21	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	22	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	33	0.5	2	4.3	1	6.7		0.0		0.0	1	5.0
	左カーブ	48	0.7	2	4.3	2	13.3		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	82	1.3	3	6.5	2	13.3	1	14.3		0.0		0.0
	左カーブ	109	1.7	1	2.2	1	6.7		0.0		0.0		0.0
直線	上り	170	2.6	1	2.2		0.0		0.0		0.0	1	5.0
	下り	234	3.6	1	2.2		0.0		0.0		0.0	1	5.0
	平坦	5,806	89.0	36	78.3	9	60.0	6	85.7	4	100.0	17	85.0
合計	右カーブ	136	2.1	5	10.9	3	20.0	1	14.3	0	0.0	1	5.0
	左カーブ	179	2.7	3	6.5	3	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

全事故件数	6,525	100	46	100	15	100	7	100	4	100	20	100
-------	-------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	----	-----

*その他の道路を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

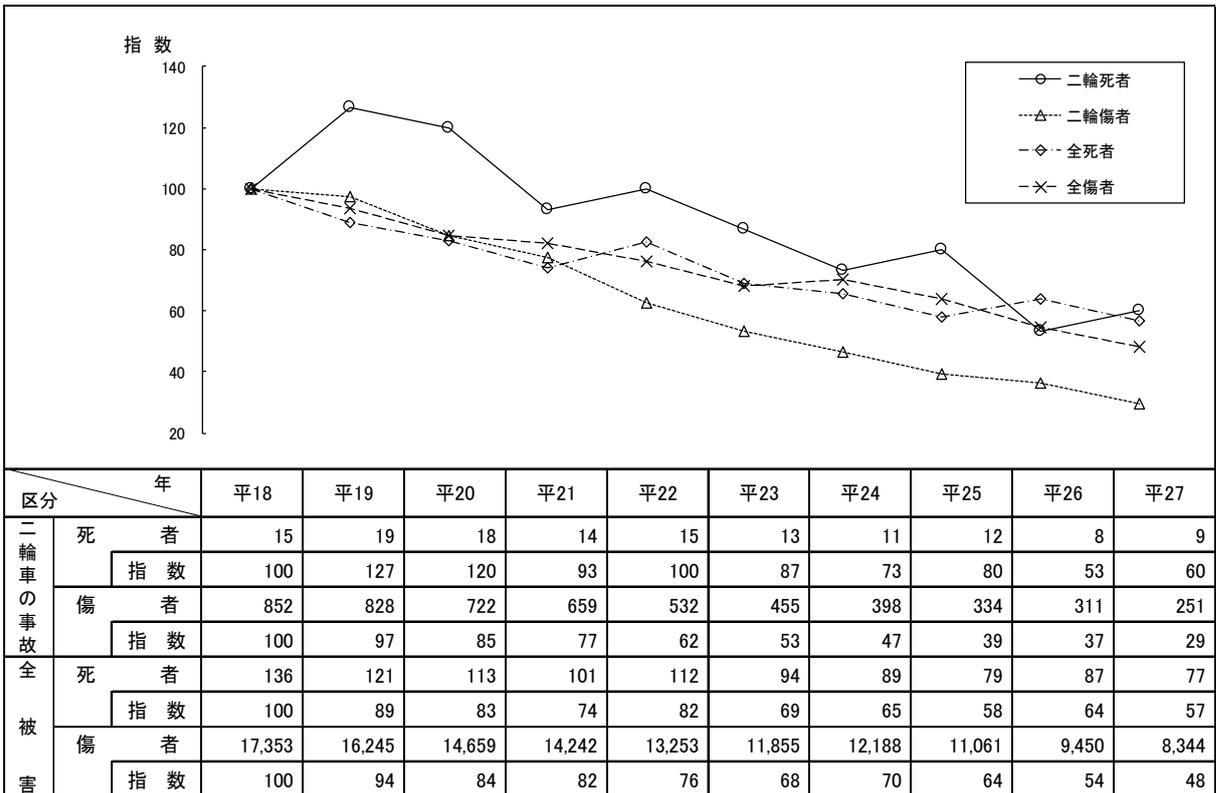
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 9人（前年比 +1人 12.5%増）

傷者数 251人（前年比 -60人 19.3%減）

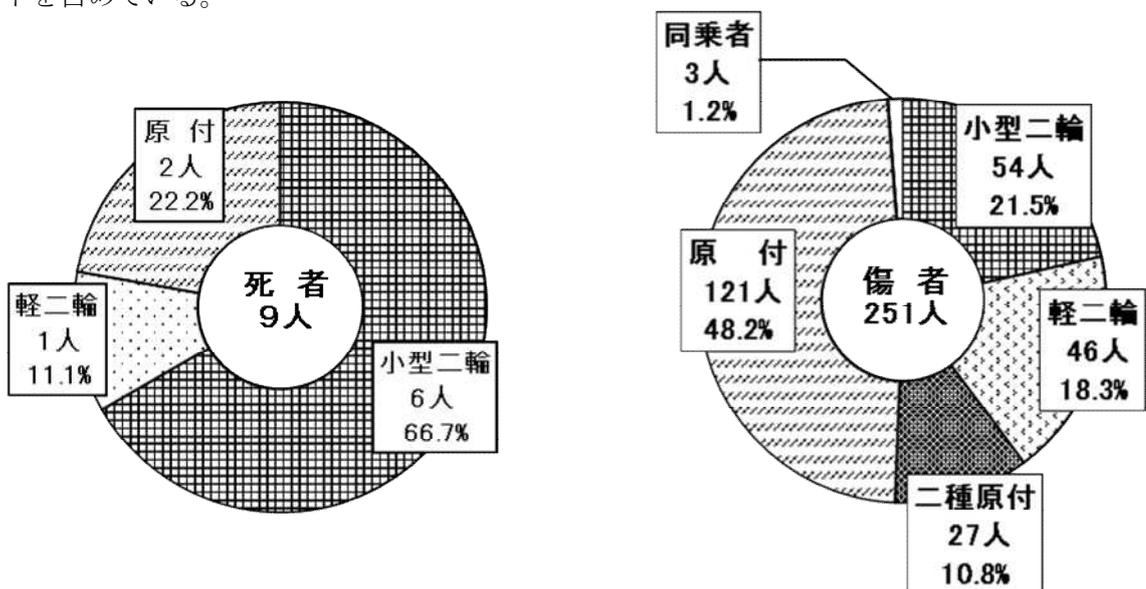
で、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が多く 66.7 パーセントを占め、傷者は原付が多く 48.2 パーセントを占めている。



ウ 年齢別

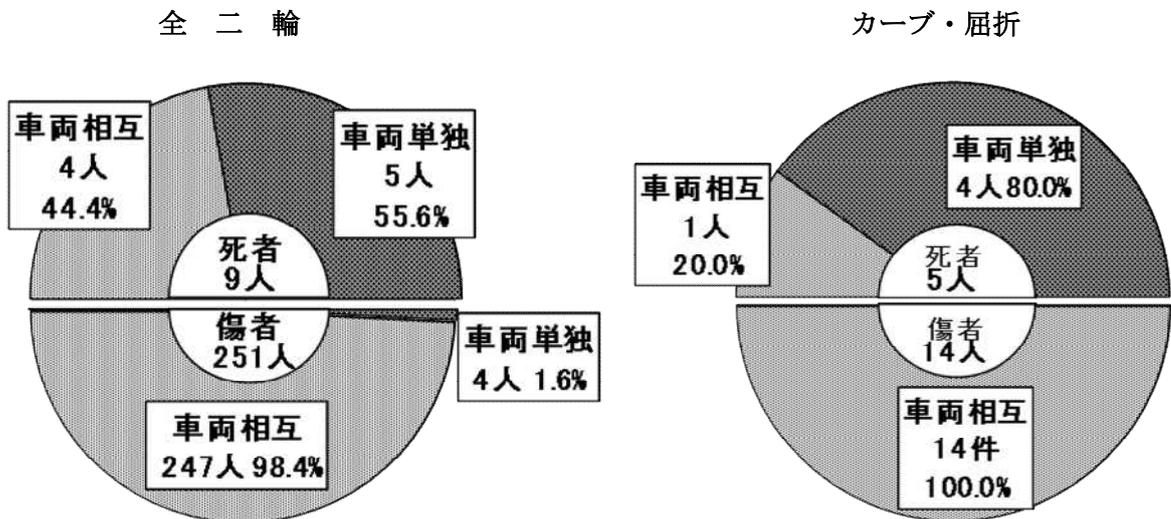
年齢別にみると、死者は30歳代が3人で33.3パーセントを占め、傷者では高齢者が53人で21.1パーセントを占めている。(単位：人・%)

年齢 車種		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		二輪車	死者	2	0	0	3	0	1	1
	構成率(%)	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	11.1	11.1	22.2	100
	傷者	24	18	19	41	34	39	23	53	251
	構成率(%)	9.6	7.2	7.6	16.3	13.5	15.5	9.2	21.1	100.0
小型二輪	死者	1			3		1	1		6
	傷者	6	5	4	15	12	8	4		54
軽二輪	死者	1								1
	傷者	7	6	5	10	6	6	6		46
二種原	死者									0
	傷者		1	2	3	8	7	2	4	27
原付	死者								2	2
	傷者	10	6	7	13	7	18	11	49	121
同乗者	死者									0
	傷者	1		1		1				3

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両単独、傷者は車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折でも、死者は車両単独、傷者は車両相互によるものが多い。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は、原付の着用率より2.8ポイント低くなっている。(単位：人・%)

区分 車種	死者			傷者			合計		
	ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)	
自動二輪	7	7	100.0	130	125	96.2	137	132	96.4
原付	2	2	100.0	121	120	99.2	123	122	99.2
合計	9	9	100.0	251	245	97.6	260	254	97.7

13 タクシーの事故

(1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 76件 (前年比 -22人 22.4%減)

死者数 1人 (前年比 +1人)

傷者数 98人 (前年比 -19人 16.2%減)

で、死者は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

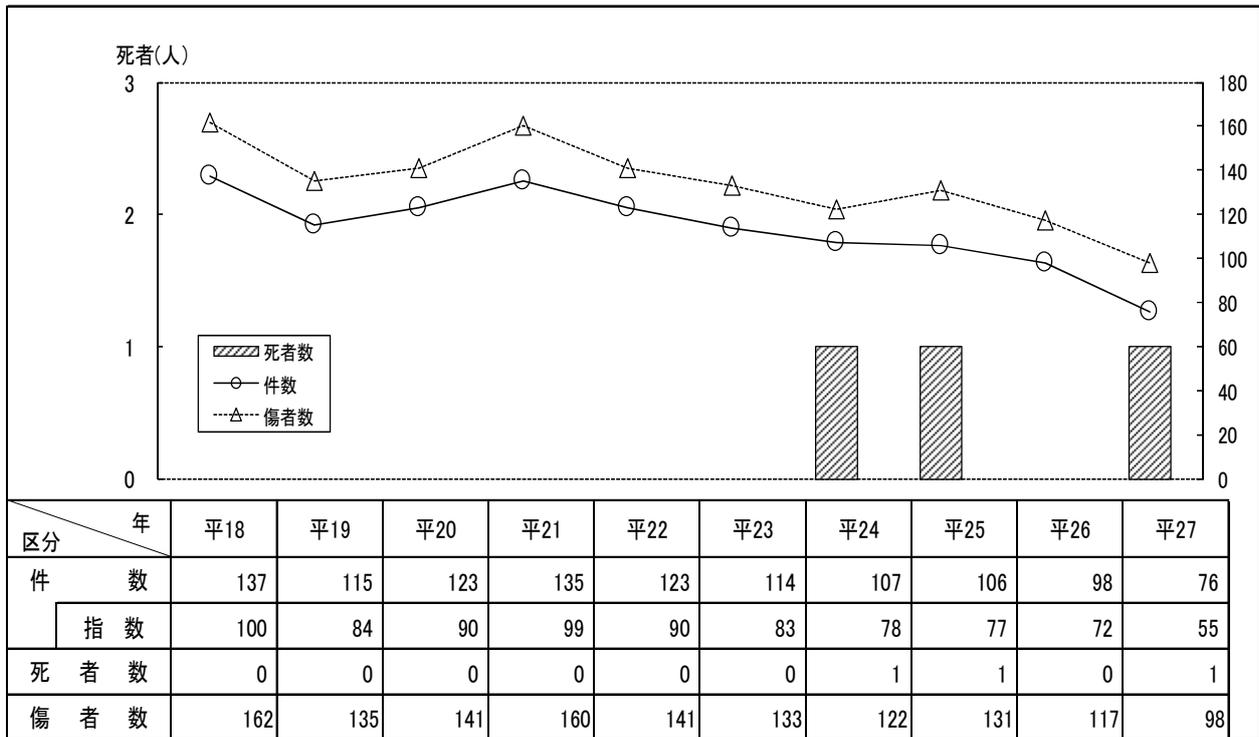
発生件数 54件 (前年比 -10人 15.6%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

傷者数 71人 (前年比 -11人 13.4%減)

で、死者数は同数で、発生件数と傷者数は減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

3月が11件と最も多く、次いで5月の10件、7月の9件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	3	5	11	4	10	5	9	7	4	6	4	8	76
死者数	死者数			1										1
傷者数	傷者数	5	6	11	6	10	5	15	14	6	6	5	9	98

(3) 年齢別

高齢者が37件で最も多く、タクシー事故の48.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

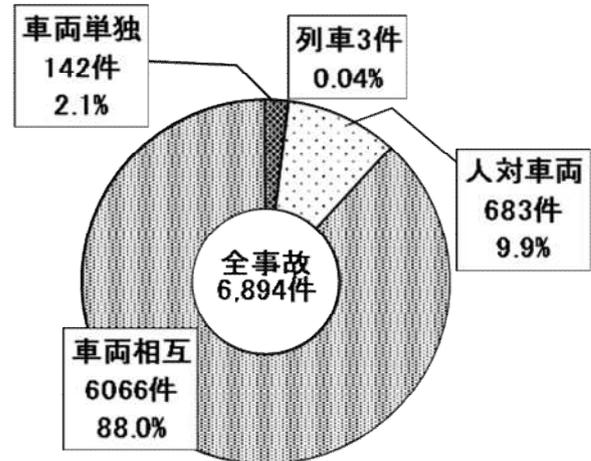
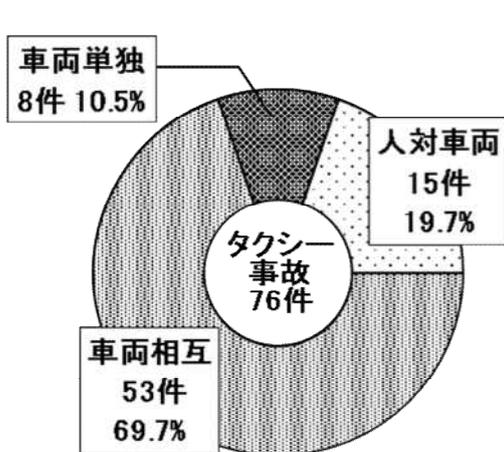
区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
	件数					5	18	16	37
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	6.6	23.7	21.1	48.7	100.0

(4) 事故類型別

車両相互の事故が53件(69.7%)と最も多く、うち出会い頭が39.5パーセントと高い。全事故と比較すると、人対車両事故や車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互							車両単独			合計		
		通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他				
														計		計	計
件数		9	6	15	1	13	30	4	3	2	53	4		4	8	76	
	構成率(%)	0.0	11.8	7.9	19.7	1.3	17.1	39.5	5.3	3.9	2.6	69.7	5.3	0.0	5.3	10.5	100



(5) 違反別

安全不確認の事故が11件と多く、14.5パーセントを占めている。

悪質違反は18件で23.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	違反	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計		
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他				
																				計	計
件数		5			4	9	18	1		7	10	2	3	10	5	11	7	36	2	76	
	構成率(%)	6.6	0.0	0.0	5.3	11.8	0.0	23.7	1.3	0.0	9.2	13.2	2.6	3.9	13.2	6.6	14.5	9.2	47.4	2.6	100

14 バスの事故

(1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 14件（前年比 +7件 100.0%増）

死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 14人（前年比 +4人 40.0%増）

で、発生件数、死者数、傷者数全てにおいて増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

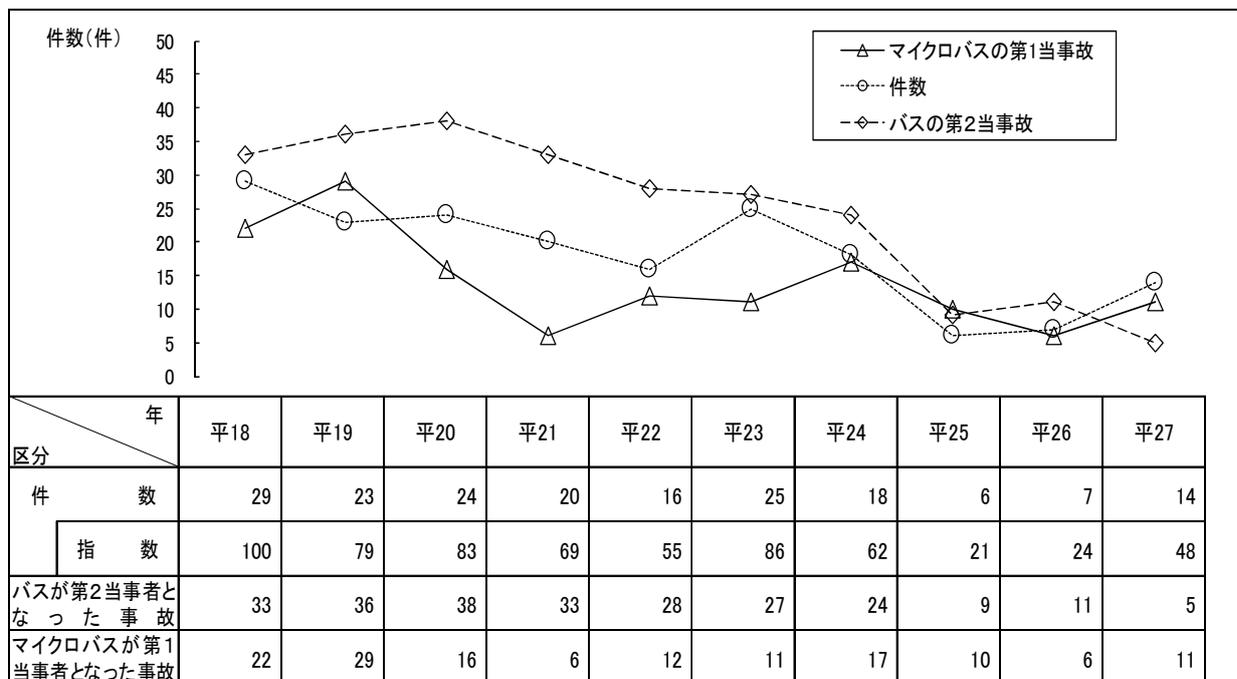
発生件数 5件（前年比 -6件 54.5%減）

死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 5人（前年比 -8人 61.5%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

(単位：件)



〈参考〉

マイクロバス（乗車定員が11～29人）が第1当事者となった事故

発生件数 11件（前年比 +5件 83.3%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 12人（前年比 +6人 100.0%増）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 4件（前年比 -2人 33.3%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 6人（前年比 -4人 40.0%減）

(2) 月別

バスの運転者が第1当事者となった事故は、2月、12月に各3件と最も多く発生した。

第2当事者になった事故は1月、7月、9月、10月、11月にそれぞれ1件発生した。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数	2	3	1		1				2	1	1	3	14
	死者数	1												1
	傷者数	1	3	1		1				2	1	1	4	14
第2当事者	件数	1						1		1	1	1		5
	死者数							1						1
	傷者数	1						1		1	1	1		5

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが10件で最も多く、71.4パーセントを占めている。

第2当事者になった事故については、路線バスのみの発生であった。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		10	2	2	14	5			5
死者		1			1	1			1
傷者		10	2	2	14	5			5

(4) 年齢別

50歳代が第1当事者となった事故は7件で最も多く50.0パーセントを占め、第2当事者になった事故も最も多いのは50歳代の4件で80.0パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者(65歳以上)	合計
		第1当事者		1	2	2	7	2	
第2当事者					1	4			5

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道が6件で42.9パーセントを占め、第2当事者になった事故でも国道が3件で60.0パーセントを占めている。

(単位：件)

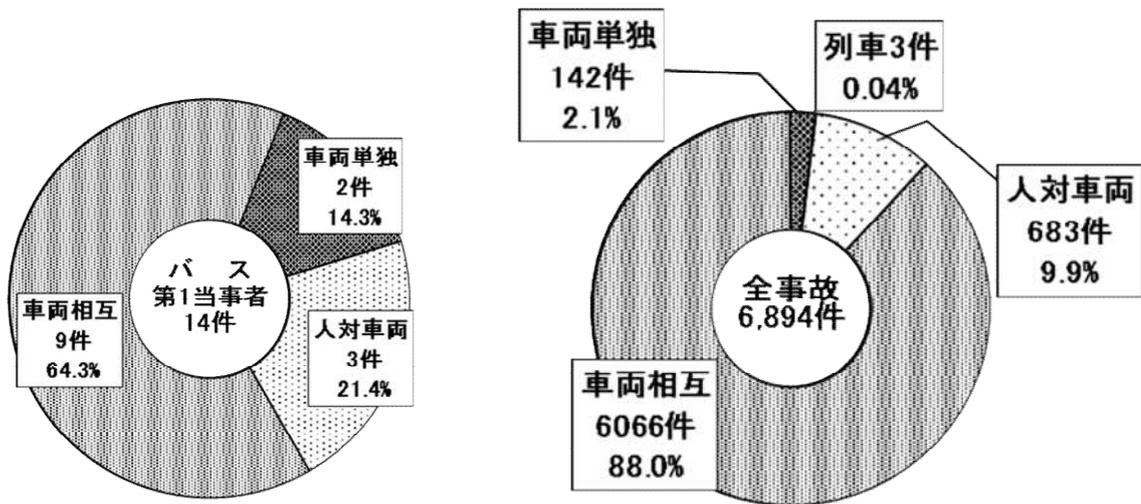
区分	道路	国道					計	県道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者		4	1			1	6	1	2	3	4		1	14
第2当事者						3	3			0	2			5

(6) 事故類型別

全事故と比較すると、車両単独事故の割合が高く約7倍となっている。

(単位：件・%)

区分	人 対 車 両			計	車 両 相 互						計	車 両 単 独			計	
	通 行 中	横 断 中	そ の 他		正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他		工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他		
件 数	1	2		3		6	1		2		9			2	2	14
構成率(%)	7.1	14.3	0.0	21.4	0.0	42.9	7.1	0.0	14.3	0.0	64.3	0.0	0.0	14.3	14.3	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が10件で71.4パーセントを占めている。

特に、前方不注意、動静不注視が各4件で最も多くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分		件 数	構成率(%)	違反	区分		件 数	構成率(%)
	違反	件 数				違反	件 数		
悪 質 違 反	信 号 無 視		2	14.3	交 差 点 安 全 進 行		1	7.1	
	最 高 速 度			0.0	過 労 運 転			0.0	
	通 区 ・ 追 越			0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ		0.0	
	歩 行 者 妨 害 等		1	7.1		前 方 不 注 意	4	28.6	
	一 時 不 停 止			0.0		動 静 不 注 視	4	28.6	
	酒 酔 い 運 転			0.0		安 全 不 確 認	1	7.1	
	計		3	21.4		安 全 速 度		0.0	
横 断 禁 止 等				0.0		そ の 他	1	7.1	
車 間 距 離 不 保 持				0.0	反 計		10	71.4	
進 路 変 更 禁 止				0.0	そ の 他			0.0	
右 ・ 左 折				0.0	歩 行 者 の 違 反			0.0	
優 先 通 行 妨 害 等				0.0	合 計		14	100	

15 ダンプカーの事故

(1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数 51件（前年比 - 8件 13.6%減）

死者数 1人（前年比 ±0人）

傷者数 61人（前年比 - 8人 11.6%減）

で、死者数は昨年と同数で、発生件数、傷者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

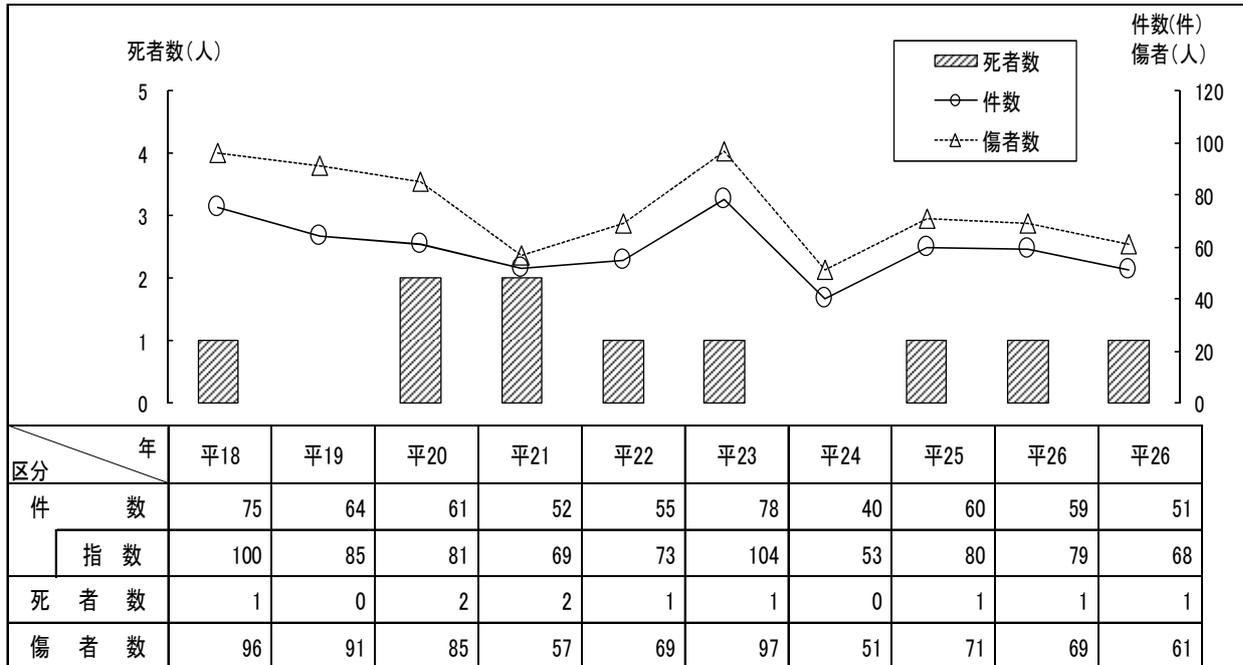
発生件数 20件（前年比 - 2件 10.0%減）

死者数 2人（前年比 - 1人 50.0%減）

傷者数 23人（前年比 ±0人）

で、発生件数、死者数は減少し、傷者数は昨年と同数であった。

（単位：件・人）



(2) 月別

3月、5月が各7件で最も多く、次いで2月、9月、11月の各6件の順となっている。

死者は6月に1人死亡している。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	4	6	7	3	7	3	2	3	6		6	4	51
死者数	死者数						1							1
傷者数	傷者数	4	10	9	4	7	2	2	4	9		6	4	61

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が11件で最も多く、次いで高齢者の10件となっている。

また、免許経過年数では、10年以上が44件でダンプ事故の86.3パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満		1							1
1～2年									0
2～3年									0
3～4年									0
4～5年									0
10年未満		1	4						5
10年以上				9	11	7	7	10	44
無免許		1							1
合計		3	4	9	11	7	7	10	51

(4) 違反別

前方不注意、動静不注視が12件でダンプ事故の各23.5パーセントを占め最も多くなっている。

悪質違反は19件で、昨年よりも12件増加し、うち通区・追越と一時不停止が各6件と各々悪質違反の31.6%を占めている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	5	9.8	安全運転義務違反	交差点安全進行	1	2.0	
	最高速度		0.0		徐行違反			0.0
	通区・追越	6	11.8		ハンドル・ブレーキ	1	2.0	
	歩行者妨害等	2	3.9		前方不注意	12	23.5	
	一時不停止	6	11.8		動静不注視	12	23.5	
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	2	3.9	
計		19	37.3	安全速度		0.0		
横断禁止等			0.0	その他	1	2.0		
車間距離不保持			0.0	計	28	54.9		
進路変更禁止			0.0	その他		0.0		
右・左折			0.0	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等		3	5.9	合計	51	100.0		

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では90.2パーセント、第2当事者では72.2パーセントを占めている。

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	5		5
	自家用	46	1	56
	合計	51	1	61

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用	5	1	5
	自家用	13		18
	合計	18	1	23

16 安全運転管理者選任事業所の事故

(1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

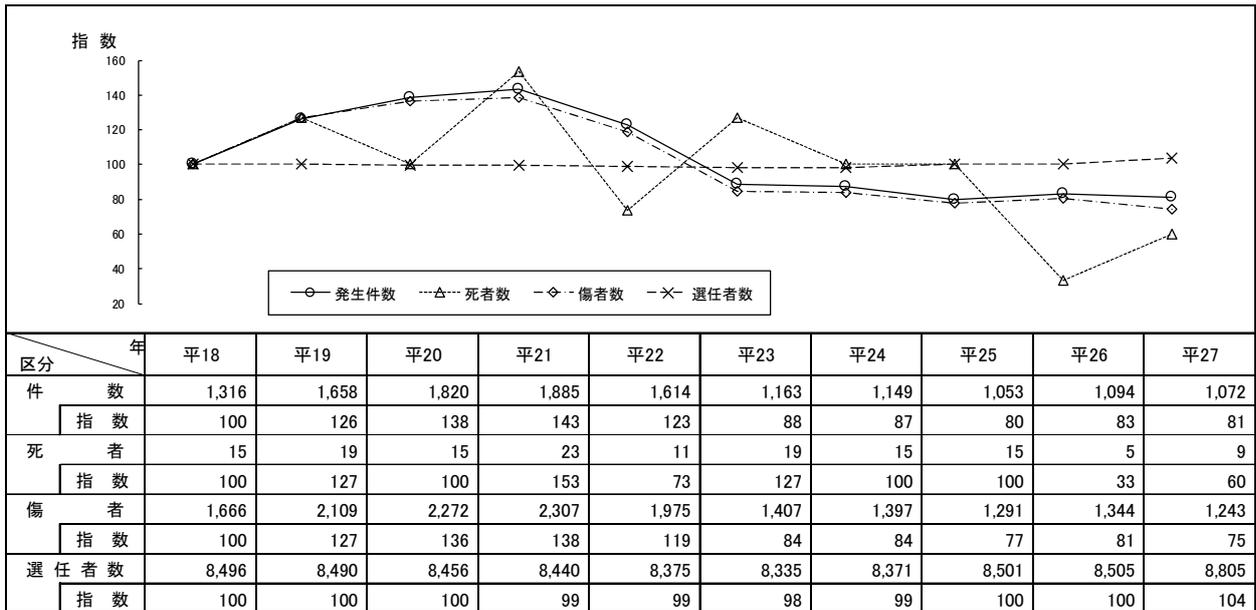
発生件数 1,072件（前年比 -22件 2.0%減）

死者数 9人（前年比 +4人 80.0%増）

傷者数 1,243人（前年比 -101人 7.5%減）

で、死者数は増加したが、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年3月末の数値

(2) 県内に所在する安管の事故

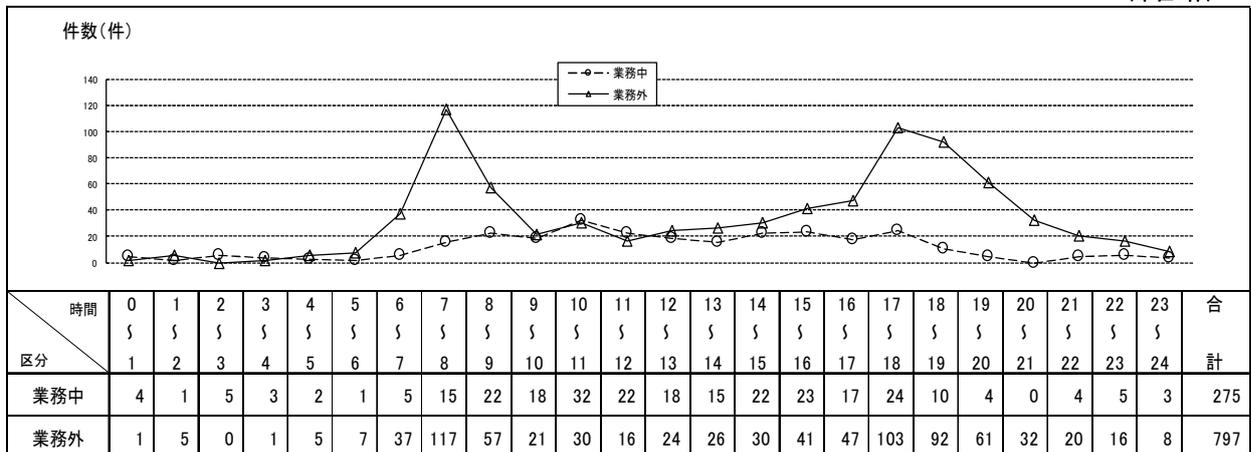
業務外の事故が安管事業所事故の74.3パーセントを占めている。

ア 時間別

業務中は10～11時の間、業務外では朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	275	25.7	2	329
業務外	797	74.3	7	914
通勤	367	34.2	3	423
私用中	430	40.1	4	491
調査不能	0	0.0	0	0

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が105件38.2パーセント、次いで普通貨物車が63件で22.9パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が490件と最も多く61.5パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計	
		大 中	型 型	普 通	軽	計	大 中	型 型	普 通		軽	計	小 型 二 輪	軽 二 輪		二 種 原 付
業務中		5	105	27	137	39	63	34	136				1	1	2	275
	構成率(%)	1.8	38.2	9.8	49.8	14.2	22.9	12.4	49.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.7	100
業務外		1	490	249	740	2	20	32	54		2	1			3	797
	構成率(%)	0.1	61.5	31.2	92.8	0.3	2.5	4.0	6.8	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.4	100

(イ) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が228件で最も多く、業務中事故の82.9パーセントを占めている。

代行運転の事故は18件で、代行車が5件、随伴車（代行会社の車両）が13件となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	事業用	自家用					計	その他	合計
			レンタカー	スクールバス	代行運転		その他			
					代	行				
					随	伴				
業務中		20	8	1	5	13	228	255	275	
	構成率(%)	7.3	2.9	0.4	1.8	4.7	82.9	92.7	100	
業務外		2	6				789	795	797	
	構成率(%)	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	99.0	99.7	100	

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で47.6パーセント、業務外で46.8パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			列 車	合 計	
		横 断	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱			そ の 他
業務中		5	11	16	5	131	64	19	14	13	246	9		4	13	275
	構成率(%)	1.8	4.0	5.8	1.8	47.6	23.3	6.9	5.1	4.7	89.5	3.3	0.0	1.5	4.7	100
業務外		56	32	88	29	373	175	23	83	19	702	2	1	4	7	797
	構成率(%)	7.0	4.0	11.0	3.6	46.8	22.0	2.9	10.4	2.4	88.1	0.3	0.1	0.5	0.9	100

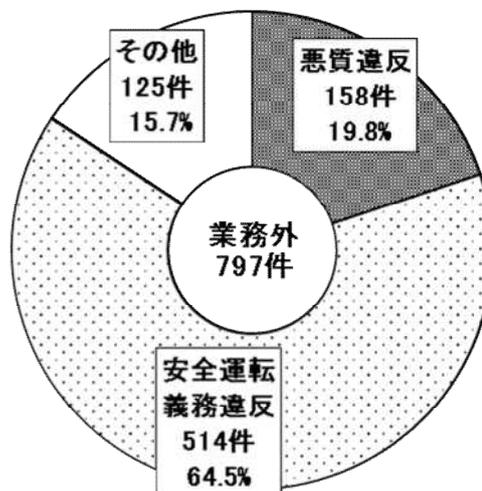
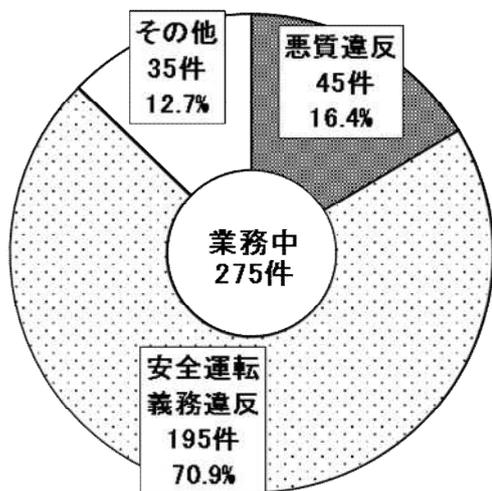
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 70.9 パーセント、業務外で 64.5 パーセントを占めている。

悪質違反では、業務中は一時不停止、業務外では横断歩行者妨害、一時不停止の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)				構成率 (%)		構成率 (%)	
悪質違反	信号無視	10	3.6	33	4.1	安全運転義務違反	徐行違反	2	0.7	4	0.5
	最高速度		0.0	1	0.1		過労運転		0.0	3	0.4
	通区・追越	7	2.5	22	2.8		ハンドル・ブレーキ	19	6.9	49	6.1
	歩行者妨害等	6	2.2	50	6.3		前方不注意	81	29.5	204	25.6
	一時不停止	22	8.0	52	6.5		動静不注意	46	16.7	152	19.1
	酒酔い運転		0.0		0.0		安全不確認	42	15.3	91	11.4
	計	45	16.4	158	19.8	安全速度	2	0.7	10	1.3	
横断禁止等		1	0.4	8	1.0	予測不適		0.0	2	0.3	
車間距離不保持			0.0	2	0.3	その他	5	1.8	6	0.8	
進路変更禁止			0.0	1	0.1	計	195	70.9	514	64.5	
右・左折	1	0.4	3	0.4	安全不確認ドア開放	1	0.4		0.0		
優先通行妨害等	9	3.3	39	4.9	その他	1	0.4		0.0		
交差点安全進行	20	7.3	65	8.2	合計	275	100.0	797	100		



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが 65 パーセント以上の高い割合を占めている。

(単位：件・%)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)	
発見の遅れ		193	70.2	554	69.5
判断の誤り等		60	21.8	190	23.8
操作上の誤り		22	8.0	53	6.6
調査不能			0.0		0.0
合計		275	100	797	100

17 県外居住者の事故

(1) 概況

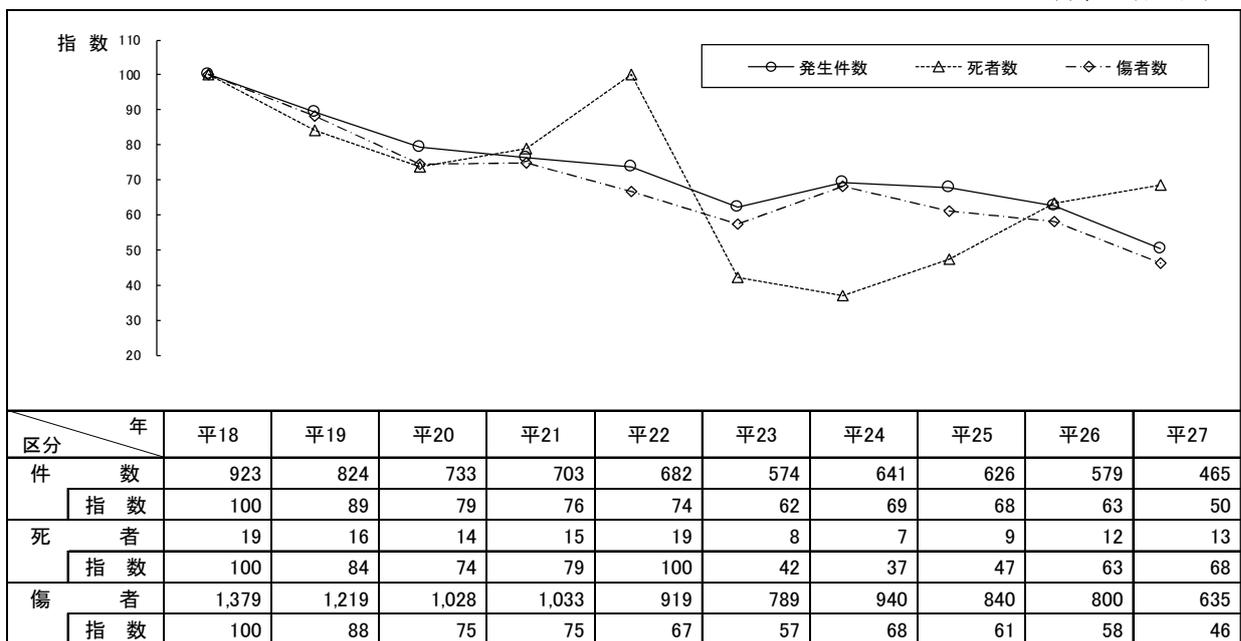
県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	465件	(前年比 -114件	19.7%減)
死者数	13人	(前年比 +1人	8.3%増)
傷者数	635人	(前年比 -165人	20.6%減)

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

死者数に増減はあるが、全体的には減少傾向にある。

(単位：件・人)



(2) 月別

1月が57件で最も多く、次いで2月と8月の45件となっている。

全事故に占める割合でみると、1月が9.7パーセントで最も高く、最も低い12月(4.8%)と比較すると4.9ポイントの差となっている。

(単位：件・人・%)

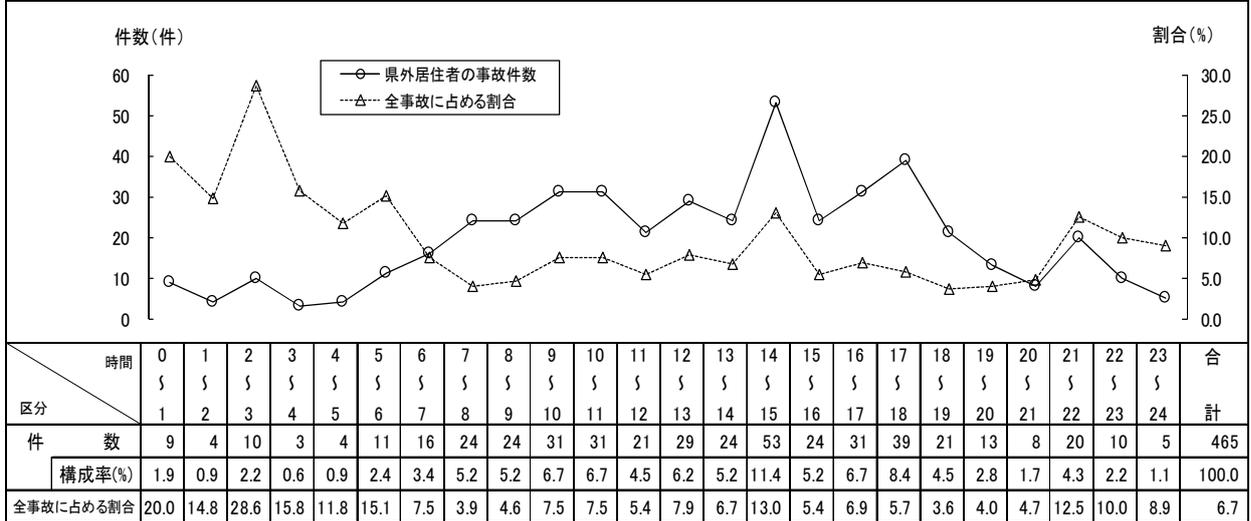
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	585	554	625	593	561	555	551	513	509	630	573	645
県外居住者	件数	57	45	35	41	39	39	32	45	34	39	28	31	465
	全事故に占める割合	9.7	8.1	5.6	6.9	7.0	7.0	5.8	8.8	6.7	6.2	4.9	4.8	6.7
	死者	1	1	1	1		2	1	1	4	1			13
	傷者	86	55	46	48	64	51	41	61	52	55	32	44	635

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、14～15時の53件、次いで17～18時の39件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、2～3時の28.6パーセントが最も高く、次いで0～1時の20.0パーセントとなっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が205件で、県外居住者事故の44.1パーセントを占めている。

特に、国道4号は72件と国道事故の35.1パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が54.6パーセントと最も高く、次いで幹線国道の4号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 桁 国 道											
		4 号	6 号	13 号	49 号	計												
件 数		72	60	3	22	157	48	205	93	99	53	15	465					
構成率(%)		15.5	12.9	0.6	4.7	33.8	10.3	44.1	20.0	21.3	11.4	3.2	100.0					
全事故に占める割合(%)		11.8	11.5	2.8	7.3	10.2	7.5	9.4	5.9	3.7	54.6	3.9	6.7					

(5) 当事者別

普通乗用車が250件で最も多く、県外居住者事故の53.8パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が45.5パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車					貨 物 車					二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者	合 計
		大 型	中 型	普 通	軽	計	大 型	中 型	普 通	軽	計	自 動 車	原 付					
														二 輪				
件 数		1	1	250	62	314	61	33	40	11	145	6		6			465	
構成率(%)		0.2	0.2	53.8	13.3	67.5	13.1	7.1	8.6	2.4	31.2	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	100.0
全体に占める割合		7.1	7.7	7.1	3.1	5.6	45.5	23.7	10.4	2.1	12.2	23.1	0.0	12.8	0.0	0.0	0.0	6.8

(6) 年齢別

高齢者が77件で最も多く、次いで30～34歳が54件、55～59歳が48件となっている。
 全事故に占める割合については、30～34歳の9.3パーセントが最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢														高齢者	合計
	子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳				
件数			17	44	41	54	42	37	37	34	48	34	77	465		
構成率(%)	0.0	0.0	3.7	9.5	8.8	11.6	9.0	8.0	8.0	7.3	10.3	7.3	16.6	100.0		
全体に占める割合	0.0	0.0	6.0	5.4	6.6	9.3	7.8	7.2	8.5	6.6	8.3	6.2	5.5	6.8		

(7) 通行目的別

私用中が240件で県外居住者事故の51.6パーセントを占めており、特に、観光が65件で最も多い。

業務中の事故は175件発生し、37.6パーセントを占め、死者数は5人となっている。

(単位：件・人・%)

通行目的	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
業務	業務	175	37.6	5	333
	通勤	46	9.9		54
	通学	1	0.2		1
私用	観光	65	14.0	1	129
	ドライブ	24	5.2	2	20
	散歩		0.0		
	飲食	11	2.4		9
	買物	39	8.4		63
	訪問	21	4.5	1	41
	帰省	29	6.2	1	60
	その他	51	11.0		91
計		240	51.6	5	413
不明		3	0.6	3	
合計		465	100.0	13	801

(8) 違反別

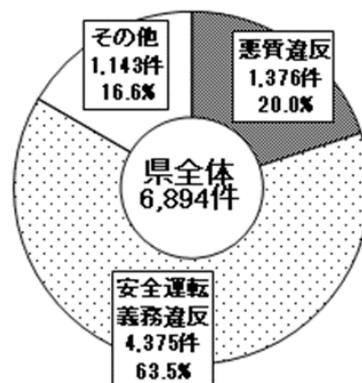
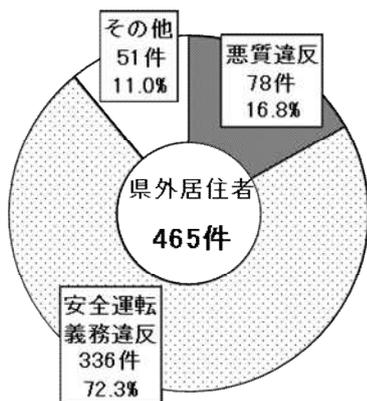
安全運転義務違反の占める割合が72.3パーセントと高く、なかでも前方不注意が147件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が30件と最も多く、次いで一時不停止の21件となっている。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が8.8ポイント高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	30	6.5	安全運転義務違反	交差点安全進行	14	3.0	
	最高速度	1	0.2		徐行			0.0
	通区・追越	20	4.3		ハンドル・ブレーキ	54	11.6	
	歩行者妨害等	5	1.1		前方不注意	147	31.6	
	一時不停止	21	4.5		動静不注意	79	17.0	
	酒酔い運転	1	0.2		安全不確認	35	7.5	
計		78	16.8	安全速度	19	4.1		
過労運転		1	0.2	その他	2	0.4		
横断禁止		4	0.9	計	336	72.3		
進路変更禁止		7	1.5	その他	1	0.2		
右・左折		1	0.2	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等		23	4.9	合計	465	100.0		



(9) 市町村別

(単位：件・%)

順位	市町村	県外 件数	全件数	割合	順位	市町村	県外 件数	全件数	割合	合
1	いわき市	96	1781	5.4	31	磐梯町	2	13	15.4	
2	郡山市	47	1301	3.6	32	天栄村	2	10	20.0	
3	福島市	39	977	4.0	33	富岡町	2	10	20.0	
4	南相馬市	27	248	10.9	34	浅川町	2	5	40.0	
5	白河市	24	211	11.4	35	浪江町	2	5	40.0	
6	会津若松市	21	428	4.9	36	鮫川村	2	3	66.7	
7	相馬市	19	133	14.3	37	会津美里町	1	29	3.4	
8	西郷村	16	79	20.3	38	石川町	1	26	3.8	
9	須賀川市	9	279	3.2	39	広野町	1	22	4.5	
10	二本松市	9	160	5.6	40	下郷町	1	18	5.6	
11	伊達市	9	97	9.3	41	飯館村	1	14	7.1	
12	猪苗代町	8	55	14.5	42	柳津町	1	9	11.1	
13	新地町	8	19	42.1	43	中島村	1	9	11.1	
14	本宮市	6	124	4.8	44	平田村	1	7	14.3	
15	田村市	5	75	6.7	45	大熊町	1	4	25.0	
16	国見町	5	21	23.8	46	昭和村	1	3	33.3	
17	棚倉町	4	47	8.5	47	金山町	1	2	50.0	
18	桑折町	4	34	11.8	48	三春町	0	37	0.0	
19	南会津町	4	22	18.2	49	玉川村	0	19	0.0	
20	鏡石町	3	55	5.5	50	小野町	0	15	0.0	
21	川俣町	3	52	5.8	51	湯川村	0	12	0.0	
22	泉崎村	3	21	14.3	52	檜葉町	0	7	0.0	
23	塙町	3	15	20.0	53	古殿町	0	4	0.0	
24	矢祭町	3	10	30.0	54	檜枝岐村	0	1	0.0	
25	西会津町	3	8	37.5	55	只見町	0	1	0.0	
26	北塩原村	3	6	50.0	56	三島町	0	1	0.0	
27	喜多方市	2	103	1.9	57	川内村	0	1	0.0	
28	会津坂下町	2	66	3.0	58	双葉町	0	1	0.0	
29	矢吹町	2	48	4.2	59	葛尾村	0	1	0.0	
30	大玉村	2	33	6.1						

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

(単位：件・人・%)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	8	1.7	1	7	8	1.7		14
青森	7	1.5		14	4	0.9		6
岩手	11	2.4		20	10	2.2	1	15
宮城	102	21.9	1	143	148	31.8	3	204
秋田	10	2.2		11	7	1.5		10
山形	26	5.6	1	27	36	7.7		46
東北	41	8.8	1	51	37	8.0		54
茨城	82	17.6	4	103	105	22.6	2	134
栃木	51	11.0	1	76	42	9.0	1	55
群馬	9	1.9	1	14	11	2.4	1	15
埼玉	26	5.6		30	40	8.6	1	55
千葉	16	3.4	1	20	25	5.4	1	31
神奈川	21	4.5	1	25	32	6.9		46
新潟	23	4.9		32	27	5.8	1	41
山梨	1	0.2		3		0.0		
長野	2	0.4	1	2	4	0.9		6
静岡	5	1.1		7	8	1.7		11
富山		0.0			2	0.4		3
石川		0.0				0.0		
福井	1	0.2		1	2	0.4		3
岐阜	2	0.4		4	1	0.2		1
愛知	7	1.5		10	6	1.3	1	12
滋賀	1	0.2		3	2	0.4		4
三重	1	0.2		1	4	0.9		6
京都	3	0.6		4	1	0.2		2
大阪	2	0.4		4	4	0.9		7
兵庫	3	0.6		15	1	0.2		1
奈良	1	0.2		2		0.0		
和歌山	1	0.2		1	1	0.2		1
鳥取		0.0			1	0.2		2
島根		0.0				0.0		
岡山	1	0.2		1		0.0		
広島		0.0			2	0.4		2
山口		0.0			1	0.2		1
香川		0.0			2	0.4		5
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0			1	0.2		1
高知		0.0			1	0.2		1
福岡		0.0			2	0.4		3
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本	1	0.2		1		0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0			1	0.2		1
沖縄		0.0				0.0		
合	465	100	13	632	579	125	12	799

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、3,624件で全事故の52.6パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が1,481件で最も多く、交差点事故の40.9パーセントを占め、次いで交差点付近が1,170件となっている。

(単位：件・人・%)

区分	件数		死者	傷者	
	構成率(%)				
道路形状					
交差点	大	407	5.9	3	476
	中	1,481	21.5	9	1,743
	小	566	8.2	1	635
	付近	1,170	17.0	9	1,477
	計	3,624	52.6	22	4,331
単路	トンネル	28	0.4	1	43
	橋	89	1.3	2	117
	カーブ・屈折	248	3.6	16	300
	直線	2,533	36.7	35	3,130
	計	2,898	42.0	54	3,590
踏切	3	0.0		5	
一般交通の場所	369	5.4	1	418	
合計	6,894	100	77	8,344	

(単位：件・人・%)

区分	件数		死者	傷者	
	構成率(%)				
交差点第1進入路					
大 (13m以上)	交差路 小	59	2.4		72
	交差路 中	234	9.5	3	272
	交差路 大	114	4.6		132
	計	407	16.6	3	476
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	190	7.7		221
	交差路 中	1,132	46.1	8	1,334
	交差路 大	159	6.5	1	188
	計	1,481	60.4	9	1,743
小 (5.5m未満)	交差路 小	155	6.3		178
	交差路 中	355	14.5	1	392
	交差路 大	56	2.3		65
	計	566	23.1	1	635
合計	2,454	100	13	2,854	

(単位：件・人・%)

(2) 道路線形別

直線での事故は6,210件で全事故の90.1パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は315件で全事故の4.6パーセントとなっている。

勾配で見ると、上り坂は213件(全事故の3.1%)、下り坂は315件(全事故の4.6%)、平坦は5,997件(全事故の87.0%)となっている。

区分	件数		死者		
	構成率(%)				
道路形状					
カーブ・屈折	右	上り	21	0.3	
		下り	33	0.5	6
		平坦	82	1.2	6
	左	上り	22	0.3	
		下り	48	0.7	4
		平坦	109	1.6	5
	計		315	4.6	21
直線	上り	170	2.5	1	
	下り	234	3.4	3	
	平坦	5,806	84.2	51	
	計		6,210	90.1	55
一般交通の場所		369	5.4	1	
合計		6,894	100.0	77	

(3) 地形別

(単位：件・人・%)

市街地での事故が 3,843 件で、全事故の 55.7 パーセントを占めている。

なお、市街地の事故では、市街地
その他での事故が多い。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	
						市街地
		その他	2,143	31.1	15	2,489
		計	3,843	55.7	20	4,489
	非市街地	3,051	44.3	57	3,855	
	合計	6,894	100	77	8,344	

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が 2,056 件で最も多く、全事故の 29.8 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.0m以上	交差点			その他	合計
								小	中	大		
件数		54	198	2,056	913	711	139	566	1,481	407	369	6,894
構成率(%)		0.8	2.9	29.8	13.2	10.3	2.0	8.2	21.5	5.9	5.4	100
死者		5	4	36	13	3	2	1	9	3	1	77
傷者		57	239	2,545	1,167	886	178	635	1,743	476	418	8,344

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が 5,344 件で最も多く、全事故の 77.5 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	路面状態	舗装					計	非舗装	合計
		乾	燥	湿	潤	凍結			
件数		5,344	1,257	192	84	6,877	17	6,894	
構成率(%)		77.5	18.2	2.8	1.2	99.8	0.2	100.0	
死者		63	13	1		77		77	
傷者		6,490	1,508	219	104	8,321	23	8,344	

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が 3,496 件で最も多く、全事故の 50.7 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	施設	中分	中央	中央線				計	中分	中央	その他	合計
				帯	帯	高輝度	チャッター					
件数		873	21	76	37	3,496	3,630	2,022	369	6,894		
構成率(%)		12.7	0.3	1.1	0.5	50.7	52.7	29.3	5.4	100.0		
死者		8			1	41	42	26	1	77		
傷者		1,137	24	91	52	4,325	4,492	2,297	418	8,344		

19 その他

(単位：件・人・%)

(1) 特殊事故

特殊事故は 1,067 件で、全事故の 15.5 パーセントを占め、約 6.5 件に 1 件の割合で発生している。

なかでも件数が多いのは次のとおりで

- ・多重事故930件
全事故の 7.4 件に1件
- ・ひき逃げ82件
全事故の 84.1 件に1件
- ・無申告33件
全事故の208.9 件に1件
- ・左折巻き込み11件
全事故の626.7 件に1件
- ・ドア開放 6 件
全事故の 1149 件に1件

の割合で発生している。

特殊事故		区分	件数		死者	傷者
			構成率(%)			
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	82	1.2	1	93	
	無申告	33	0.5		39	
	多重衝突	930	13.5	20	1,492	
	左折巻き込み	11	0.2	1	10	
	荷崩れ	1	0.0		1	
	自然発車	3	0.0		4	
	ドア開閉	6	0.1		6	
	車両火災	1	0.0		2	
当事者内容	薬物影響		0.0			
	発作・急病	てんかん		0.0		
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管		0.0		
		その他		0.0		
	身障者		0.0			
緊急用務自動車		0.0				
合計		1,067	15.5	22	1,647	

(注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合

2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が 80 パーセント未満）の事故が、3,658 件で全事故の 53.1 パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が 80 パーセント以上）の事故が 2,060 件となっており、合わせると全事故の 83.0 パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分		天候					合計
		晴	曇	雨	霧	雪	
件数		3,658	2,060	914	6	256	6,894
構成率(%)		53.1	29.9	13.3	0.1	3.7	100.0
死者		39	27	9		2	77
傷者		4,482	2,459	1,097	9	297	8,344

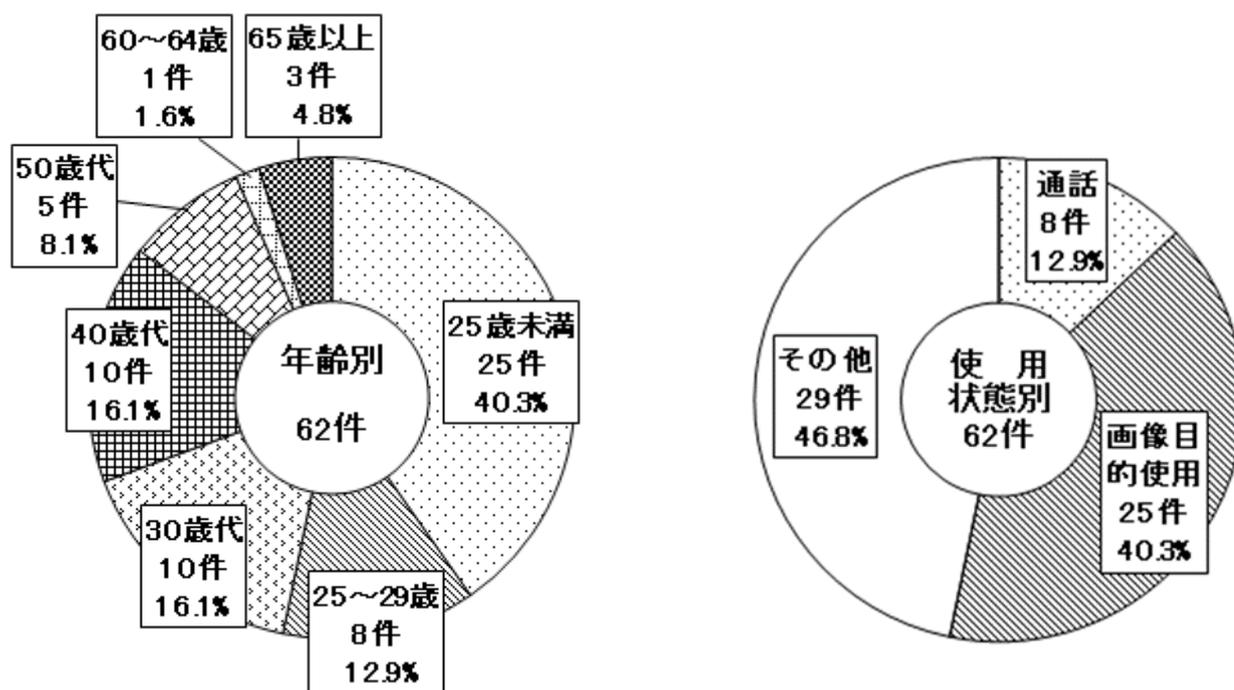
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は 62 件発生し、死者は 0 人、傷者は 75 人となっている。

事故類型別にみると、追突が 49 件で最も多く、79.0 パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約 1.8 倍となっている。

(単位：件・%)

区分		携帯電話使用中事故		全 事 故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人 対 車 両		4	6.5	683	9.9
車 両 相 互	追 突	49	79.0	2,950	42.8
	出 会 い 頭	6	9.7	1,756	25.5
	正 面 衝 突	1	1.6	230	3.3
	そ の 他	2	3.2	1,130	16.4
車 両 単 独			0.0	142	2.1
列 車			0.0	3	0.0
合 計		62	100.0	6,894	100.0



年齢別にみると、25歳未満が 25 件で 40.3 パーセントを占め最も多く、次いで 30 歳代と 40 歳代が 10 件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用 25 件、通話が 8 件、その他の動作 29 件となっている。